

金属、機械製造業における婦人労働 実態調査

— 結果報告書 —

婦人少年局婦人労働課

1971年7月

労働省婦人少年局

は し が き

昭和46年度の婦人労働実態調査として、
46年7月に実施した「金属、機械製造業に
おける婦人労働実態調査」の結果がまとまっ
たので、ここに報告する。

本報告書が婦人労働問題に関心をもたれる
方々のご参考になれば幸いである。

調査実施にあたり、格別のご協力をいただ
いた各位に末筆ながら厚くお礼申しあげる。

1972年3月

労働省婦人少年局

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の趣旨	1
2. 調査の範囲	1
3. 調査事項	2
4. 調査の対象年月	2
5. 調査実施期間	2
6. 調査機関	2
7. 調査方法	2
8. 集 計	2
9. 用語の定義	2
II 調査結果	4
事業所調査結果	
1. 調査対象事業所の概況	4
2. 採用、配置と昇格、昇進	4
女子労働者の採用と職種	4
女子労働者の身分	5
本採用への昇格制度	7
役付への昇進制度および女子役職者数	8
3. 教育訓練	9
4. 休日、休暇、交替制など	9
週 休 日	9
年次有給休暇	10
有給の病気休暇および生理休暇	11
交 替 制	12
残業手当支給基準	14
定期昇給制度	15
5. 安全衛生	15
安全衛生教育	15
健康診断	15
厚生施設	16

企業が独自に行なう労災補償制度	16
-----------------------	----

個人調査結果

1. 女子生産労働者数	18
2. 女子労働者の個人的特性	20
年 令	20
配偶関係	20
家計支持者	22
学 歴	22
3. 女子労働者の地位	22
身 分	22
雇用契約期間	24
勤続年数	25
4. 女子労働者の職種	26
就労分野	26
職 種	27
作業内容の男女差	30
作業姿勢	32
けかの心配	32
5. 女子労働者の労働時間	33
所定労働時間	33
休 憩	34
残 業	34
年次有給休暇日数	35
6. 女子労働者の賃金	36
手取給与額	36
賃金支払い形態	38
7. 女子労働者の休業状況	38
休業日数と休業理由	38
生理時の休業状況	39
8. 女子労働者の疲労、疾病、傷害	44
労働災害	44
疲 労	44

9. 女子労働者の勤続意志	46
付録 1 技能職種への女子の配置換の事例	50
2 本採用以外の者の条件の事例	51
3 中途採用者の本採用への昇格制度にみる男女差の事例	55
4 定期昇給制度の男女差の事例	57
5 中途採用者の採用条件	60
6 最近女子の賃金管理面で改善した事項	72
7 調査員観察事項	74
8 女子労働者の意見	78

図 表

図 1 1年間の採用者の男女別構成	4
表 2 過去1年間に女子生産労働者を採用した事業所の割合	5
表 3 年間採用者の職種別構成	5
表 4 人事配置の状況別事業所の構成	6
表 5 女子労働者の身分別事業所の構成	6
表 6 本採用への昇格制度の有無別事業所の構成	7
表 7 役付への昇進制度の有無別事業所の構成	7
表 8 女子役職者の有無別事業所の構成および女子役職者のいる事業所における 男女別役職者数	8
表 9 教育訓練制度の有無別事業所の構成	9
表 10 週休日数別事業所の構成	9
表 11 身分別、年次有給休暇日数別事業所の構成	10
表 12 勤続1年未満の年次有給休暇日数別事業所の構成	10
表 13 身分による年次有給休暇の与え方の相違別事業所の構成	11
表 14 有給の病気休暇、有給の生理休暇の有無別事業所の構成	11
表 15 有給の生理休暇のある事業所における有給日数および給与支給率別事業所の構成	12
表 16 本採用以外の者に対する生理休暇の与え方別事業所の構成	12
表 17 交替制の有無別事業所の構成	13
表 18 残業手当支給基準別事業所の構成	14
表 19 本採用以外の者に対する残業手当支給方法別事業所の構成	14
表 20 定期昇給制度の有無別事業所の構成	14

表 2.1	安全衛生教育、健康診断実施状況別事業所の構成	15
表 2.2	特殊健康診断を受けた女子労働者の有無別事業所の構成	16
表 2.3	厚生施設の有無別事業所の構成	16
表 2.4	労災保険給付以外の補償制度の有無別事業所の構成	17
表 2.5	男女別調査対象事業所に働く生産労働者の構成	18
表 2.6	女子労働者数別事業所の構成	19
図 2.7	生産労働者中本採用労働者の占める割合	19
図 2.8	女子労働者中本採用労働者の占める割合	20
図 2.9	女子労働者の年齢別構成	21
図 3.0	配偶関係別女子労働者の構成	21
図 3.1	主な家計支持者別女子労働者の構成	22
図 3.2	学歴別女子労働者の構成	23
図 3.3	女子生産労働者中公共職業訓練を受けたことのある女子労働者の占める割合	23
表 3.4	雇用契約期間別女子労働者の構成	24
表 3.5	雇用契約期間別、勤続年数別女子労働者の構成	25
表 3.6	規模別、身分別、勤続年数別女子労働者の構成	25
表 3.7	女子生産労働者の就労状況別事業所の構成	26
表 3.8	女子労働者の職種別構成	28
表 3.9	仕事の内容別、女子労働者の構成	29
図 4.0	各職種における既婚者の割合	30
表 4.1	機械の種類別、経験年数別、資格の有無別労働者の構成	31
表 4.2	仕事の内容別女子労働者の構成	31
表 4.3	作業姿勢別女子労働者の構成	32
表 4.4	けがの心配の有無別女子労働者の構成	33
表 4.5	労働時間別、休憩回数別、休憩時間別女子労働者の構成	33
表 4.6	残業の状況別女子労働者の構成	34
表 4.7	年休日数別女子労働者の構成	35
表 4.8	手取給与額別女子労働者の構成	36
表 4.9	勤続年数別、手取り給与額別、本採用女子労働者の構成 (10日以上のお休みの者を除く)	37
表 5.0	職種別、手取給与額別女子労働者の構成	37
表 5.1	給与支払形態別女子労働者の構成	38
表 5.2	休業状況別女子労働者の構成および1人平均休業日数	39

表 53	有給・無給別、休業状況別女子労働者の構成	40
表 54	生理時の休業状況別女子労働者の構成	41
表 55	職種別、けがの心配別、労働災害経験の有無別女子労働者の構成	42
表 56	職種別、仕事の内容別、作業姿勢別疲労の状況別女子労働者の構成	43
表 57	勤続意志別女子労働者の構成	45

付

表

付表1	産業別、規模別、調査対象事業所数	47
付表2	産業別、規模別、身分別、調査対象事業所に働く労働者数	47
付表3	産業別、規模別、身分別、個人調査の集計対象となった女子労働者数	48
参考表1	金属機械製造業における雇用者数	49
参考表2	製造業産業中分類別、女子労働者数、労働時間、平均賃金	49

I 調 査 の 概 要

1 調査の趣旨

製造業における女子雇用者は46年に388万人をかぞえ、その就業分野は繊維工業、食料品製造業などの女子就業の伝統的分野ばかりでなく、電気機械器具製造業、精密機械器具製造業などの機械工業におよび、今やこれらの産業においては女子が不可欠の労働力となってきた。しかし、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、一般機械製造業、輸送用機械器具製造業など重工業部門における現場作業は従来から男子中心の職場とされ、女子が生産現場に入るとはきわめて稀なこととされていた。

ところが、近年、若年技能労働力の需給のひっばくと、これら産業における自動化、省力化、機械化等の進展により女子でも可能な作業が増えたこと等の事情から、これらの業種において男子に替えて女子を雇用する事業所が目立って増えてきた。

この状況は44年に婦人少年局が実施した「女子労働者の就労状況の変化に関する調査」に詳しく報告されているところである。

昭和45年の国勢調査によれば、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、輸送用機械器具製造業の5業種の労働者数は387万人、このうち女子労働者は62万2千人で全体の16%を占めているが、これを40年にくらべると約20万人増加していることになる。

43年頃には造船業における女子溶接工や、自動車組立工程に配置された女子工具などの出現が女子の新しい職場進出として世間の注目をうけている。

以上のような背景のもとに、昭和46年度の婦人労働実態調査の対象として、電気機器、精密機器製造業^注をのぞく金属、機械製造業を選び、そこに働く女子生産労働者の労働実態を明らかにするため、職種、労働条件、採用、教育訓練、安全衛生などの事項について総合的に調査することとした。

注) これらの産業については、過去に婦人少年局において次の二つの調査が実施されている。

精密機械器具製造業女子労働者実態調査37年

電気機械器具製造業における年少労働者の労働実態調査38年

2 調査の範囲

- (1) 地 域 日本国全域
- (2) 産 業 日本標準産業分類による製造業の鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、以上5業種
- (3) 事 業 所 (2)に掲げる業種に属し、100人以上の常用労働者を雇用する事業所のうち、10分の1にあたる約500事業所
- (4) 労 働 者 (3)に掲げる事業所に雇用される女子生産労働者のうち、一定の方法により抽出された約7,000人

3 調査事項

調査票のとおり。

4 調査の対象年月

昭和46年6月

5 調査実施期間

昭和46年7月15日～31日

6 調査機関

労働省婦人少年局—都道府県婦人少年室

7 調査方法

- (1) この調査は別添調査票様式1（事業所調査票）および様式2（個人調査票）により行なう。
- (2) 事業所調査は実地他計の方法により、個人調査は実地自計の方法により行なう。

8 集 計

集計は中央集計とした。

集計対象となった調査票は、事業所票497票、個人票6,259票であった。

9 用語の定義

生産労働者 生産物の生産される現場（補助部門を含む。）において、生産業務、生産工程に関する記録業務および上記業務と密接な関連がある業務に従事する労働者のことである。

職 種 別表のように日本標準職業分類、小分類を基礎に24区分とした。各職種の内容は日本標準職業分類の小分類ごとの解説を熟読されたい。

直接生産部門の作業 直接製品を生産する工程で製造、組立、加工などをする作業。

間接生産部門の作業 直接生産部門に用役を提供する補助部門で、試験検査、選別、包装、荷造、運搬、倉庫係、工具保管などの作業。

身 分

{	<u>本採用</u>	常用、本工、正社員、正規社員などと呼ばれるもの。
	<u>その他</u>	臨時工、季節工、準社員、定時社員、嘱託、パートタイマーなどと呼ばれる、本採用以外のものすべて。

注) 月給者、日給者などという区別をしている事業所では前者を本採用、後者をその他とする。ただし、労働条件を身分別にみる場合は、「本採用」「その他」「パートタイ

マー」の3区分として、「その他」は本採用でもパートタイマーでもない者とした。

就業形態 { パートタイマー 正規の従業員より所定労働時間の短い者、およびパートタイマーとよばれているもの。
フルタイマー パートタイマー以外のもの。

採用 { 新規学卒採用 学校卒業後ただちに採用されたもの。
中途採用 新規学卒採用以外の者

休養室 労働者がが床しうるもの。

女子専用便所 建物に間仕切りが設けられ、出入口も別々になっているもの。

特殊健康診断 電離放射線障害防止規則 有機溶剤中毒予防規則
 四アルキル鉛中毒予防規則 鉛中毒予防規則等に規定された健康診断。

別表 「金属・機械製造業における婦人労働実態調査」に使用する職種分類

職 種 名	右に該当する日本標準職業分類の小分類番号
鋳 物 工	5 0 3
伸 線 工	5 0 7
その他の金属材料製造作業	5 0 9
上記以外の金属材料製造作業	5 0 1. 5 0 2. 5 0 4. ~ 5 0 6
金属工作機械工	5 1 1
金属プレス工	5 1 2
電気溶接工	5 1 3
ガス溶接工, ガス切断工	5 1 4
め っ き 工	5 1 8
仕 上 工	5 1 9
バフみがき工	5 2 1
その他の金属加工作業	5 2 9
上記以外の金属加工作業	5 1 5 ~ 5 1 7. 5 2 2
自動車組立工	5 4 1
その他の輸送用機械組立・修理作業	5 4 9
上記以外の輸送用機械組立・修理作業	5 4 2 ~ 5 4 6
その他の機械組立, 修理工	5 6 1. 5 6 2
他に分類されない機械組立・修理作業	5 6 9
運 搬 夫	4 3 8 4 4 9 のうちフォークリフト以外のもの
倉 庫 夫	4 3 9
荷 造 工	4 4 3
クレーン, フォークリフト等運転工	7 4 2 4 4 9 (注)
上記以外の定置機関・機械運転作業	7 4 1. 7 4 3 ~ 7 4 9
そ の 他	(上記番号に該当しないものすべて)

注) フォークリフトの運転は日本標準職業分類では449に含まれる。

Ⅱ 調 査 結 果

事業所調査結果

1 調査対象事業所の概況

調査対象事業所の産業、規模別構成は付表1のとおりである。鉄鋼業が12.5％、非鉄金属製造業が6.4％、金属製品製造業が23.3％、一般機械器具製造業が35.6％、輸送用機械器具製造業22.1％、事業所規模別には1,000人以上10.3％、500～999人11.7％、300～499人14.7％、100～299人が63.4％の構成である。

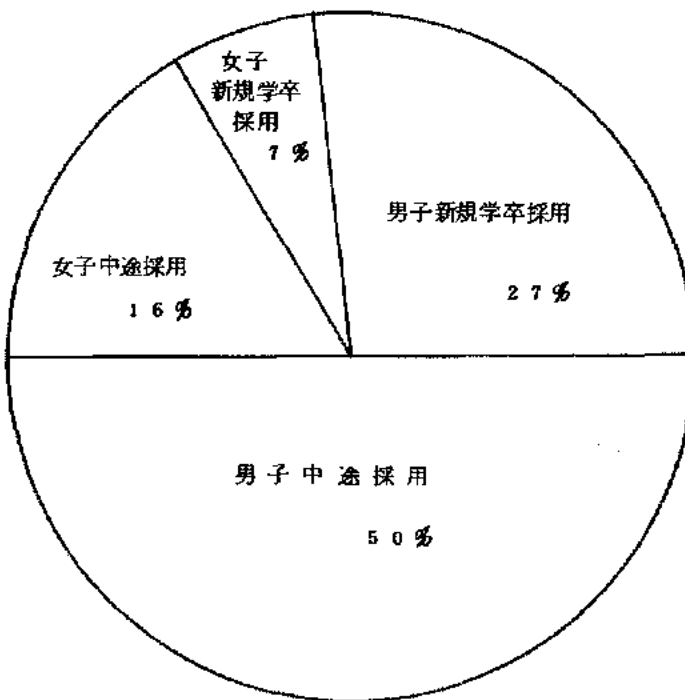
これらの事業所の企業規模は、5,000人以上が9.1％、1,000～4,999人が13.1％、300～999人が26.1％、100～299人が51.3％である。

2 採用、配置と昇格、昇進

採用と職種

46年7月より過去1年間に女子の新規学卒者を採用した事業所は26％、中途採用を行なった事業所は60％である。女子の雇い入れを中途採用者に依存している傾向は小規模事業所ほど強く、こ

図1 1年間の採用者の男女別構成



れに対し新規学卒女子を採用した事業所は100～299人規模の20%から規模が大きくなるほど多くなり1,000人以上では51%となっている。

表2 過去1年間に女子生産労働者を採用した事業所の割合

採用者数をみると、女子は男子を含めた全採用者の23%を占め、その内訳は新規学卒採用が3割、中途採用が7割であり、男子採用者にくらべ中途採用の割合が大きい。(図1、表2)

女子採用者のうち、金属加工の各職種の採用者は32%をしめるが、その内訳を

みると金属工作機械工9.6%、プレス工2.6%、電気溶接工2.1%である。(表3)

新規学卒者の採用は全体に少ない

が、採用のあった事業所における配

置職種をみると、「男女差がかなり

ある」と答えた事業所が57%、

「ほとんどない」が39%である。

(表4)

女子生産労働者の採用の主力とな

っている中途採用女子の配置職種は

新規学卒採用者の配置職種とくらべ

て「ほとんど差がない」と答えた事

業所が80%、「かなり差がある」

が14%である。

女子労働者の身分

37%の事業所では女子労働者の

全員を「本採用」(常用、本工、正社員などと呼ばれるもの)としているが、残り63%の事業所には

「本採用」以外の身分(臨時工、季節工、準社員、定時社員などと呼ばれるもの)の女子労働者がいる。

このうち8%の事業所では女子の「本採用」者は全くいない。

女子生産労働者が「本採用」のみで構成されている事業所の割合は、規模別には100～299人で

42%と他の規模にくらべかなり多い。さらに業種と規模を合せてみると、「本採用のみの事業所」の

割合が最も多いのは金属製品製造業の45%であるが、なかでも100～299人では48%と比較的

多い。鉄鋼業、非鉄金属製造業は42%で、金属製品製造業について「本採用のみの事業所」が多いが

ことでは規模による差がほとんどない。「本採用のみの事業所」が最も少ないのは輸送用機械器具の

事業所総数=100

規 模	新規学卒採用	中途採用
計	26.0	60.0
1,000人以上	51.0	54.9
500～999人	36.2	50.0
300～499人	26.0	58.9
100～299人	20.0	62.9

表3 年間採用者の職種別構成

	女	男
計	100.0	100.0
金属工作機械工	9.6	16.4
〃 プレス工	2.6	3.8
ガス溶接工	0.5	2.7
電気溶接工	2.1	4.0
上記以外の金属加工	17.4	15.6
金属材料製造	1.0	6.1
自動車組立	8.2	10.3
クレーンリフト運転	—	0.8
上記以外の職種および分類不能の採用者	58.6	40.3

表4 人事配置の状況別事業所の構成

	計	新規学卒者の配置 職種に男女差が			新規学卒採用と 中途採用の配置に			技能職種への配置換			
		ほとんど ない	かなり ある	記入 なし	ほとんど 差がない	かなり 差がある	記入 なし	いる (注)	いない	記入 なし	記入 あり
計	1000	38.6	57.1	4.5	80.1	14.0	5.9	9.7	89.5	0.8	
1,000人以上	1000	38.5	59.0	2.6	81.6	15.8	2.6	9.8	88.2	2.0	
500~999人	1000	29.5	59.1	11.4	65.1	18.6	16.3	10.3	89.7	—	
300~499人	1000	31.8	61.4	6.8	77.3	15.9	6.8	9.6	90.4	—	
100~299人	1000	42.3	54.9	2.7	84.1	12.1	3.8	9.5	89.5	1.0	

注) 付録1(50頁)参照

表5 女子労働者の身分別事業所の構成

産業	身 分 規 模	計	本採用のみ の事業所	本採用以外の 者もいる事業所	本採用が全然 いない事業所	総数のうちバ ートタイマー のいる事業所
産 業 計	計	100.0	37.0	54.7	8.3	30.8
	1,000人以上	100.0	33.3	56.9	9.8	31.4
	500~999人	100.0	25.9	65.5	8.6	27.6
	300~499人	100.0	28.8	63.0	8.2	21.9
	100~299人	100.0	41.6	50.5	7.9	33.3
鉄 鋼 業 非鉄金属	計	100.0	41.5	46.8	11.7	24.5
	300人以上	100.0	41.7	50.0	8.3	16.7
	100~299人	100.0	41.1	46.4	12.5	28.6
金 属 製 品	計	100.0	44.8	48.3	6.9	30.2
	300人以上	100.0	36.7	53.3	10.0	20.0
	100~299人	100.0	47.7	46.5	5.8	33.7
一 般 機 械	計	100.0	34.5	56.4	9.1	32.2
	300人以上	100.0	29.0	60.9	10.1	31.9
	100~299人	100.0	38.0	53.7	8.3	32.4
輸送用機械	計	100.0	29.1	65.4	5.5	34.5
	300人以上	100.0	13.3	82.2	4.4	28.9
	100~299人	100.0	40.0	53.8	6.2	38.5

29%で、とこでは300人以上13%、それ以下40%と規模間のひらきも大きい。(表5)

女子の本採用労働者が全然いない事業所のうち、最も多いのは「女子は臨時工のみ」という事業所で、41社中22社、ついて「女子はパートタイマーのみ」の9社である。

本採用への昇格制度

そこで本採用への昇格制度をみると、新規学卒採用の場合は「男女ともあり」が90%を占め、「女子はなし」は8%である。（採用時から全員本採用の事業所は除外してある。）

中途採用の場合は「男女ともあり」は74%で、「女子はなし」12%、「男女ともなし」13%と本採用への昇格制度のない事業所の割合がかなり多くなっている。これを規模別にみると、中途採用の場合本採用への昇格制度がない事業所は1,000人以上では12%と少ないが、100～299人の小規模事業所では29%と多い。（表6）

表6 本採用への昇格制度の有無別事業所の構成

%

規模産業	計	新規学卒採用の場合			中途採用の場合			
		男女ともあり	女子はなし	不明	男女ともあり	女子はなし	男女ともなし	不明
計	100.0	89.6	8.3	2.1	73.5	11.7	13.3	1.6
1,000人以上	100.0	100.0	—	—	87.7	10.2	2.0	—
500～999人	100.0	80.0	15.6	4.4	75.0	16.1	7.1	1.8
300～499人	100.0	88.2	7.8	3.9	77.3	9.1	12.1	1.5
100～299人	100.0	90.1	8.4	1.5	69.5	11.7	16.9	1.9
鉄鋼業	100.0	80.0	18.5	1.5	74.4	11.5	12.8	1.3
非鉄金属	100.0	87.7	12.3	—	73.3	13.9	12.9	—
金属製品	100.0	98.2	0.9	0.9	72.0	11.5	15.9	0.6
一般機械	100.0	87.5	6.3	6.3	75.2	9.9	9.9	5.0
輸送用機械	100.0							

表7 役付への昇進制度の有無別事業所の構成

%

規模産業	計	新規学卒採用				中途採用				
		男女ともあり		女子はなし	不明	男女ともあり		女子はなし	男女ともなし	不明
		男女差あり	男女差なし			男女差あり	男女差なし			
計	100.0	7.8	37.8	45.9	8.5	8.3	32.4	47.1	8.2	4.0
1,000人以上	100.0	5.9	56.9	35.3	2.0	5.9	47.0	37.3	5.9	3.9
500～999人	100.0	10.3	37.9	48.3	3.5	10.4	34.5	43.1	10.3	1.7
300～499人	100.0	9.6	38.4	47.9	4.1	12.3	32.9	46.6	5.5	2.7
100～299人	100.0	7.3	34.6	46.7	11.4	7.3	29.5	49.5	8.9	4.8
鉄鋼業	100.0	8.5	40.4	39.4	11.7	7.4	34.0	51.1	4.3	3.2
非鉄金属	100.0	6.9	40.5	44.8	7.8	7.8	36.2	44.0	9.4	2.6
金属製品	100.0	9.6	34.5	45.2	10.7	10.1	27.7	46.9	8.5	6.8
一般機械	100.0	5.5	38.2	53.6	2.7	6.4	34.5	47.3	10.0	1.8
輸送用機械	100.0									

役付への昇進制度および女子の役職者数

役付（係長，班長，主任などで役付手当が支給されているもの）への昇進制度は「女子はなし」となっている事業所が新規学卒採用の場合で45%，中途採用の場合で47%を占める。中途採用の場合はこれに「男女ともなし」の事業所8%が加わり，55%の事業所で，昇進の道がとざされていることになる。

昇進制度の内容に男女差があるという事業所は8%前後である。（表7）

以上のように約半数の事業所では女子にもなんらかの役付へ昇進の道がひらかれているのであるが，実際に女子の役付がいる事業所は一段と少なく17%の事業所にすぎない。これらの事業所にいる女子役職者は全部で273人で同じ事業所の全役職者の4%に当る。

役職名を列挙すると次のとおりで，ほとんど第一線監督者およびその補助者である。（表8）

表8 女子役職者の有無別事業所の構成および女子役職者のいる事業所における男女別役職者数

規模産業	計	女子役職者			ない
		いる	女子役職者数 注)	男子役職者数 注)	
計	100.0	16.7	273人	5,926人	83.3
1,000人以上	100.0	15.7	33	1,793	84.3
500～999人	100.0	22.4	37	1,732	77.6
300～499人	100.0	16.4	20	966	83.6
100～299人	100.0	15.9	183	1,435	84.1
鉄鋼業，非鉄金属	100.0	12.8	52	727	87.2
金属製品	100.0	20.7	91	955	79.3
一般機械	100.0	18.6	95	3,000	81.4
輸送用機械	100.0	12.7	35	1,244	87.3

注) 実数 女子の役職の事例は下記のとおり。

女子役職者総数 273人			
班 長	80	工長，工長補	2
組 長	40	職長代理	1
係 長	25	現場責任者	3
主 任	28	役付心得	2
副班長，班長補佐	41	課 長	4
組長代理，副組長	12	用務員（係長～部長までの総称）	1
係長補佐，係長心得	3	グループリーダー	5
主任補，副主任	4	リードマン	1
技長，技工員	9	不 明	12

3 教育訓練

採用時教育訓練の有無をみると、女子については新規学卒採用者に対しては55%、中途採用者に対しては31%の事業所においてその制度がある。中途採用の場合は制度実施率に男女差があまりなく、男子についても制度なしの事業所が65%と多いが、新規学卒採用の場合は男女差が大きく、制度「なし」の事業所は24%と少ない。

再教育訓練制度のある事業所は、男子新規学卒採用についても30%程度で、女子ではさらに少なく新規学卒採用で15%、中途採用で12%となっている。(表9)

表9 教育訓練制度の有無別事業所の構成

	計	新規学卒採用				中途採用			
		男		女		男		女	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
採用時教育訓練制度	100.0	75.7	24.3	55.1	44.9	35.0	65.0	31.2	68.8
再教育訓練制度	100.0	29.8	70.2	14.7	85.3	20.3	79.7	11.7	88.3
養成工制度	100.0	13.5	86.5	1.6	98.4	3.2	96.8	0.8	99.2

4 休日、休暇、交替制など

週休日

週休日数は84%の事業所が1日で、完全週休2日制の事業所は3%、隔週2日など不完全な週休2日制が8%、週休1.5日が3%を占めている。大規模事業所ほど週休日数が多い。(表10)

表10 週休日数別事業所の構成

規模産業	計	1日	1.5日	不完全2日	完全2日	不明
計	100.0	84.1	2.6	7.5	2.8	3.0
1,000人以上	100.0	72.5	5.9	9.8	9.8	2.0
500～999人	100.0	75.9	6.9	10.3	5.2	1.7
300～499人	100.0	86.3	2.7	6.9	2.7	1.4
100～299人	100.0	87.0	1.3	6.6	1.3	3.8
鉄鋼業、非鉄金属	100.0	88.3	2.1	5.3	1.1	3.2
金属製品	100.0	82.8	0.9	6.0	3.4	6.9
一般機械	100.0	80.8	4.0	10.7	3.4	1.1
輸送用機械	100.0	87.3	2.7	5.5	2.7	1.8

年次有給休暇

「本採用」の場合、勤続1年未満でも約半数の事業所が年次有給休暇を与えており、6日以上与えているところが24%、1～5日与えているところが27%となっている。

年次有給休暇の与え方は、労働者の身分によって差のある事業所が多い。本採用でない身分の労働者がある事業所のうち43%では「本採用」と「その他」の身分によりちがいがあ。 「パートタイマー」の場合は75%の事業所が、「本採用」とちがう与え方をしている。

したがって、本採用でない者の場合は勤続1年未満は年次有給休暇なしという事業所が67%と多くなっており、「パートタイマー」の勤続1年未満の場合は、87%の事業所が年次有給休暇を与えていない。さらに、「パートタイマー」については勤続1年でも年次有給休暇なしとしている事業所が55%を占めている。(表11, 12, 13)

表11 身分別、年次有給休暇日数別事業所の構成

身分	年次有給休暇日数 計	勤続1年未満				勤続1年					
		0日	1～5日	6日以上	不明	0日	1～5日	6日	7～9日	10日以上	不明
本採用	1000	48.5	26.6	23.7	1.2	—	0.6	57.4	21.7	20.3	—
その他*	1000	66.9	17.1	13.4	2.6	16.8	1.2	54.6	17.2	7.0	3.2
パートタイマー	1000	86.6	5.7	5.1	2.6	55.4	1.9	33.1	6.4	1.3	1.9

* 臨時、準社員、嘱託など本採用以外の者で、パートタイマーでないもの。以下各表同じ。

表12 勤続1年未満の年次有給休暇日数別事業所の構成

身分	規模	計	0日	1～5日	6日以上	不明
本採用	1,000人以上	100.0	9.8	21.6	66.6	2.0
	500～999人	100.0	22.4	32.8	43.1	1.7
	300～499人	100.0	41.1	30.1	28.8	—
	100～299人	100.0	61.2	25.4	12.1	1.3
その他	1,000人以上	100.0	58.5	4.9	29.3	7.3
	500～999人	100.0	54.2	27.1	18.7	—
	300～499人	100.0	51.7	22.4	20.7	5.2
	100～299人	100.0	76.2	15.7	6.6	1.5
パートタイマー	1,000人以上	100.0	88.9	—	11.1	—
	500～999人	100.0	84.2	5.3	10.5	—
	300～499人	100.0	82.3	11.8	5.9	—
	100～299人	100.0	87.4	5.8	2.9	3.9

表13 身分による年次有給休暇の与え方の相違別事業所の構成

%

規 模	「その他」の身分がある事業所				「パートタイマー」がいる事業所			
	計	本採用とそ の他と同じ	本採用とそ の他とちがう	不 明	計	本採用とパ ートと同じ	本採用とパ ートとちがう	不 明
計	100.0	55.2	43.4	1.4	100.0	24.1	75.3	0.6
1,000人以上	100.0	40.0	57.5	2.5	100.0	16.7	77.8	5.6
500~999人	100.0	50.0	50.0	—	100.0	26.3	73.7	—
300~499人	100.0	65.5	32.8	1.7	100.0	41.2	58.8	—
100~299人	100.0	56.4	42.1	1.5	100.0	22.1	77.9	—

有給の病気休暇、生理休暇

有給の病気休暇が認められている事業所は11%と少ない。本採用以外の者についてはほとんど認められていない。1,000人以上の大規模では31%の事業所で有給の病気休暇を認めているが500人未満の規模になると、6~7%と少なくなる。

生理休暇が有給の事業所は45%をしめ、大規模事業所ほど有給にしているところが多い。有給の日数は1日が33%、2日が30%、必要日数とするところが29%となっている。生理休暇中の給与の支給率は10割としている事業所が82%と大部分をしめ、6~9割が13%、6割未満は5%となっている。

以上はすべて「本採用」の場合の数字であるが、生理休暇についても身分により扱いをかえている事業所が多い。「その他」の身分については約半数の事業所が、「パートタイマー」の場合は77%の事業所が「本採用」と扱いをかえている。「本採用」との扱いの差の内容をみると、有給日数や賃金支給率がちがう事業所はごく少なく、大部分が「本採用」は有給であるが「その他」や「パートタイマー」の場合は無給となっている。(表14、15、16)

表14 有給の病気休暇、有給の生理休暇の有無別事業所の構成

%

身 分	有給の病気休暇				有給の生理休暇		
	計	あ り	な し	不 祥	あ り	な し	不 明
本 採 用	100.0	10.7	81.9	7.4	44.9	54.3	0.8
規 模	1,000人以上	31.4	62.7	5.9	76.5	23.5	—
	500~999人	19.0	69.0	12.0	63.5	37.9	—
	300~499人	5.5	89.0	5.5	46.6	53.4	—
	100~299人	7.0	85.7	7.3	35.9	62.9	1.2
そ の 他	100.0	4.4	86.0	9.6	22.7	73.8	3.5
パートタイマー	100.0	0.6	89.3	10.1	12.0	84.2	3.8

表15 有給の生理休暇のある事業所における、有給日数および給与支給率別事業所の構成

％

身 分	有 給 の 日 数					給 与 支 給 率		
	計	1 日	2 日	必要日数	その他	10割	6～9割	6割未満
本 採 用	100.0	32.8	29.6	28.6	9.0	81.6	13.0	5.4
規模 { 1,000人以上	100.0	27.3	29.6	29.5	13.6	66.7	23.1	10.3
500～999人	100.0	27.6	42.6	21.3	8.5	86.5	8.1	5.4
300～499人	100.0	24.6	53.3	20.0	2.2	76.5	17.6	5.9
100～299人	100.0	37.7	20.0	32.6	9.7	86.7	9.7	3.5
そ の 他	100.0	33.9	34.7	22.9	8.5	74.4	19.2	6.4
パートタイマー	100.0	30.6	19.4	36.1	13.9	78.9	21.1	—

表16 本採用以外の者に対する生理休暇の与え方別事業所の構成

(計は本採用に有給の生理休暇を与えている事業所)

「その他」の場合

％

規 模	計	本採用と同等 に与える	本採用とは日 数や給与支給 率に差がある	本採用は有給 だが「その他」 は無給	不 明
計	100.0	43.1	6.3	46.2	4.4
1,000人以上	100.0	35.5	6.4	48.4	9.7
500～999人	100.0	44.8	6.9	41.4	6.9
300～499人	100.0	63.0	7.4	29.6	—
100～299人	100.0	38.0	5.7	53.5	2.8

「パートタイマー」の場合

％

規 模	計	本採用と同等 に与える	本採用とは日 数、給与支給 率に差がある	本採用は有給 だがパートタ イマーは無給	不 明
計	100.0	20.6	4.1	72.6	2.7
1,000人以上	100.0	25.0	—	68.8	6.2
500～999人	100.0	33.3	8.4	50.0	8.3
300～499人	100.0	28.6	—	71.4	—
100～299人	100.0	13.2	5.2	81.6	—

交 替 制

交替制のある事業所は4.2％であるが、このうちの大部分3.9％までが男子のみが交替制をとっている事業所で、女子に交替制がある事業所は非常に少ない。

交替制のある事業所は大規模事業所は多く、1,000人以上では9.0％、500～999人で7.1％、300～499人で5.5％、100～299人で2.6％となっている。(表17)

表17 交替制の有無別事業所の構成

規 模 産 業	計	男子のみあり	男女ともあり 注)	%	
				な し	不 明
計	100.0	38.6	3.4	57.8	0.2
1,000人以上	100.0	76.5	13.7	9.8	—
500～999人	100.0	69.0	1.7	29.3	—
300～499人	100.0	53.4	1.4	45.2	—
100～299人	100.0	23.5	2.5	73.7	0.3
鉄鋼業、非鉄金属	100.0	67.0	3.2	29.8	—
金 属 製 品	100.0	28.4	4.3	66.4	0.9
一 般 機 械	100.0	28.8	2.8	68.4	—
輸 送 用 機 械	100.0	40.9	3.6	55.5	—

注) 女子の交替制の事例をあげると次のとおりである。

女 子 交 替 制 の 事 例

	交替制のある職種	交 替 制 の 内 容	産 業 注)	規 模 注)	事業所の 全女子生 産労働者数
一 部 の 職 種 の み 交 替 制	調 質 工	2 交替	33	4	19人
	ゴム生地切斷	(組なし) 2 交替	33	1	685
	樹脂成型	2 組 2 交替	33	4	87
	選 別	変則的			
	機械工作, プレス	2 組 2 交替	34	4	145
	一部職種(検査)	50～60組, 2 交替	34	1	459
	〃 (半数)	250組 2 交替	34	1	808
	機械鋳造	2 組 2 交替	34	2	20
	メッキ, 検査包装	6 班週 1 回時差出勤	32	4	39
	一部職種のみ	2 組 2 交替(13.00～21.35)	31	4	28
	め っ き	2 組 2 交替	36	1	250
は 全 員 交 替 制	ほとんど全員(機械工作組立)	2 組 2 交替	34	1	215
	ほとんど全員金属加工	隔週早番(7.00～15.00) 遅番(11.00～19.00)	31	4	28
	ほとんど全員(自動車組立)	2 組 2 交替	36	1	261
	ほとんど全員(機械工作組立)	〃 〃	36	1	191

注) 産業番号は31=鉄鋼業, 32=非鉄金属製造業, 33=金属製品製造業, 34=一般機械製造業, 36=輸送用機械製造業

規模番号は1=1,000人以上, 2=500～999人, 3=300～499人,
4=100～299人

残業手当支給基準

72%の事業所では所定労働時間（8時間未満）をこえると割増賃金が支払われ、25%の事業所では8時間をこえると割増賃金を支払うという基準になっている。後者の大部分は所定労働時間が8時間の事業所である。

残業手当の支給基準は、「本採用」と「その他」の身分の間にあまりちがいがいが、「パートタイマー」の場合は基準が明確になっていない事業所がかなりある。（表18、19）

表18 残業手当支給基準別事業所の構成

%					
身 分	計	所定労働時間 (8時間未満)を こえると割増	8時間をこ えると割増	そ の 他	不 祥
本 採 用	100.0	71.8	25.4	0.2	2.6
そ の 他	100.0	68.6	24.1	—	7.3
パートタイマー	100.0	43.0	16.5	7.1	33.5

表19 本採用以外の者に対する残業手当の支給方法別事業所の構成

%								
身 分 規 模	「そ の 他」				「パートタイマー」			
	「その他」 ありの事 業 所 計	本採用と 同 じ	本採用と ちがう	不 祥	パートタイ マーありの 事業所計	本採用と 同 じ	本採用と ちがう	不 祥
計	100.0	90.7	2.9	6.4	100.0	62.7	9.7	27.6
1,000人以上	100.0	90.0	10.0	—	100.0	94.1	5.9	—
500～999人	100.0	87.4	6.3	6.3	100.0	68.4	15.8	15.8
300～499人	100.0	89.6	5.2	5.2	100.0	68.8	25.0	6.2
100～299人	100.0	91.8	—	8.2	100.0	54.8	6.5	38.7

表20 定期昇給制度の有無別事業所の構成

%									
規 模 産 業	「本採用」の場合					「その他」の場合			
	計	あ り		な し	不 明	あ り		な し	不 明
		男女差 あり	男女差 なし			男女差 あり	男女差 なし		
計	100.0	34.4	58.0	6.6	1.0	31.7	47.4	18.3	2.6
1,000人以上	100.0	13.7	76.5	9.8	—	24.4	53.7	22.0	—
500～999人	100.0	25.9	70.7	3.4	—	31.3	52.1	16.7	—
300～499人	100.0	27.4	64.4	6.8	1.4	27.6	56.9	10.3	5.2
100～299人	100.0	41.0	51.1	6.7	1.2	34.5	42.1	20.3	3.0
鉄鋼業、非鉄金属	100.0	34.0	58.5	5.3	2.1	36.9	46.2	15.4	1.5
金属製品	100.0	40.5	52.6	6.0	0.9	35.7	37.1	20.0	7.1
一般機械	100.0	30.0	61.0	7.9	1.1	29.8	53.2	15.3	1.6
輸送用機械	100.0	35.4	58.2	6.4	—	27.1	48.2	23.5	1.2

注) 「その他」の場合については、本採用以外の身分規定がない事業所はのぞいたものを100とした構成比である。

定期昇給制度

定期昇給制度は本採用の場合 92 名の事業所が「あり」としており、本採用以外の者については 79 名の事業所が「あり」としている。いずれの場合も 3 割強の事業所では定期昇給制度の内容に「男女差あり」となっている。規模別にみると「男女差あり」の事業所は 100 ～ 299 人の小規模事業所で若干多くなっている。(表 20)

定期昇給制度の男女差について具体的に記入のあった事例を巻末にまとめてかかっているが、男女差のある理由としては仕事の内容がちがう、勤務状況がちがうからというものも多く、女子の昇給率を男子の 7 ～ 8 割としているところが多い。(付録 4)

5 安全衛生

安全衛生教育

「本採用」については、78 名の事業所で採用時に安全衛生教育が行なわれており、その他の時期にも 43 名の事業所で実施されている。

しかし、「その他」の身分については採用時に安全衛生教育を実施する事業所が 59 名、その他の時期に実施する事業所が 34 名と、いずれにしても「本採用」にくらべ実施率は低くなっている。「パートタイマー」の場合はさらに低く、採用時に実施する事業所は 52 名、その他の時期に実施している事業所は 28 名である。(表 21)

表 21 安全衛生教育・健康診断実施状況別事業所の構成

身 分	計	安全衛生教育 M.A.				健康診断 M.A.			
		採用時	その他	不 祥	該当者 な	定 期	採用時	不 祥	該当者 な
本 採 用	100.0	78.1	42.7	2.6	1.6	99.2	36.8	0.2	—
そ の 他	100.0	59.3	34.0	19.2	5.2	89.5	30.8	9.9	1.5
パートタイマー	100.0	51.6	28.0	25.5	5.7	81.5	22.3	13.4	0.6

健康診断

「本採用」の場合は、採用時に 37 名の事業所が、定期的に 99 名の事業所が健康診断を実施している。

しかし「その他」の身分の場合は定期的に実施している事業所 90 名、採用時に実施している事業所 31 名と本採用の場合より実施率が低く、「パートタイマー」になると定期的に実施している事業所 82 名、採用時に実施する事業所 22 名とさらに低くなっている。

また、特殊健康診断を受けた女子がいる事業所は全体で 29 名であるが、鉄鋼業、非鉄金属製造業

では20%と少なく、他の業種では3割前後となっている。(表21, 22)

表22 特殊健康診断を受けた女子労働者の有無別事業所の構成

厚生施設

休養室(労働者がが床しうるもの)は39%の事業所で設置されているが、女子専用の休養室があるのは4%にすぎない。

女子専用のトイレ(建物に間仕切りが設けられ、出入口が別々になっているもの)は82%の事業所で設けられている。そのうち100~299人の規模では女

子専用トイレを設けている割合は75%で、比較的少ない。女子専用更衣室は、91%の事業所があり、とくに300人以上では、大部分の事業所(97%以上)で設けられている。

医務室は1,000人以上では94%とほとんどの事業所に設けられているが300~499人では49%、100~299人では13%と300人を境に保有率が急に少なくなっている。(表23)

表23 厚生施設の有無別事業所の構成

規模産業	計	%								
		休 養 室		女子専 休養室	女子専用更衣室		女子専用トイレ		医 務 室	
		あ り	な し		あ り	な し	あ り	な し	あ り	な し
計	100.0	39.0	61.0	4.0	91.1	8.9	81.7	18.3	33.4	66.6
1,000人以上	100.0	41.0	58.8	2.0	98.0	2.1	94.1	5.9	94.1	5.9
500~999	100.0	31.0	69.0	1.7	98.3	1.7	94.8	5.2	72.4	27.6
300~499	100.0	45.0	54.8	—	97.3	2.7	90.4	9.6	49.3	50.7
100~299	100.0	38.7	61.3	5.7	87.3	12.7	75.2	24.8	12.7	87.3
鉄 鋼 業	100.0	40.4	59.6	3.2	87.2	12.8	76.6	23.4	38.3	61.7
非鉄金属	100.0	38.8	61.2	2.6	94.0	6.0	79.3	20.7	25.9	74.1
金属製品	100.0	39.5	60.5	5.7	94.3	5.7	87.0	13.0	35.6	64.4
一般機械	100.0	37.3	62.7	3.6	86.4	13.6	80.0	20.0	33.6	66.4
輸送用機械	100.0									

企業が独自に行なう労働災害補償制度

国が行なう労災保険の保険給付以外に、企業が独自にそれを上回って行なう補償の制度としては、まず休業中の給与を労災保険の給付に上乗せして補償する制度があるが、これを実施している事業所は55%で、このうち34%までが全額補償(平均賃金の100%)となるような制度をとっている。

災害見舞金の制度がある事業所は79%, 障害補償金(法定障害補償を上回った補償)制度のある事業所は45%, 退職金の増額の制度がある事業所は36%となっている。その他になんらかの補償制度を有している事業所は15%である。その具体的な内容は次のようなものである。

- 交通災害保険, 生命保険, 傷害保険加入(会社全額負担, 会社半額負担)
- 病気, 慶弔, 通勤途上災害, 公傷及び私傷見舞金支給, 入院費の一部負担
- 遺族補償費支給
- 葬祭料増額, 社葬

表24 労災保険の給付以外の補償制度の有無別事業所の構成

身 分 規 模 産 業	計	休業中の給与				災害見舞金		
		制度あり		なし	記入なし	制度あり	なし	記入なし
		全額補償	その他					
本採用	100.0	33.6	20.9	45.5	—	78.5	21.3	0.2
その他	100.0	28.2	19.5	50.9	1.4	68.6	29.7	1.7
パート	100.0	26.8	14.0	57.3	1.9	55.4	42.0	2.6
1,000人以上	100.0	45.1	35.3	19.6	—	90.2	9.8	—
500~999人	100.0	56.9	17.2	25.9	—	84.5	13.8	1.7
300~499人	100.0	35.6	30.1	34.3	—	80.8	19.2	—
100~299人	100.0	27.0	17.1	55.9	—	74.9	25.1	—
鉄鋼業, 非鉄金属	100.0	33.0	30.8	36.2	—	85.1	13.8	1.1
金属製品	100.0	30.2	18.1	51.7	—	74.1	25.9	—
一般機械	100.0	36.7	21.5	41.8	—	79.7	20.3	—
輸送用機械	100.0	32.7	14.6	52.7	—	75.5	24.5	—
身 分 規 模 産 業	障害補償金			退職金の増額				
	制度あり	なし	記入なし	制度あり	なし	記入なし		
本採用	45.3	53.3	1.4	36.4	63.0	0.6		
その他	36.9	59.6	3.5	18.0	79.7	2.3		
パート	31.9	64.3	3.8	16.6	80.2	3.2		
1,000人以上	70.6	29.4	—	52.9	47.1	—		
500~999人	67.2	32.8	—	55.2	43.1	1.7		
300~499人	45.2	53.4	1.4	28.8	71.2	—		
100~299人	37.1	61.0	1.9	32.1	67.3	0.6		
鉄鋼業, 非鉄金属	50.0	46.8	3.2	46.8	53.2	—		
金属製品	41.4	57.7	0.9	25.9	73.2	0.9		
一般機械	47.4	52.0	0.6	36.1	63.3	0.6		
輸送用機械	41.8	56.4	1.8	39.1	60.0	0.9		

注) 規模別, 産業別は本採用についてである。

個 人 調 査 結 果

1 女子生産労働者数

調査対象事業所に働く生産労働者の総数は18万5千人でこのうち女子は2万6千人であるが、規模別、業種別の分布をみると次のとおりである。

女子生産労働者のうち34%が1,000人以上の大規模事業所に、36%が100～299人の小規模事業所に働いており、男子にくらべると、1,000人以上事業所により少なく、100～299人事業所により多くなっている。男子は51%が1,000人以上事業所に働き、100～299人事業所の労働者は20%を占めるにすぎない。

業種別にみると女子生産労働者の35%が一般機械器具製造業に、28%が輸送用機械器具製造業に、23%が金属製品製造業に分布しており、鉄鋼業と非鉄金属製造業は合せて12%と少ない。男女をくらべると男子は鉄鋼業に24%と女子よりかなり多く、女子は金属製品製造業で男子より多くなっている。(表25)

表25 男女別調査対象事業所に働く生産労働者の構成

規 模, 産 業	男	女	男女計に占める女子の比率	%	
				女子のうち本採用以外のものの比率	女子のうちパートタイマーの比率
計	100.0	100.0	14.2	27.1	11.7
1,000人以上	50.5	34.4	10.1	17.4	8.7
500～999人	17.1	17.2	14.2	46.1	22.3
300～499人	12.3	12.6	14.3	33.2	5.9
100～299人	20.1	35.9	22.7	25.1	11.5
鉄 鋼 業	23.8	6.4	4.2	19.2	5.2
非 鉄 金 属	5.7	6.1	15.1	30.2	8.2
金 属 製 品	11.8	23.7	24.8	27.9	10.7
一 般 機 械	30.3	35.4	16.2	23.9	10.9
輸 送 用 機 械	28.4	28.3	14.1	31.5	15.7

注) 労働者数は生産労働者のみ、以下各表同じ

総労働者に占める女子の比率は全体で14%であるが1,000人以上の事業所では10%, 300～999人では14%, 100～299人では23%と、300人を境にかなりの差がみられる。

これは業種によっても相当ちがいがあり、鉄鋼業では4%とわずかであるのに対し、金属製品製造業では25%と多い。非鉄金属製造業、一般機械器具、輸送用機械器具製造業の三業種は大体同率で14～16%程度である。

さらに個々の事業所単位にみると、女子は数えるほどしかいないという事業所がかなり見

りけられる。

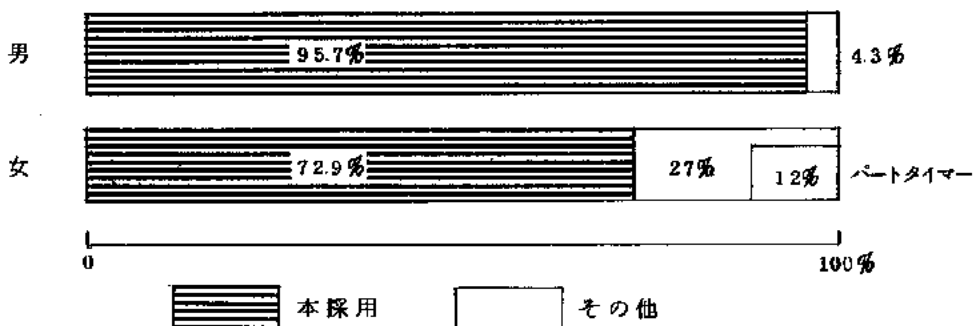
調査対象となった497事業所のうち108事業所では女子生産労働者は10人に満たず、そのうち35事業所では女子は1人ないし3人という少数になっている。このような事業所は規模の比較的小さいところばかりでなく500人以上の事業所でもみられる。(表26)

表26 女子労働者数別事業所の構成

		%						
女子労働者数別 規 模	計	1～3人	4～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
計	100.0	7.0	14.7	19.1	12.7	19.1	15.9	11.5
1,000人以上	100.0	2.0	5.9	7.8	5.9	9.8	17.6	51.0
500～999人	100.0	9.3	5.6	11.1	13.0	24.1	22.2	14.8
300～499人	100.0	3.9	11.7	16.9	10.4	19.5	22.1	15.6
100～299人	100.0	8.3	18.4	22.9	14.3	19.7	13.0	3.5

女子生産労働者のうち「本採用」にあたる者は73%で、残り27%が本採用以外の臨時工、準社員、定時社員、パートタイマーなどと呼ばれる身分の者である。本採用以外の者のうち約4割が「パートタイマー」であり、「パートタイマー」は全女子生産労働者の12%を占めている。(図27、28)

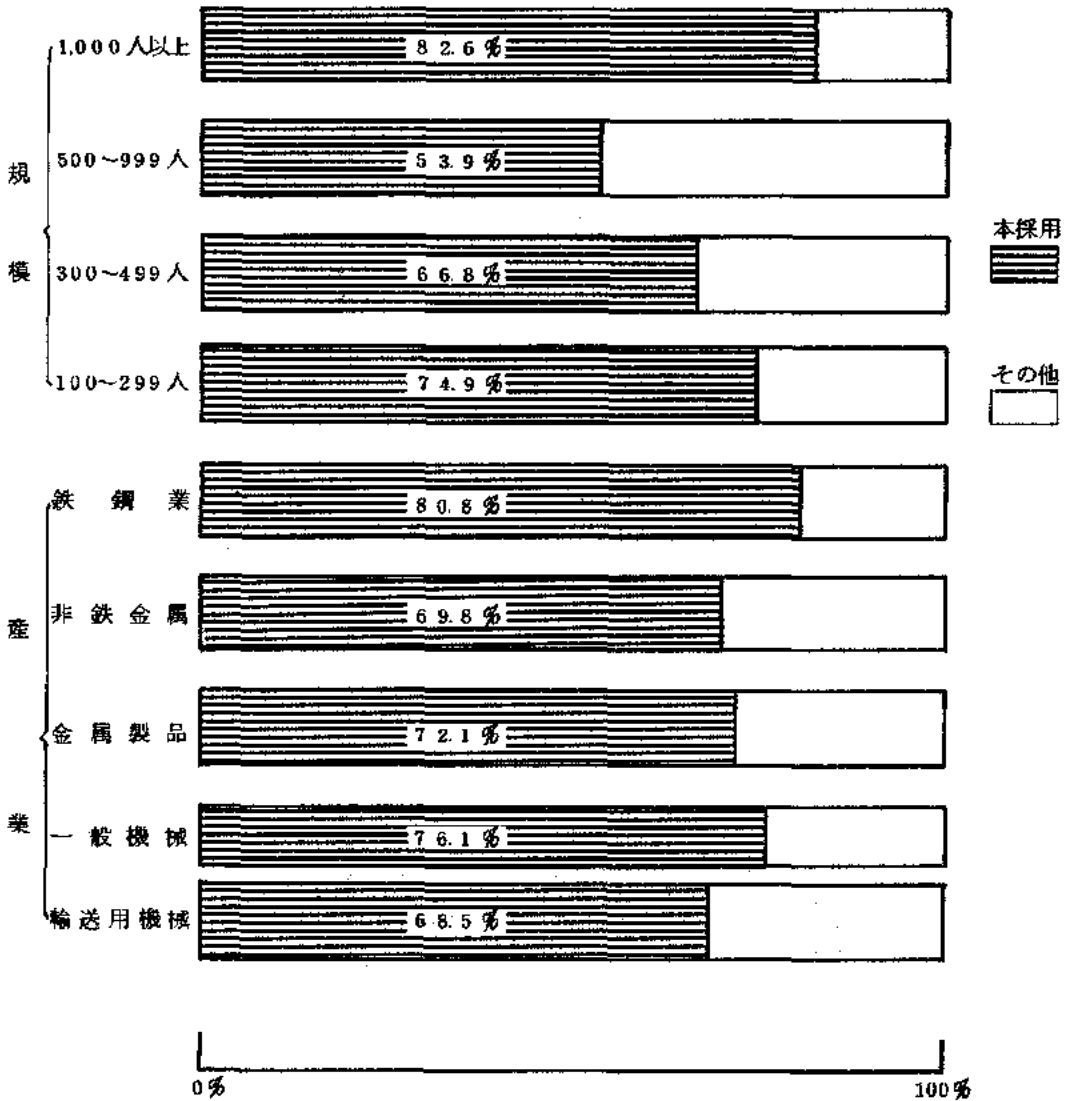
図27 生産労働者中本採用労働者の占める割合



調査対象事業所に働いている2万6千人の女子生産労働者のうち、「個人調査」の対象となったのは6,259人であり、以下に述べる女子生産労働者の実態は主として「個人調査」の結果によるものである。

6,259人の内訳は「本採用」70%、臨時など19%、「パートタイマー」11%となり、「事業所調査」による女子生産労働者の身分構成にくらべ若干本採用が少なくなっている。また規模別分布では100～299人規模が56%と「事業所調査」の構成より多くなっており、業種別にも若干の相違が出ている。この状況は付表2のとおりである。

図28 女子労働者中本採用労働者の占める割合



2 女子労働者の個人的特性

年 令

女子労働者の年齢階級別構成比をみると、25～29歳の6%、30～34歳の9%が最も少なく6割近くが35歳以上の中高年齢者で占められている。なかでも35～49歳層が中心で、この年齢層だけで48%をしめている。(図29)

配偶関係

未婚者は全体の27%、夫のある者が62%、離死別者が11%で、既婚者の割合が7割をこえ全産業の女子雇用者平均にくらべかなり高い。大規模事業所ほど既婚者が少く、1,000人以上の事業所では未婚者の方が既婚者より多くなっている。(図30)

図29 女子労働者の年齢別構成

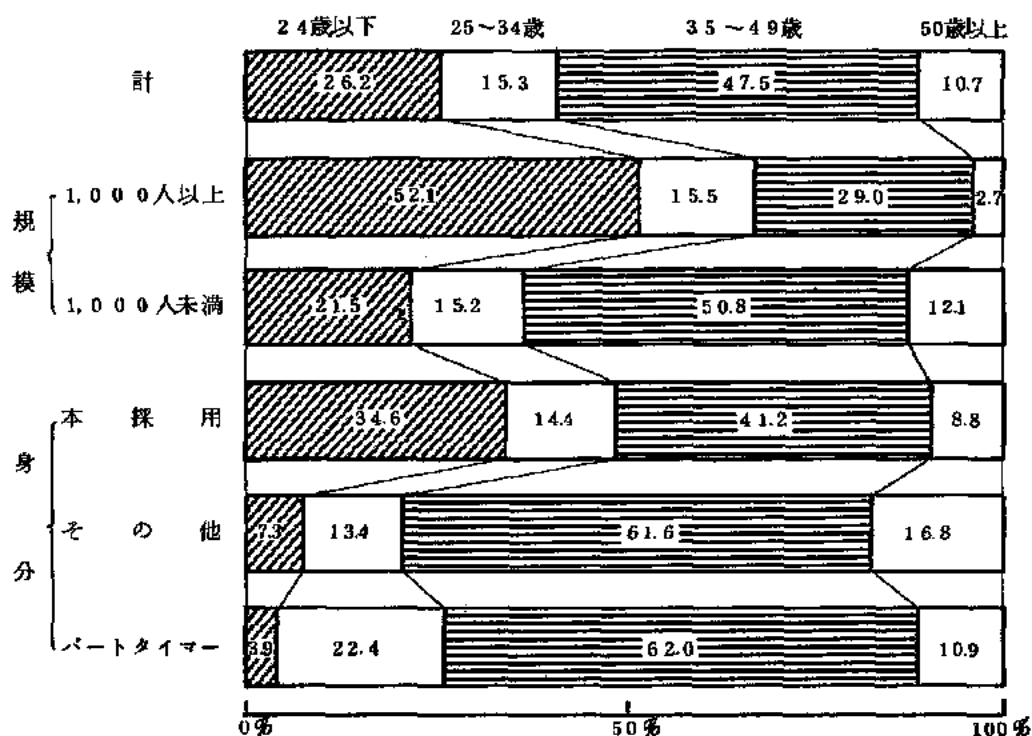
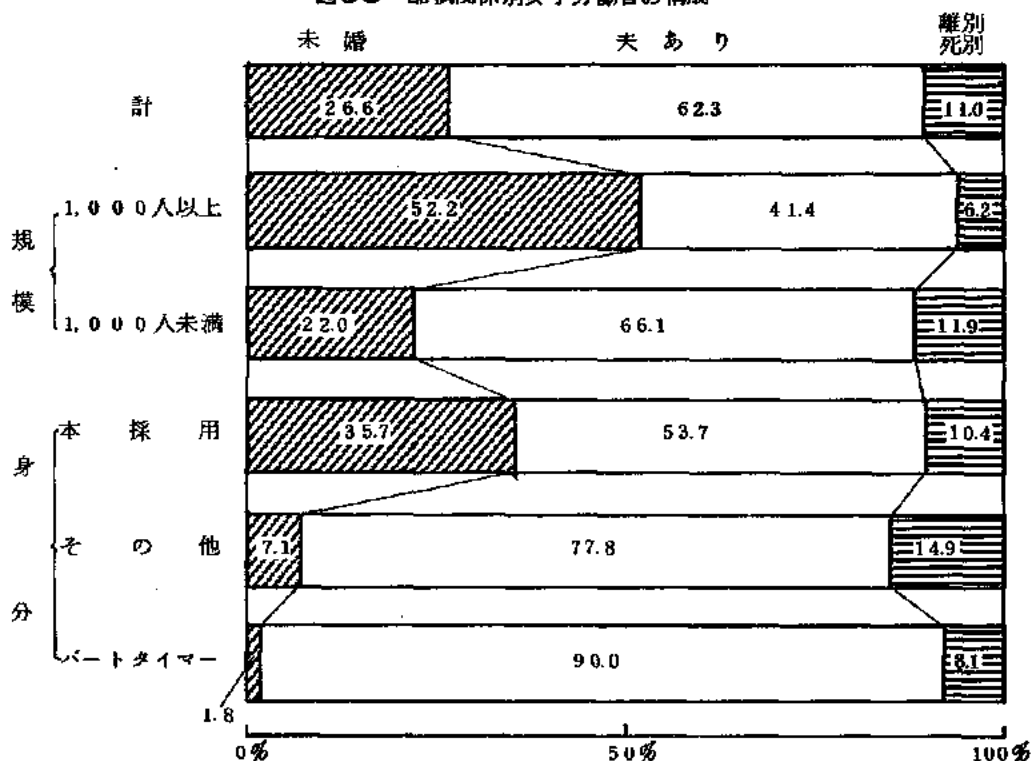


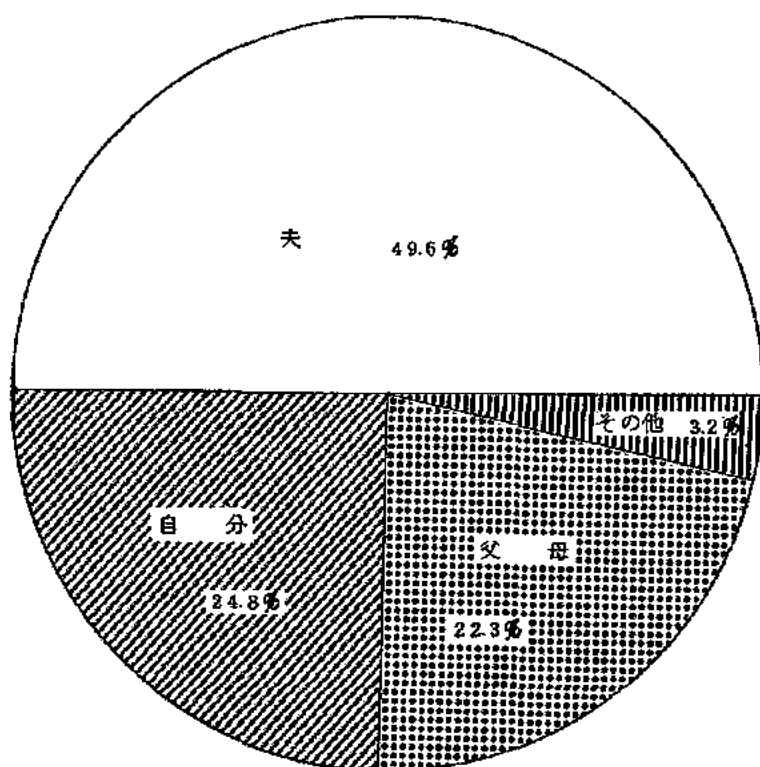
図30 配偶関係別女子労働者の構成



家計支持者

主な家計支持者（世帯の中で家計費を最も多く負担している者）は「夫」となっている者が50%で、「夫あり」の者の割合よりも12%も低く出ている。「自分」となっている者が25%、「父母」が22%、「その他」が3%である。（図31）

図31 主な家計支持者別女子労働者の構成



学 歴

最終学歴は77%の者が中学卒（旧制小学校，高等小学校を含む），23%が高校卒（旧制高等女学等含む）である。（図32）

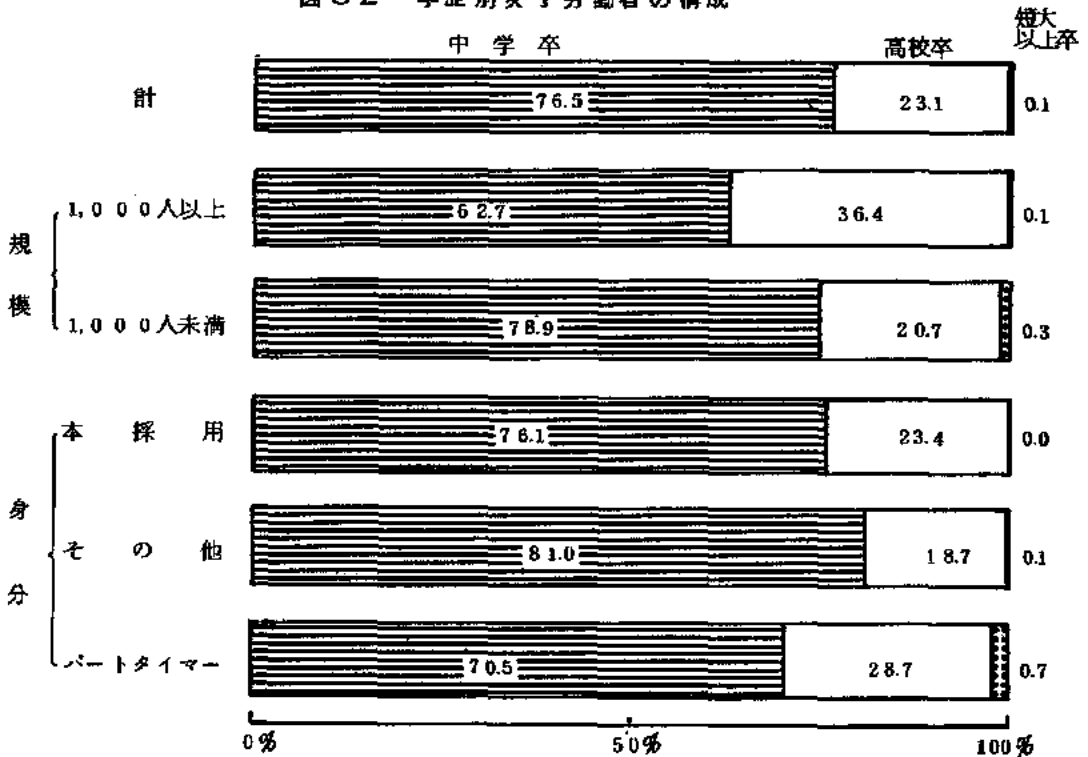
一方公共職業訓練を受けたことがある者は6%で，全体に少ないが，受けたことがある者の半数以上が1,000人以上の大規模事業所に，8割以上が輸送用機械器具製造業に集中している。（図33）

3 女子労働者の地位

身 分

女子労働者のうち73%が「本採用」で，27%が臨時工，準社員，パートタイマーなどの身分の者である。これら本採用以外の身分の者は男子の場合全体の4%とごく少ないのにくらべ，女子の割

図 32 学歴別女子労働者の構成

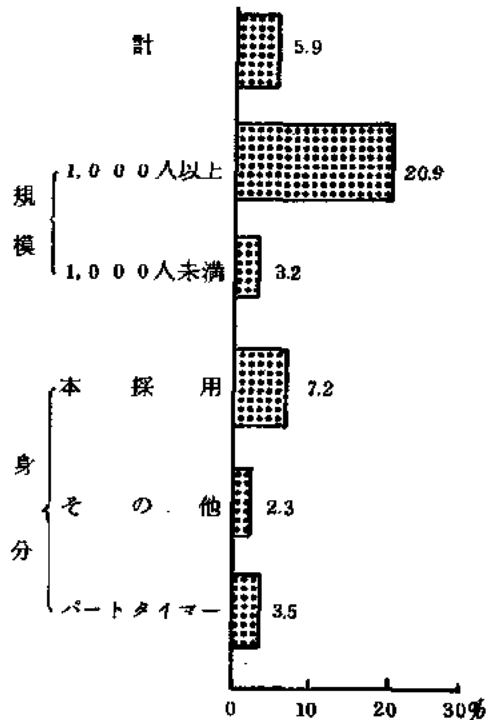


合は大きい。女子労働者の27%を構成している本採用以外の者のうち約4割は「パートタイマー」である。「パートタイマー」はほとんど本採用扱いとはなっていないが、「個人調査」の結果では、パートタイマーの10%は本採用待遇を受けている。(図27)

本採用以外の労働者の呼称を事例的にあげると24頁のとおりで、「臨時」「パートタイマー」が圧倒的に多い。

本採用とそれ以外の者を区別する条件については具体的に記入のあった事例を巻末にまとめているが、採用時の年令を区別の条件としていところが多い。

図 33 女子生産労働者中公共職業訓練を受けたことのある女子労働者の占める割合



本採用以外の労働者の呼称

臨時、臨時工、臨時従業員など	1 2 2 例	定期工	1
パートタイマー	1 1 8	常用工	1
嘱託	3 0	直 備	1
準社員、準職員	1 8	人 夫	1
季節工	9	女子作業員	1
試用工、試用社員	6	社員1級、2級	1
庸員、雇員、雇い	6	特別職	1
日給者、日給制	3	技能補助員	1
定時社員	2	特別社員	1
臨時的常用、常用臨時	2	準嘱託	1
臨時女子社員(工員)	2	常用嘱託	1
見 習	2	養成現業員	1
永久臨時	1	呼称不明	5 1 事業所
期間工	1		

雇用契約期間

女子生産労働者の66%は雇用契約期間に定めのない常用労働者であり、6%が月ぎめ、日ぎめの期間雇用者である。27%は雇用期間について契約がはっきりしていない者等である。

臨時契約の者でも8割以上が1年以上勤続している。(表34、35)

表34 雇用契約期間別女子労働者の構成

%

規模 身分	計	雇 用 契 約 期 間				
		常用で期間 を限らな かった	月 ぎ め	日 ぎ め	わからない 何も話合 わなかった	不 明
計	100.0	65.8	5.3	1.2	27.0	0.7
1,000人以上	100.0	63.2	9.5	7.2	18.7	1.4
500～999人	100.0	64.1	6.2	0.1	29.3	0.3
300～499人	100.0	63.3	7.1	0.3	29.0	0.3
100～299人	100.0	67.6	3.4	0.1	28.2	0.7
本 採 用	100.0	73.3	1.6	1.5	22.8	0.8
そ の 他	100.0	52.6	11.6	0.4	35.0	0.4
パートタイマー	100.0	40.9	17.9	0.7	40.1	0.4

期間雇用者の割合は1,000人以上の事業所で17%と多く、100～299人事業所では3%と少ない。

雇用契約期間が不明確な者の割合は1,000人以上事業所で19%、1,000人未満では29%となっている。

表35 雇用契約期間別、勤続年数別女子労働者の構成

		勤続年数							％
雇用契約期間		計	1年未満	1～2年台	3～4年台	5～9年台	10～14年台	15年以上	不明
計	計	100.0	9.4	26.9	23.9	24.9	9.8	4.6	0.5
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
常用で期間を 限らなかった	計	100.0	8.7	25.0	24.7	25.7	10.4	5.0	0.5
		65.8	60.7	61.3	67.9	67.8	70.1	71.4	
月ぎめ	計	100.0	17.9	33.6	24.5	15.5	7.6	0.6	0.3
		5.3	10.0	6.6	5.4	3.2	4.0	0.6	
日ぎめ	計	100.0	13.1	22.4	25.0	26.3	7.9	5.3	—
		1.2	1.7	1.0	1.2	1.2	0.9	1.3	
わからない/明 話合わなかった	計	100.0	9.4	30.1	22.0	24.9	8.7	4.3	0.6
		27.0	27.0	30.2	24.8	27.0	23.9	25.0	
不 明	計	100.0	2.2	28.6	19.0	19.0	11.9	9.5	4.8
		0.7	0.5	0.7	0.5	0.5	0.8	1.3	

本採用以外の身分の者で期間の定めのない契約の者は53％、「パートタイマー」では41％を占めている。本採用以外の者に期間雇用者の割合が高いが、それとともに雇用期間不明確な者の割合も35～40％と「本採用」にくらべ相当多くなっている。

勤続年数

勤続年数は、1年未満の者が9％、1～2年が27％、3～4年が24％、5～9年が25％、10年以上が14％となっている。

1,000人以上の大事業所では3年に満たない勤続年数の短い者が44％をしめ、1,000人未満の事業所にくらべ多くなっている。

パートタイマーは6割が勤続年数3年未満である。(表36)

表36 規模別、身分別、勤続年数別女子労働者の構成

		勤続年数							％
規模身分		計	1年未満	1～2年台	3～4年台	5～9年台	10～14年台	15年以上	不明
計		100.0	9.4	26.9	23.9	24.9	9.8	4.6	0.5
1,000人以上		100.0	10.6	33.7	25.3	19.4	6.1	4.3	0.6
500～999人		100.0	6.8	26.9	26.5	22.5	11.2	5.3	0.7
300～499人		100.0	6.6	26.0	27.2	26.3	7.4	5.8	0.7
100～299人		100.0	10.5	25.2	21.9	26.6	11.1	4.3	0.4
本 採 用		100.0	7.4	24.5	23.2	27.7	11.1	5.6	0.5
そ の 他		100.0	10.8	27.5	26.0	21.4	9.8	3.7	0.8
パートタイマー		100.0	19.6	40.2	25.1	12.9	1.4	0.4	0.4

4 女子労働者の職種

就労分野

女子生産労働者の就労が「間接生産部門の作業（検査、運搬、倉庫、工具保管など、直接生産工程に従事しない作業）に限られている」事業所は13%と少なく、大部分の事業所では「直接生産部門の作業」（機械加工、組立など直接生産工程に従事する作業）に女子が就労している。しかし、業種別では鉄鋼業、非鉄金属製造業で女子の就労が「間接生産部門の作業に限られている」事業所が26%と比較的多くなっている。

作業の内容をみると、「男子と同じ仕事をしている女子がいる」事業所は67%で、「男子と同じ仕事をしている女子がいない」事業所は32%である。（表37）

表37 女子生産労働者の就労状況別事業所の構成

規模産業	計	女子生産労働者は			男子と同じ仕事をしている女子が		
		直接生産部門の作業についている	間接生産部門の作業に限られる	不明	いる（注）	いない	不明
計	100.0	86.9	11.1	2.0	67.0	32.4	0.6
1,000人以上	100.0	88.2	7.9	3.9	76.5	23.5	—
500～999人	100.0	93.1	5.2	1.7	70.7	29.3	—
300～499人	100.0	86.3	11.0	2.7	71.2	26.0	2.8
100～299人	100.0	85.7	12.7	1.6	63.8	35.9	0.3
鉄鋼、非鉄金属	100.0	71.3	23.4	5.3	62.8	37.2	—
金属製品	100.0	87.9	10.4	1.7	64.6	32.8	2.6
一般機械	100.0	92.1	6.2	1.7	68.4	31.6	—
輸送用機械	100.0	90.9	9.1	—	70.9	29.1	—

（注）仕事の内容別、男子と同じ仕事をしている女子のいる事業所数およびその仕事に就いている女子数は下記のとおり。

鋳物工	8事業所	50人	電気溶接	29事業所	209人
鋳物造型	3	10	溶接	3	27
シェル成型	1	2	スポット溶接	7	130
中子工	14	105	アルゴン溶接	1	1
芯取り	5	34	高周波溶接	1	2
仕上工	4	19	自動ビン付溶接機	1	1
後処理、ばり取り	6	40	自動溶接機	1	3
砂処理	1	2	メッシュの溶接	2	7
ガス溶接	17	102	旋盤	20	327
ガス切断	10	28	卓上小型旋盤	4	14

自動旋盤	5	事業所	1	2	人	パネル製造	1	事業所	9	人		
ボール盤	6	4	3	8	5	塗 装	2	1	1	6	8	
フライス盤	2	1	1	2	0	線ばね末端加工	1			1	4	
ターレット盤	7		1	9		やすり成型	4			2	8	
研削盤	3			5		サンダーかけ	2				3	
研磨盤	2	4	4	7	4	製釘用工具製作	1				2	
転造盤	2			3		伸線用ダイス修理	1				1	
ブローチ盤	3		1	0		伸線工	3			1	3	
ホーニング盤	2			3		より線	1			2	4	
セーパー	1			3		巻 線	2			1	9	
ねじ切り	2			4		金属かすとり	2			2	0	
切断機	5		2	0		鉄 工	1			1	1	
グラインダー	6		4	7		製缶工	2			2	9	
刃切機	2			4		圧延工	1			2	9	
ランドリール盤	1			2		アルマイト工	1			3	2	
ボーリング盤	1			3		板ばね熱処理	1				4	
ミーリング	1		2	5		めっき	3			3	9	
ナライ旋盤	1			1		マトリアンシーマー	1				2	
金属工作機	4		1	5		マキジメ機	1				2	
みぞ切り	2			2								
専用機、単能盤	1	1	1	5	4	組立工	7	5	3	4	5	3
穴あけ	3			1	8	仕上げ工	1	2			7	9
ペンダー	1			2		射出成型	1				3	
シャーリング	2		1	0		検査工	2	9		3	0	2
タッパ	1			5								
センターレース	1			2		包装製造	1	0		2	4	9
ポンチングマシン	1			1		倉 庫	1	5			4	2
矯正機	2		2	3		運搬フォークリフト	1				2	
金型機	2			7		貨物自動車	1				2	
プレス	3	7	5	4	9	そ の 他	1				5	
						雑 役	3				8	
マーキング	3			8		分 析	5				4	3
きみつ	1			6		写 図	1				1	
はんだづけ	1			4								
裁断、絶縁紙、金属 紙	2		3	7								

上記は仕事の内容を調査票に記入されたまま列挙したもので、これらの仕事をしている女子の総数は約7千人で全体の3割弱に相当する。

ス工、溶接工はそれぞれ全体の8%, 3%, 3%を占めるのみで、やはり補助的職種に従事する者の方が多い。

男女計のうち女子の占める割合をみると、金属工作機械工7%, 金属プレス工11%, 溶接工7%では低く、自動車組立工(22%), その他の機械組立修理工(26%)では全体の平均よりかなり高くなっている。(表38)

表38 女子労働者の職種別構成

%

職 種	女子労働者数	男女計のうち女子の占める割合	産業別女子労働者数			
			鉄 鋼、 非鉄金属	金属製品	一般機械	輸送用機械
計	100.0	14.2	100.0	100.0	100.0	100.0
鑄 物 工	2.0	6.4	7.9	0.2	1.9	1.1
伸 線 工	0.1	3.2	0.7	0.1	0.0	—
その他の金属材料製造作業者	1.3	3.7	5.8	0.9	1.0	—
上記以外の金属材料製造作業者	0.8	3.4	1.9	1.1	0.2	0.7
金属工作機械工	7.7	7.1	2.7	2.5	11.3	9.6
金属プレス工	2.8	11.4	1.2	5.4	2.4	2.0
電気溶接工	2.2	7.8	0.5	1.9	0.9	4.8
ガス溶接工, ガス切断工	0.7	5.0	1.2	0.3	0.3	1.4
めっき工	0.8	11.3	0.8	0.9	0.4	1.3
仕上工	5.5	14.3	6.1	2.8	8.2	4.0
バフみがき工	0.6	26.3	0.8	1.3	0.6	0.2
その他の金属加工作業者	8.9	21.6	9.8	20.9	6.0	2.0
上記以外の金属加工作業者	4.5	14.4	7.7	6.4	4.3	1.8
自動車組立工	6.9	22.4	—	0.5	—	23.8
その他の輸送用機械組立工	2.2	16.9	—	—	0.1	7.7
上記以外の "	0.6	11.0	—	—	1.2	0.8
その他の機械組立工	10.9	25.6	1.1	3.0	18.4	12.5
上記に分類されない機械組立工	2.9	21.8	0.5	0.9	7.2	0.4
運 搬 夫	0.3	3.8	0.2	0.3	0.2	0.6
倉 庫 夫	1.0	12.9	1.2	0.6	0.9	1.2
荷 造 工	1.1	29.0	2.1	1.2	1.1	0.6
クレーン, フォークリフト運転工	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
上記以外の定置機関運転工	0.1	1.0	0.3	—	0.2	0.1
上記以外の職種	36.0	23.1	47.4	48.6	33.2	23.4

「個人調査」の対象となった女子労働者では、金属加工機械を直接自分で操作する仕事に就いている者が27%、自動機械に材料を入れたり、製品をとり出したりする仕事をしている者が3%で、組立、仕上、検査、包装などの製造工程の仕事をしている者が60%と最も多い。製造工程の仕事のうち半数近くが流れ作業である。

金属加工機械を操作する仕事は1,000人未満の事業所により多く、その他の製造工程の仕事は1,000人以上事業所により多い。なかでも流れ作業の割合は1,000人以上の規模でより多くなっている。

また、組立、検査、包装などの製造工程の仕事、とくに流れ作業は未婚者の割合が比較的多く、機械操作の仕事は既婚者により多い。溶接工はほとんどが既婚者である。(表39、図40)

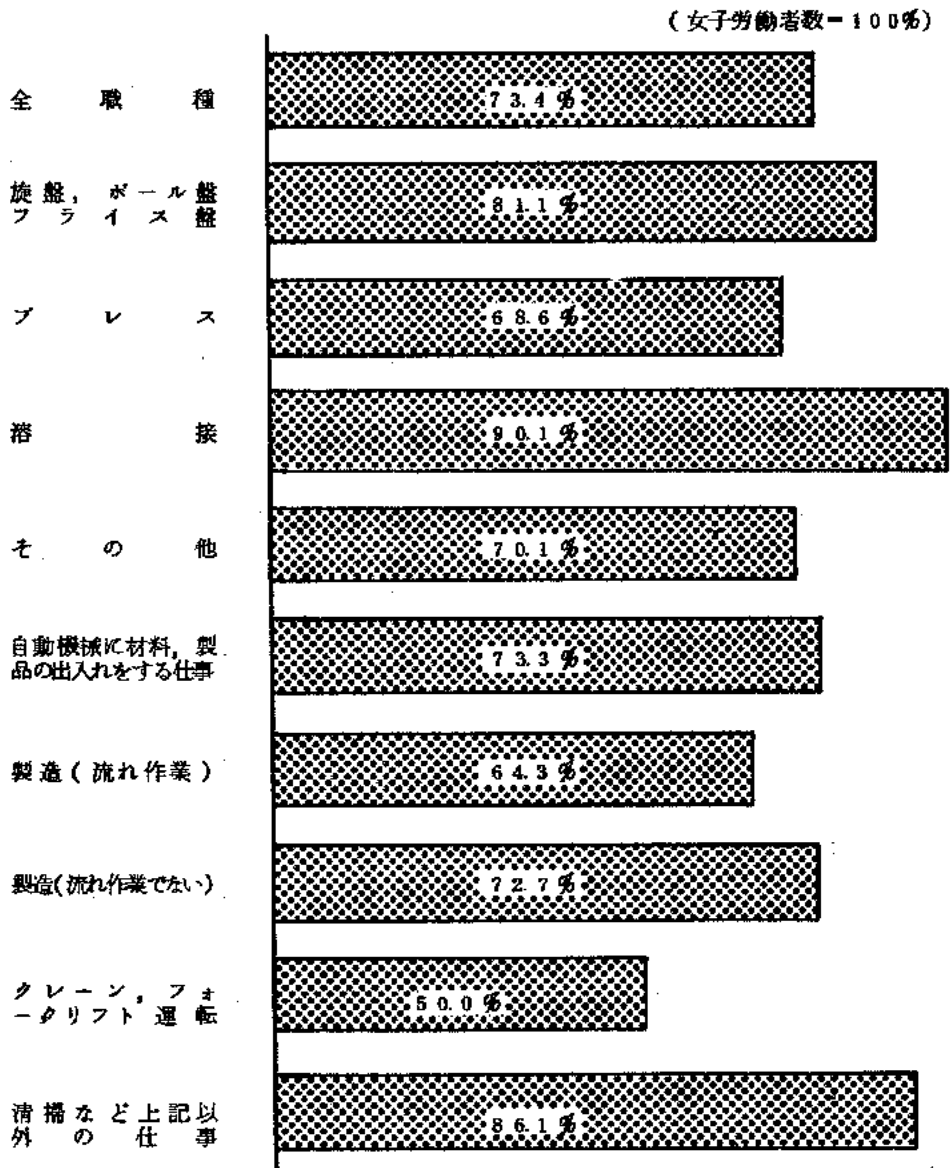
表39 仕事の内容別女子労働者の構成

%

		計	金属を加工する機械を直接自分で操作する仕事				
			小 計	旋盤、ボール盤 フライス盤等	プレス機	溶 接 機 溶 断 機	その他の 機 械
規 模	計	100.0	27.4	10.0	5.1	6.6	5.7
	1,000人以上	100.0	17.0	6.9	2.8	3.5	3.8
	500～999人	100.0	31.1	9.2	6.4	11.7	3.8
	300～499人	100.0	28.9	8.3	3.7	10.2	6.7
	100～299人	100.0	28.8	11.4	5.8	5.2	6.4
産 業	鉄鋼、非鉄金属	100.0	13.3	3.5	1.7	3.4	4.7
	金 属 製 品	100.0	27.6	7.0	7.8	6.2	6.6
	一 般 機 械	100.0	29.4	13.8	5.0	3.3	7.3
	輸 送 用 機 械	100.0	33.8	11.8	4.8	14.2	3.0
配偶関係	未婚	100.0	21.9	7.1	6.0	2.5	6.3
	夫 あ り	100.0	29.2	10.8	4.6	8.3	5.5
	離 別 , 死 別	100.0	30.3	12.2	5.8	7.1	5.2

		自動機械に材料、製品の出入れをするだけの仕事	製造、組立、仕上、検査、包装などの仕事		クレーン、フォークリフト等の運転	その他の仕事	仕事内容不明
			うち流れ作業				
規 模	計	3.0	59.6	26.4	0.2	9.7	0.1
	1,000人以上	1.9	71.7	36.1	0.3	9.0	0.1
	500～999人	4.2	55.5	23.5	0.5	8.6	0.1
	300～499人	2.8	56.1	26.9	—	12.1	0.1
	100～299人	3.1	58.3	24.4	0.2	9.6	0.0
産 業	鉄鋼、非鉄金属	3.5	70.5	18.0	0.2	12.3	0.2
	金 属 製 品	3.4	59.2	32.5	—	9.7	0.1
	一 般 機 械	2.4	59.0	24.6	0.5	8.7	—
	輸 送 用 機 械	3.0	53.6	26.8	0.1	9.4	0.1
配偶関係	未婚	3.0	69.5	35.4	0.4	5.1	0.1
	夫 あ り	3.2	56.8	23.9	0.1	10.6	0.1
	離 別 , 死 別	1.9	51.5	19.2	0.1	16.2	—

図4〇 各職種における既婚者の割合



機械操作の職種の者のうち旋盤プレス等の金属工作機械では10年以上の経験者が比較的多いが、溶接工等では経験年数の短い者が多くなっている。しかし、溶接工では44%が溶接に関するなんらかの資格を持っている。旋盤、プレス等で資格のある者はほとんどいない。(表41)

作業内容の男女差

女子労働者の64%は仕事の内容が男子とあまり変わらないと答え、26%が男子より楽と答えている。無回答が1割程度あるとはいえ、男子と変わらない仕事をしているという女子の方が多い。男子と変わらない仕事をしていると答えた女子は、同じ内容の仕事をしている男子が同じ職場にいる場合

表4-1 機械の種類別、経験年数別、資格の有無別労働者の構成

%

	計	経験年数						資格の有無		
		1年未満	1～2年	3～4年	5～9年	10年以上	不明	ある	ない	不明
計	100.0	10.2	30.4	23.5	21.1	9.8	5.0	11.2	84.9	3.9
旋盤ボール盤 フライス盤等	100.0	11.2	28.4	25.1	18.8	11.7	4.8	0.5	95.7	3.8
プレス機	100.0	10.1	27.1	24.5	22.6	11.0	4.7	0.9	94.4	4.7
溶接機 溶断機	100.0	8.4	34.2	26.0	22.7	4.8	3.9	43.6	54.0	2.4
クレーン フォークリフト等	100.0	7.1	35.7	35.7	14.3	—	7.1	28.6	57.1	14.3
その他	100.0	10.4	32.4	16.6	22.0	11.6	2.0	0.6	94.9	4.5

表4-2 仕事の内容別女子労働者の構成

%

	計	職場に同じ内容の仕事をしている男子が			仕事の内容は男子とくらべて (注)		
		いる	いない	不明	あまり変わらない	男子より楽	不明
計	100.0	67.9	31.9	0.2	64.3	25.9	9.8
金属を加工する機械を直接自分で操作する仕事	100.0	82.0	17.9	0.1	76.8	18.8	4.4
うち旋盤、ボール盤、フライス盤等	100.0	79.8	20.2	—	73.7	20.9	5.4
プレス機	100.0	84.0	15.7	0.3	73.3	22.3	4.4
溶接機	100.0	91.3	8.7	—	87.0	10.6	2.4
その他	100.0	72.7	27.3	—	72.4	22.3	5.3
自動機械に製品材料の出入れをする仕事	100.0	69.5	30.5	—	64.2	25.1	10.7
製造、組立、仕上、検査、包装等	100.0	63.2	36.5	0.3	61.2	28.3	10.5
うち流れ作業	100.0	66.9	32.7	0.4	67.9	22.7	9.4
クレーン、フォークリフトの運転	100.0	100.0	—	—	100.0	—	—
その他	100.0	72.7	27.3	—	72.4	22.3	5.3

(注) 表4-2 再掲

%

	計	仕事の内容は男子にくらべて					
		あまり変わらない		男子より楽		不明	
計	100.0 100.0	100.0	64.3	100.0	25.9	—	9.8
同じ内容の 仕事をして いる男子が	いる	67.9	100.0	83.6	79.2	50.8	19.3
	いない	31.9	100.0	16.4	33.1	49.2	39.9
	不明	0.2	—	—	—	—	—

に多くなっている。

この割合は職種によって差があり、溶接工では87%とほとんどが男子と変わらないと答えており

クレーン等の運転工（該当者14人）は全員が男子と変わらないと答えている。旋盤、プレス等の工作機械工では73%の者が男子と変わらないと答え、平均より多い。これに対し、組立、仕上、検査、包装等の製造工程従事者では男子と変わらない者がやや少ななっている。なかでも流れ作業でない製造作業従事者は57%と平均よりかなり低くなっている。（表42）

作業姿勢

全体でみると、女子労働者の55%がおもに立作業、37%が腰掛作業である。「その他の姿勢の作業」すなわち中腰、かがみ姿勢、立作業と腰掛作業が相なかつする作業などが8%である。

立作業は、旋盤、自動機械等の操作の作業に多く、プレスでは腰掛作業が旋盤等より多く、溶接ではしやがむ姿勢など複雑な姿勢が他より多くなっている。（表43）

表43 作業姿勢別女子労働者の構成

	%				
	計	立作業	腰掛作業	その他	不明
計	100.0	54.8	36.6	8.0	0.6
金属を加工する機械を自分で操作する仕事	100.0	61.1	30.3	8.0	0.6
うち旋盤、ボール盤、フライス盤	100.0	72.9	22.3	3.8	1.0
プレス機	100.0	43.7	49.1	7.2	—
溶接機	100.0	57.6	23.1	18.1	1.2
その他の機械	100.0	61.7	35.2	3.1	—
自動機械に製品、材料の出入れをする仕事	100.0	74.3	20.9	4.3	0.5
製造、組立、検査、仕上、包装等	100.0	49.4	43.0	7.1	0.5
うち流れ作業	100.0	53.9	40.2	5.4	0.5
クレーン、フォークリフトの運転	100.0	21.4	50.0	28.6	—
その他	100.0	63.6	20.3	14.8	1.3

けがの心配

仕事をしていてけがの心配がないと答えた者が55%、45%が心配があると答えている。心配があると答えた者のうち自分の仕事が危険という者が約半数、周囲に危険なものがあるという者が約半数である。

けがの心配がある者はクレーン等の運転で79%と最も高く、プレスで74%、溶接で68%をしめ、旋盤で60%と金属加工機械を操作する仕事では全般に多くなっている。

しかも多くが自分の仕事そのものが危険だとしている。ただし溶接、クレーン等の運転では周囲が危険というものもかなりある。

組立、仕上、包装等作業ではけがの心配がある者は36～7%で、このうち多くが自分の仕事ではなく周囲に危険なものがあるために心配している。（表44）

表44 けがの心配の有無別女子労働者の構成

%

	計	けがの心配					不明
		ない	ある	仕事に	周囲に	その他に	
計	100.0	55.0	44.6	19.2	21.4	3.8	0.4
金属を加工する機械を直接自分で操作する仕事	100.0	36.2	63.2	42.1	17.0	4.5	0.6
うち旋盤、ボール盤、フライス盤	100.0	39.0	60.2	45.1	10.3	4.2	0.8
プレス機	100.0	26.4	73.6	58.2	11.3	3.5	—
溶接機	100.0	31.3	68.2	33.5	31.6	7.0	0.5
その他の機械	100.0	46.2	53.0	33.0	16.6	2.5	0.8
自動機械に製品材料の出入れをする仕事	100.0	58.8	41.2	19.8	17.6	3.7	—
製造、組立、仕上、検査、包装等	100.0	63.1	36.5	9.9	22.4	3.6	0.4
うち流れ作業	100.0	62.6	37.0	10.0	23.2	3.5	0.4
クレーン、フォークリフトの運転	100.0	21.4	78.6	33.5	28.6	14.3	—
その他	100.0	57.7	42.1	11.0	28.9	2.6	0.2

5 女子労働者の労働時間

所定労働時間

46年7月の毎月勤労統計調査によると、金属、機械製造業における女子生産労働者の月間実労働時間は178時間前後、出勤日数は23日前後である。

今回の調査では1日あたり所定労働時間別に労働者の構成をみたが、7時間台に7割以上が集中しており、7.00～7.29が39%、7.30～7.59が36%を占め、8.00は14%、6時間台が8%である。(表45)

表45 労働時間別、休憩回数、休憩時間別女子労働者の構成

%

		計	労働時間						
			6.00未満	6.00～6.59	7.00～7.29	7.30～7.59	8.00	8.01以上	不明
一日の休憩回数	計	100.0 100.0	100.0 27.1	100.0 7.5	100.0 38.8	100.0 35.5	100.0 14.2	100.0 0.7	100.0 6.1
	1回	45.0	41.3	25.2	47.9	39.6	63.2	53.5	2.6
	2回	17.5	8.7	14.1	16.1	22.0	14.1	14.0	2.6
	3回以上	37.2	41.3	60.5	35.9	38.4	22.7	32.5	94.8
	不明	0.3	8.7	0.2	0.1	0.0	—	—	—
一日の休憩回数	なし	0.1	4.1	—	—	0.1	—	—	—
	～44分	0.7	11.0	2.8	0.1	0.2	0.5	—	—
	45分	23.3	19.8	8.5	23.6	22.5	33.0	39.5	2.6
	50分、55分	18.3	24.4	17.3	15.5	23.0	14.3	16.3	2.6
	60分	36.4	7.6	21.9	41.8	30.4	49.4	39.5	47.4
	65分、70分	13.4	23.8	25.4	11.2	17.6	1.7	—	—
	75分～89分	6.1	9.3	17.3	5.7	5.5	0.5	4.7	47.4
	90分以上	1.6	—	6.8	2.0	0.6	0.3	—	—
	不明	0.1	—	—	0.1	0.1	0.3	—	—

休 憩

女子労働者の45%は休憩は昼休みの1回のみ、37%が昼休みの他午前、午後にもある3回の休憩、18%が2回の休憩である。

休憩回数は、事業所の規模、フルタイム・パートタイムの別ではそれほど相違はなく、所定労働時間の長短によってある程度の差がみられる。所定労働時間が8時間の場合は休憩回数1回がもっとも多く63%を占め、逆に所定労働時間が6時間台の者では休憩3回が61%を占めるなど注目すべき傾向がみられる。

休憩時間は所定労働時間が6時間台の事業所で長く、45分というのは9%にとどまり、65分以上休憩時間がある者が5割以上もある。これに対し、所定労働時間8時間の事業所では休憩が45分の者が33%と非常に多く、65分以上の者は2%程度である。(表45)

残 業

女子労働者のうち44%が残業をしている(46年6月中に)。「パートタイマー」では残業をした者の割合は他に比べて低く、残業したことのある者は21%である。配偶関係でみると夫ありの場合に残業した者がもっとも少なく、4割である。

残業をした者の残業時間(6月中合計)をみると、10～19時間が37%と最も多くついで20～29時間が23%となっており、多くが1日に1～2時間程度の残業とみられる。一方30時間以上残業した者が8%近くある。(表46)

表46 残業の状況別女子労働者の構成

%

		計	残業の有無			残業した者の6月中の残業時間合計別					
			した	しない	不明	5時間未満	5～10	10～20	20～30	30時間以上	不明
身 分	計	100.0	43.8	55.7	0.5	15.0	15.4	36.7	22.8	7.7	2.4
	本採用	100.0	47.2	52.3	0.5	14.9	16.5	36.6	21.8	7.6	2.6
	パート	100.0	56.8	42.8	0.4	17.2	24.6	33.8	14.9	6.0	3.5
	規模別										
	500～999人	100.0	49.4	50.4	0.2	14.1	12.0	38.8	24.8	9.5	0.8
	300～499人	100.0	53.1	46.8	0.1	16.9	12.2	31.7	20.2	14.5	4.5
	100～299人	100.0	42.7	56.7	0.6	13.6	15.8	38.6	24.3	5.7	2.0
分	その他	100.0	44.3	55.1	0.6	13.7	12.3	38.7	25.6	8.5	1.2
	パート	100.0	21.1	77.7	1.2	21.7	10.1	30.4	27.0	5.4	5.4
配 偶 関 係	未婚	100.0	48.4	51.4	0.2	17.6	19.0	35.4	17.0	7.2	3.8
	夫あり	100.0	39.8	59.5	0.7	14.9	14.6	37.4	24.2	7.3	1.6
	離死別	100.0	55.1	44.2	0.7	10.0	10.8	36.5	29.6	10.2	2.9

年次有給休暇日数

年次有給休暇（４６年中）が与えられていない者は１４％で、この６割は本採用以外の者で占められている。とくに「パートタイマー」の場合は年次有給休暇なしが５７％と極端に多い。「パートタイマー」の場合は勤続年数にかかわらず有給休暇を与えない事業所があるので、年次有給休暇のない者の中には１年以上勤続している者が半数以上ふくまれている。

全体でみると年次有給休暇日数６～８日という者が２７％を占め最も多いが、１人平均日数（年休なしの者はのぞく）は１１．３日で、「本採用」で１１．９日、「その他」９．６日、「パートタイマー」７．８日となっている。（表４７）

表４７ 年休日数別女子労働者の構成

％

年休日数		計	な し	１．２日	３．４．５日	６．７．８日	９～１１日
身分	勤続年数						
身 分	計	１００.０	１４.８	０.６	２.４	２６.５	１９.５
	本 採 用	１００.０	７.２	０.７	２.０	２４.４	２１.８
	そ の 他	１００.０	１８.３	０.６	３.８	３４.９	１７.１
	パートタイマー	１００.０	５６.７	０.２	２.７	２５.３	９.０
勤続年数	１ 年 未 満	１００.０	６２.９	２.１	７.８	１２.８	８.３
	１ ～ ２ 年	１００.０	１７.６	１.４	４.８	５２.１	１１.４
	３ ～ ４ 年	１００.０	９.９	０.２	０.７	３８.３	３１.６
	５ ～ ９ 年	１００.０	５.９	０.１	０.４	６.７	３１.５
	１０ ～ １４ 年	１００.０	２.０	—	０.７	２.５	２.１
	１５ 年 以 上	１００.０	２.１	—	—	２.４	０.７
	不 明	１００.０	１２.１	—	９.１	２４.３	６.１

年休日数		１２～１４日	１５～１９日	２０日以上	不 明	１人当り 平均日数
身分	勤続年数					
身 分	計	１４.７	１０.８	７.６	３.１	１１.３日
	本 採 用	１８.０	１３.０	９.８	３.１	１１.９
	そ の 他	９.９	８.７	３.９	２.８	９.６
	パートタイマー	１.４	０.７	０.７	３.３	７.８
勤続年数	１ 年 未 満	０.５	０.３	—	５.３	６.４
	１ ～ ２ 年	５.３	２.８	１.４	３.２	７.９
	３ ～ ４ 年	１１.２	３.８	１.８	２.５	９.４
	５ ～ ９ 年	３６.７	１１.６	４.６	２.５	１２.３
	１０ ～ １４ 年	１１.７	５９.７	１８.４	２.９	１７.１
	１５ 年 以 上	１.７	６.９	８２.８	３.４	２２.２
	不 明	２４.２	１２.１	３.０	９.１	１０.８

6 女子労働者の賃金

手取給与額

46年7月の毎月勤労統計調査によると30人以上事業所における女子生産労働者の平均賃金（きまって支給する給与）は、鉄鋼業41,248円、非鉄金属製造業38,542円、金属製品製造業34,975円、一般機械器具製造業39,750円、輸送用機械器具製造業38,356円である。これらは、食料品製造業の32,795円、繊維工業の34,202円等にくらべると若干高いが、電気機械器具製造業は36,215円、精密機械器具製造業は37,084円となっており、女子の賃金は全般に業種による差はそれほど大きくない。

今回は6月分手取り給与額（税金、社会保険料は控除されたものであるが、天引貯金、生命保険料等は含める）を調査したが、それによると、全体の45%が3万円台、24%が2万円台、18%が4万円台で、5万円以上の者はわずかに6%程度である。

身分による手取給与額の差はかなりあり、4万円以上の者は、「本採用」では3割を占めるのに対して、「その他」では1割強にすぎない。逆に、「その他」では3万円に満たない者が「本採用」にくらべかなり多く4割をこえている。「パートタイマー」では7割以上が3万円未満で、中でも2万円未満の者が26%を占めている。（表48）

表48 手取給与額別女子労働者の構成

%

		計	2万円未満	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6万円台	7万円以上	不明
計		100.0	6.5	24.2	45.0	17.9	4.4	1.1	0.5	0.4
身分	本採用	100.0	3.2	18.2	48.0	22.3	5.8	1.4	0.7	0.4
	1,000人以上	100.0	1.6	14.4	43.5	27.4	9.0	2.8	0.7	0.6
	規模 500~999人	100.0	2.0	11.6	47.3	30.0	6.3	1.2	1.2	0.4
	300~499人	100.0	1.9	15.3	41.1	31.2	6.9	2.2	0.9	0.5
	100~299人	100.0	4.1	21.1	51.1	17.2	4.6	0.9	0.6	0.4
	その他	100.0	7.4	33.0	46.9	10.2	1.5	0.3	0.2	0.5
仕事の内容	パートタイマー	100.0	25.9	46.9	22.6	3.4	0.6	0.1	0.1	0.4
	男子と変らない	100.0	5.6	22.3	45.4	19.9	4.8	1.2	0.5	0.3
	男子より楽	100.0	7.2	28.1	44.3	14.9	3.5	0.7	0.6	0.7

勤続年数が長くなるにつれて手取給与額が高くなるという分布の傾向は若干みられるものの、その格差はごくわずかである。勤続10年以上になると5万円以上の者がかなり多くなる。しかし、勤続10~14年でも3万円台の集中度が39%と最も高く、勤続15年以上でも4万円に満たない者が24%もある状況である。（表49）

表49 勤続年数別，手取り給与額別，本採用女子労働者の構成
(10日以上の特務者を除く)

%

手取り 給与 勤続年数	計	2万円 未満	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6万円台	7万円台	不明
計	1000.0 100.0	2.5	18.4	48.6	22.3	5.9	1.4	0.7	0.2
1年 未満	1000.0 7.5	7.3	34.6	48.3	8.3	0.6	—	—	0.9
1～2年	1000.0 24.8	3.4	25.6	51.5	17.1	1.8	0.4	—	0.2
3～4年	1000.0 23.4	1.6	20.1	53.6	21.2	2.5	0.7	0.2	0.1
5～9年	1000.0 27.1	2.0	13.7	51.4	26.4	5.2	0.5	0.4	0.4
10～14年	1000.0 11.2	1.0	6.9	39.2	34.1	15.3	2.9	0.6	—
15年以上	1000.0 5.6	1.6	3.3	19.5	26.4	28.9	11.8	8.5	—
不 明	1000.0 0.5	—	14.3	57.1	14.3	9.5	—	—	4.8

職種によっても手取給与額にそれほど差はみられない。たとえば，資格を持った者の多い溶接工でも3万円台に46%が集中し，4万円台25%，2万円台18%であり，溶接工にくらべそれほど技能が必要でないと思われる製造作業でも3万円台45%，4万円台18%，2万円台25%で両者に大きなちがいはない。(表50)

また，男子と変わらない仕事をしている者と男子より楽な仕事をしている者の間にも手取り給与額に大きなちがいはない。(表48)

表50 職種別，手取給与額別女子労働者の構成

%

	計	2万円 未満	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6万円台	7万円台	不明
計	100.0	6.5	24.2	45.0	17.9	4.4	1.1	0.5	0.4
金庫・小計	100.0	6.6	21.4	45.7	20.1	4.8	0.6	0.4	0.4
旋盤等	100.0	7.7	25.2	44.5	18.1	3.5	—	0.8	0.2
プレス機	100.0	8.2	18.6	46.8	21.1	3.8	0.9	0.3	0.3
溶接機等	100.0	3.1	18.1	46.3	25.3	5.6	0.7	0.2	0.7
クレーン・フォークリフトの運転	100.0	7.1	14.3	42.9	28.6	7.1	—	—	—
その他	100.0	7.0	21.7	46.5	16.0	6.8	1.4	—	0.6
自動機械に製品材料を出し入れる仕事	100.0	10.7	24.1	43.3	17.7	3.7	—	—	0.5
検査・組立・仕上げ	100.0	5.9	24.5	45.4	17.6	4.2	1.3	0.7	0.4
流れ作業	100.0	5.4	23.2	46.5	18.8	4.1	0.9	0.7	0.4
流れ作業でない	100.0	6.5	25.4	44.5	16.5	4.4	1.7	0.6	0.4
不 明	100.0	2.6	28.1	43.8	19.3	4.4	—	0.9	0.9
そ の 他	100.0	8.2	29.8	40.8	13.6	5.1	1.3	0.5	0.7

賃金支払い形態

賃金の支払い形態は日給制が圧倒的に多く73%を占め、月給制は13%、時間給も同じく13%である。「パートタイマー」はほとんど時間給制である。

「本採用」でも78%が日給制で、月給制は18%と少ないが、「その他」では月給制はほとんどなく91%が日給制、7%が時間給制である。

月給制は500人以上の大規模事業所の本採用に多く、1,000人以上では48%、500人～999人では25%が月給制であるのに対して、500人未満の事業所では月給制の労働者は1割にすぎない。(表51)

表51 給与支払形態別女子労働者の構成

		%					
		計	月 給	日 給	時 間 給	そ の 他	不 明
計		100.0	13.2	73.2	12.6	0.5	0.5
身分	本 採 用	100.0	18.2	77.6	3.1	0.6	0.5
	1,000人以上	100.0	47.7	51.3	0.9	—	0.1
	規 500～999人	100.0	24.7	73.7	0.4	—	1.2
	模 300～499人	100.0	9.9	81.0	5.0	3.0	1.1
	100～299人	100.0	10.8	84.8	3.8	0.3	0.3
	そ の 他	100.0	1.9	90.5	6.7	—	0.9
	パートタイマー	100.0	1.0	16.4	81.9	0.7	—

7 女子労働者の休業状況

休業日数と休業理由

6月中の休業状況をみると、35%が全然休んでいない者、65%が休んだ者で、休んだ者の割合は夫ありの者に高く、未婚者と離死別者は同程度である。

休んだ理由は未婚者では生理、自分の病気、休養レジャーのように自分のためのものが多く、既婚者は家事とこどものために多く休んでいる。

しかし、未婚者でも31%とかなり多くが家事のため休んでいる。

「休養、レジャー」をとった者は休んだ者のうち未婚者で15%、既婚者では3～5%と非常に少ない。

休んだ理由別に1人平均休養日数をみると生理が1.3日、自分の病気が3.8日、休養レジャーが2.1日、家事のために2.6日、こどものことが2.1日となっている。理由のうち「その他」には農作業が多く含まれているので1人平均休養日数5.7日と長くなっている。

休業理由が生活上必要にせまられているものが多いだけに、年次有給休暇のない者でもほとんど同様に休んでいる。むしろ年次有給休暇のない者には夫のあるパートタイマーなどが多いことなどから

年次有給休暇のある者より多く休んでいる状況がみられる。(表52)

表52 休業状況別女子労働者の構成および1人平均休業日数
(6月中の休業)

		計	休　　ん　　だ (MA)				
			小　計	生　理　で	病　気　で	休養レジャー	家事のため
計		100.0	65.3	23.9	21.4	5.9	46.3
年給 次休 有暇	有給休暇あり	100.0	64.9	27.1	22.0	6.4	45.1
	なし	100.0	70.3	8.2	18.8	3.3	52.6
	不　　明	100.0	52.0	21.4	17.5	2.9	48.5
配偶 関係	未婚	100.0	59.0	39.7	34.4	14.6	31.2
	夫　　あ　　り	100.0	68.9	19.5	17.0	2.8	50.2
	離　　死　　別	100.0	59.9	15.5	19.3	4.8	57.3
1人平均休業日数			2.6日	1.3日	3.8日	2.1日	2.6日

			こどものこと	そ の 他	不 明	休 ま い	不 明
						な い	
計			22.2	7.7	0.4	34.5	0.2
年給 次休 有暇	有給休暇あり		20.1	7.6	0.4	35.0	0.1
	なし		33.6	8.3	0.3	29.5	0.2
	不明		17.5	5.8	2.9	44.5	3.5
配偶 関係	未婚		0.5	7.2	0.6	40.9	0.1
	夫あり		30.7	8.0	0.4	30.9	0.2
	離婚死別		18.6	7.2	0.2	39.5	0.6
1人平均休業日数			2.1日	5.7日			

休んだ者のうち、有給で休んだか無給で休んだかをはっきり回答したのは全体で64%であったがこの割合は「本採用」では72%と高く「その他」が61%であるが、「パートタイマー」では23%と低くなっている。

休業日数のうち有給で休んだ日数の判明している者に限ってみると、本採用では休業日数の90%「その他」では79%、「パートタイマー」は76%が有給休暇により休んでいる。しかし、この率を全員(不明の者も含めた)についてみる事ができれば、もっと低率になると予想される。

有給で休んだ割合は当然のことであるが、年次有給休暇日数の多い者ほど高くなっている。(表53)

生理時の休業状況

42%の者が生理時に苦痛がないので就業している。これら「つらくない」と答えた者の割合は「男より楽な仕事をしている者」の方が「男と変わらない仕事をしている者」よりも多く、年令的には40歳代の者、19歳以下の者に比較的多い。

表53 有給・無給別休業状況別女子労働者の構成

%

		休んだ者の 計	有給で休んだ日数の判明してい る者	有給で休んだ日数の判明してい		有給で休ん だ日数が 不明の者	休んだ日数 が不明の者
				1人当り 休んだ日数	休んだ日数の うち有給休暇 の占める比率		
身分	計	100.0	63.6	2.6日	87.3%	35.1	1.3
	本 探 用	100.0	72.1	2.5	90.2	26.8	1.1
	そ の 他	100.0	60.8	2.7	78.5	38.4	0.8
	パートタイマー	100.0	23.3	3.2	75.9	74.3	2.4
年次有給休暇	な し	100.0	2.0	3.2	71.4	97.7	0.3
	1 ～ 5 日	100.0	51.7	2.5	71.1	47.5	0.8
	6 ～ 8 日	100.0	66.7	2.7	78.6	31.5	1.8
	9 ～ 14 日	100.0	78.2	2.5	85.2	20.7	1.1
	15 日以上	100.0	88.8	2.6	97.5	9.8	1.4

50%の者が生理時に苦痛を感じているが、このうち生理休暇をとる者は42%であり、年次有給休暇か有給の病欠休暇をとる者は10%、欠勤する者は10%で、6割までは休んでいるが、残る4割は休みたいが休めない状態で就業している。

「休みたいが休めない」者は生理休暇が無給の者、男と変わらない仕事をしている者、30歳以上の者の場合により多くなっている。これら「休みたいが休めない」と答えた者のうち45%は職場に休養室があるが、生理時に休養室を利用する者は3%にも満たない少数である。

全体をみると、生理時にはほとんど毎回休む者が14%、時々休む者が16%で、休みたいが休めない者が19%、つらくないので休まないが42%、回答なし（既に生理のない者が多い）が9%である。（表54）

表5.4 生理時の休業状況別女子労働者の構成

(1)

%

		計	つらい	生理休暇 をとる	年次有給 休暇が有 給病欠休 暇をとる	欠勤する	休みたい が休めない	つらく ない	不明
年	計	100.0	100.0	42.1	10.0	9.6	38.3		
	～ 19 歳	100.0	49.9	51.8	9.0	9.3	29.9	41.6	8.5
	20 ～ 29	100.0	53.5	48.9	12.4	10.5	28.2	45.5	1.0
	30 ～ 39	100.0	61.6	38.6	6.2	10.2	45.0	37.8	0.6
	40 ～ 49	100.0	57.5	36.2	11.3	8.1	44.4	40.8	1.7
	50 歳以上	100.0	45.8	35.1	13.8	11.7	39.4	48.6	注) 5.6
令	男子と変わらない	100.0	100.0	41.3	9.2	9.2	40.3		
	男子より楽	100.0	54.4	44.7	13.4	10.9	31.0	38.6	7.0
生休 理暇	有 給	100.0	100.0	59.2	8.8	8.0	23.9		
	無 給	100.0	61.9	27.6	11.0	11.0	50.4	32.9	5.2
		100.0	42.8				46.8	10.4	

注) 王に生理がないために無回答となっているものである。

(2)

%

		計	休む				休みたい が休めない	つらく ない	無記入
				毎回	時々	不明			
年	計	100.0	100.0	45.5	53.4	1.1			
	～ 19 歳	100.0	30.8	14.0	16.4	0.3	19.1	41.6	8.5
	20 ～ 29	100.0	37.5	17.2	20.1	0.2	16.0	45.5	1.0
	30 ～ 39	100.0	47.1	52.3	0.6				
	40 ～ 49	100.0	44.2	20.9	23.1	0.3	17.4	37.8	0.6
	50 歳以上	100.0	47.9	50.5	1.6				
令	男子と変わらない	100.0	31.6	15.2	16.0	0.5	25.9	40.8	1.7
	男子より楽	100.0	42.0	56.8	1.2				
	男子と変わらない	100.0	25.5	10.7	14.4	0.3	20.3	48.6	5.6
	男子より楽	100.0	27.0	11.3	39.2	0.4	12.1	50.5	10.4
	有 給	100.0	100.0	55.0	44.2	0.8			
	無 給	100.0	47.1	25.9	33.6	0.4	14.8	32.9	5.2
		100.0	100.0	33.3	65.3	1.4			
生休 理暇	有 給	100.0	21.2	7.1	32.4	0.3	21.6	46.8	10.4
	無 給	100.0	21.2	7.1	32.4	0.3	21.6	46.8	10.4

表55 職種別けがの心配別労働災害経験の有無別女子労働者の構成

%

			計	仕事によるけが、病気の経験がある							ない	不明
				小計	1回	2回以上	けがをした当時の職種が					
							不明	今と同じ	今とちがう	不明		
計			100.0	20.3 100.0	14.0 100.0	5.4 100.0	0.8 100.0	13.3 100.0	4.4 100.0	2.6 100.0	78.7 100.0	1.0
現在けがの	心配はない		100.0	12.6 34.1	9.5 37.3	2.6 26.1	0.5	7.2 29.7	3.8 48.0	1.6	60.3	1.1
	心配がある	小計	100.0	29.8 65.4	19.6 42.3	8.9 73.6	1.3	20.9 70.0	5.1 51.3	3.3	39.3	0.9
		仕事	100.0	32.4 30.7	22.0 30.1	9.2 32.9	1.2	23.9 34.4	5.4 23.6	3.1	16.4	0.6
		周囲	100.0	27.3 28.8	16.9 25.8	9.0 35.9	1.4	18.9 30.3	4.6 22.5	3.8	19.6	0.8
		その他	100.0	31.7 5.9	22.8 6.2	7.2 8.0	1.7	21.5 6.1	5.1 4.4	5.1	3.2	2.1
		不明	100.0	26.3 1.2	17.5 1.1	5.3 0.9	3.5	8.8 0.6	7.0 1.5	10.5	0.8	8.8
	不明		100.0	23.1 0.5	11.5 0.3	3.9 0.3	7.7	7.7 0.2	7.7 0.7	7.7	0.4	7.7
	職	金属加工機械等の運転	小計	100.0	26.8	18.4	6.6	0.8	18.1	5.2	2.6	73.3
旋盤等			100.0	29.4	19.9	8.7	0.8	20.2	6.6	2.6	69.2	1.4
プレス機			100.0	27.7	21.7	5.7	0.3	21.7	4.4	1.6	72.3	—
溶接機			100.0	23.3	19.0	5.3	1.0	17.1	5.5	2.7	74.2	0.5
クレーン等			100.0	7.1	7.1	—	—	7.1	—	—	92.9	—
その他			100.0	23.1	18.6	5.9	0.6	16.1	4.2	2.6	75.5	1.4
自動機械で製品材料を出し入れる			100.0	18.7	10.7	6.4	1.6	12.3	2.7	2.7	80.8	0.5
製造・組立・包装・仕上等		小計	100.0	17.9	12.1	4.8	1.0	11.2	4.0	2.7	81.0	1.1
		流れ作業	100.0	18.9	12.2	5.6	1.1	11.2	4.4	3.3	80.1	1.0
		流れ作業でない	100.0	17.5	12.3	4.5	0.7	11.0	4.0	2.5	81.2	1.4
		不明	100.0	10.6	7.0	1.8	1.8	8.8	0.9	0.9	85.9	3.5
		その他	100.0	17.4	11.5	4.4	1.5	12.2	3.6	1.6	82.3	0.3
不明		100.0	40.0	40.0	—	—	20.0	20.0	—	60.0	—	

表56 職種別仕事の内容別、作業姿勢別、疲労の状況別女子労働者の構成

%

			計	ほとんど 疲れを 感じない	全身的 に 疲 れ る	特 定 部 位 が 疲 れ る (M . A)						不 明	
						小 計	眼	手、腕	肩、首、じ	背 腰	足		その他
計			100.0	8.8	35.1	55.1	24.1	21.0	31.2	11.4	41.1	3.7	1.0
職 種	金属を加工する機械を操作	小 計	100.0	6.3	40.6	52.2	24.6	20.4	29.6	11.3	45.3	2.9	0.7
		旋盤、ガム盤、フライス盤等	100.0	6.9	37.1	55.0	19.5	20.7	32.4	8.2	48.7	2.6	1.0
		プレス機	100.0	6.3	41.5	50.6	29.2	22.4	35.4	14.9	32.9	4.3	1.6
		溶 接 機 溶 断 機 等	100.0	5.5	47.2	46.8	37.1	18.0	24.7	10.3	45.4	3.1	0.5
		クレーン、フォークリフト等	100.0	7.2	21.4	71.4	10.0	10.0	20.0	60.0	20.0	—	—
		そ の 他	100.0	6.2	39.7	54.1	18.8	21.4	25.0	12.5	52.4	2.1	—
		自動機械に製品材料を出し入れする仕事	100.0	11.7	41.2	46.0	8.8	20.9	25.6	18.6	44.2	3.5	1.1
	検査・組立・包装・仕上等	小 計	100.0	9.1	32.3	57.7	25.5	21.2	32.6	11.1	37.7	3.9	0.9
		流れ作業	100.0	7.7	32.8	56.7	21.6	22.2	32.9	10.2	41.0	2.6	0.8
		流れ作業でない	100.0	10.3	31.7	56.9	29.3	20.1	32.6	12.0	34.3	5.0	1.1
		不 明	100.0	7.9	35.1	56.1	15.6	25.0	29.7	7.6	46.9	4.7	0.9
そ の 他		100.0	12.8	34.6	51.1	17.9	20.5	27.6	11.2	50.6	4.8	1.5	
不 明		100.0	20.0	60.0	20.0	—	100.0	—	100.0	—	—	—	
仕 事 の 内 容	男と変わらない仕事		100.0	5.7	40.0	53.7	23.8	22.2	30.2	11.6	42.6	3.1	0.6
	男より楽な仕事		100.0	15.6	24.6	58.6	23.7	18.5	30.6	10.7	40.0	5.2	1.2
	不 明		100.0	10.9	31.2	55.1	26.8	20.1	39.2	11.5	34.8	3.5	2.8
作 業 姿 勢	立 作 業		100.0	6.3	39.4	53.7	15.2	20.7	21.4	9.9	61.1	3.6	0.6
	腰 掛 作 業		100.0	12.4	27.4	58.9	35.9	21.7	43.4	13.3	18.9	3.6	1.3
	そ の 他		100.0	9.2	42.3	47.3	25.8	18.6	35.2	11.4	41.5	4.7	1.2
	不 明		100.0	5.0	27.5	62.5	32.0	20.0	52.0	12.0	40.0	4.0	5.0

8 女子労働者の疲労，疾病，傷害

労働災害

現在の勤め先でこれまでに仕事によるけがや病気をしたことがある者は20%で、このうち約4分の3は1回だけ経験している。同じく4分の3は現在もけがをした当時と同じ仕事をしている。

そこで、現在の職種別にみると、旋盤プレス、溶接の仕事ではけがをしたことがある者の割合は3割近くになり高い。これに対して製造作業では20%を下回る低率となっている。

仕事の内容の項ですでに述べたが、45%の者が仕事をしていて「けがの心配がある」と答えているが、この割合を実際のけがの経験の有無とクロスしてみると、けがの経験のある者では65%が「けがの心配がある」と答えており、けがをしたことのない者の39%にくらべかなり高くなっている。

この割合は2回以上けがの経験をした者では74%とさらに高くなっている。しかし、けがをした後仕事が変わった者では51%と低くなり、これらの者がいくらか危険度の少ない仕事に変っている状況が示されている。(表55)

けがの内容を事例的にみると、報告された1,123例のけがが、病気のうちの約3割は、休業日数ゼロの軽症のものである。休業を要したけがが、病気のうち半数強が10日以下の休業であるが、30～40日の休業を要した例もかなりある。

けが、病気の経験ありと答えた者を身分別にみると「本採用」が780人、「その他」が196人、「パートタイマー」が86人であった。

事例の大部分がけがで、最も多いのが指、手、のけが、これに足、眼のけががつづいて多い。けがの内容別に事例数をあげると次のとおりである。

指の切断	30例
その他の指のけが	234例
手、腕のけが	149例
足のけが	175例
目のけが	100例
その他のけが	219例
病 気	127例
けがの部位、病名無記入	89例

疲 労

男子と同様の仕事をしている女子が多い業種であるため、特に女子の疲労の状況を調査したが、1日の仕事を終ったあと「ほとんど疲れを感じない」という者は9%で、9割以上が疲労を訴えている。疲労を訴えた者の割合は職種による差はあまりないが、「男と変わらない仕事」をしている者、立作業の者に比較的多くなっている。

表57 勤続意志別女子労働者数の構成

			%			
			計	つづけたい	変わりたい	そ の 他
計			100.0	73.7	16.4	8.6
身 分	本 採 用		100.0	71.0	18.7	9.0
	そ の 他		100.0	80.9	11.5	6.1
	パ ー ト タ イ ム		100.0	79.3	10.2	10.1
			100.0	79.3	10.2	10.1
配 偶 関 係	未 婚		100.0	51.8	31.6	15.3
	夫 あ り		100.0	81.0	11.3	6.5
	離 死 別		100.0	85.7	8.3	4.3
			100.0	85.7	8.3	4.3
仕 内 事 の 容	男 と 変 ら な い		100.0	69.5	19.5	9.8
	男 よ り 楽		100.0	82.7	10.1	6.4
心 配 の 配	心 配 な い		100.0	79.2	11.6	8.2
	心 配 あ る		100.0	67.1	22.2	9.1
給 与	2 万 円 未 満		100.0	79.2	10.4	9.2
	2 万 円 台		100.0	75.1	15.3	8.5
	3 万 円 台		100.0	72.2	18.4	8.2
	4 万 円 台		100.0	71.6	16.8	10.3
	5 万 円 台		100.0	81.6	10.1	7.2
	6 万 円 台		100.0	76.1	19.4	1.5
	7 万 円 以 上		100.0	76.4	11.8	5.9
職 種	金 属 加 工 機 械 の 操 作 ク リ フ ト 運 転	小 計	100.0	73.9	17.8	7.7
		旋盤、ボール盤	100.0	73.8	20.2	5.0
		プレス機	100.0	67.3	19.8	12.9
		溶接機、溶断機等	100.0	83.1	11.6	5.3
		クレーン、フォークリフト等	100.0	42.9	50.0	—
		そ の 他	100.0	70.1	17.8	11.0
		自動機械に製品材料を出し入れする仕事	100.0	74.9	16.6	7.5
	製 上 検 査 組 立 ・ 包 装 ・ 仕 等	小 計	100.0	71.6	17.0	9.9
		流れ作業	100.0	67.9	20.2	10.1
		流れ作業でない	100.0	74.1	14.7	9.9
		不 明	100.0	82.5	10.5	5.3
そ の 他			100.0	86.6	8.0	3.8

疲れ方としては、「全身的に疲れる」という者が35%とかなり多く、これは溶接では47%と目立って多くなっている。

身体の一部がとくに疲れると答えた者は全体で55%であるが、部位では足、肩、首すじ、眼の順に多くなっている。疲労の部位は職種によって相違があり、旋盤等では足が非常に多く、ついで肩、首すじ、プレスでは肩、首すじが最も多く、ついで足、眼となっているが、眼が疲れる者は旋盤にくらべかなり多い。溶接では足、眼の順であるが、眼の疲労を訴えた者の割合は全職種の中で最も高い。クレーン等の運転では背腰に訴えが集中し特色を示している。

立作業では足の訴えが圧倒的に多いが、腰掛作業では肩、首すじと眼に疲労の訴えが多い。(表56)

9 女子労働者の勤続意志

全体でみると今の仕事をつづけたい者が74%をしめ、勤続意志はかなり強いとみられる。これには金属、機械製造業に既婚の女子労働者が多いことが大きく影響していると思われる。一般に未婚で年齢の若い者は勤続意志は低いからである。今回の調査でも配偶関係別にみると、未婚者では「つづけたい」者は52%と少なく、夫ありの者では81%、離死別者では86%と既婚者では非常に多くなっている。

「つづけたい」者の割合を他の属性とクロスしてみると、身分別には「本採用」は71%、「その他」が81%、「パートタイマー」が79%となり、本採用の方が勤続意志が弱く、臨時的な労働者の方が勤続意志が強く出ている。これも、未婚の若年女子のほとんどが本採用であることに起因するものと思われる。

仕事の内容でみると、男より楽な仕事をしている者、けがの心配のない者の方に「つづけたい」者の割合が高い。職種別では溶接工にこの割合が高い。

手取り給与額と勤続意志も直接関係はみとめられない。2万円台、2万円未満という低い階級(この中にはパートタイマーが多く含まれている)で3～4万円台よりも勤続意志がやや強くなっている。5万円以上になると再び勤続意志が高くなって来るが、これらの階級には勤続年数の短い未婚者が少ないことが考えられるので、単に給与額による差とみることはできない。やはり未、既婚別のちがいの影響が強いとみるべきであろう。(表57)

付表1 産業別、規模別、調査対象事業所数

	計	1,000人以上	500~999人	300~499人	100~299人
計	(100.0)497	(10.3) 51	(11.7) 58	(14.7) 73	(63.4)315
鉄 鋼	(12.5) 62	8	8	8	38
非鉄金属	(6.4) 32	3	6	5	18
金属製品	(23.3)116	3	8	19	86
一般機械	(35.6)177	19	23	27	108
輸送用機械	(22.1)110	18	13	14	65

()内は構成比

付表2 産業別、規模別、身分別、調査対象事業所に働く労働者数

		計		本 採 用		そ の 他		女子総数 のうちパー トタイマー
		男	女	男	女	男	女	
産業計	計	158,706	26,178	151,942	19,094	6,764	7,084	3,058
	1,000人以上	80,114	9,008	77,810	7,437	2,304	1,571	781
	500~999人	27,107	4,497	25,740	2,424	1,367	2,073	1,003
	300~499人	19,595	3,275	18,408	2,188	1,187	1,087	194
	100~299人	31,890	9,398	29,984	7,045	1,906	2,353	1,080
鉄鋼業	計	37,765	1,687	36,837	1,363	928	324	88
	1,000人以上	25,929	537	25,814	522	115	15	0
	500~999人	4,546	167	4,323	136	223	31	11
	300~499人	2,605	188	2,428	93	177	95	9
	100~299人	4,685	795	4,272	612	413	183	68
非鉄金属	計	9,012	1,604	8,674	1,120	338	484	132
	1,000人以上	2,286	334	2,201	198	85	136	9
	500~999人	3,782	362	3,701	221	81	141	29
	300~499人	1,230	138	1,175	118	55	20	1
	100~299人	1,714	770	1,597	583	117	187	93
金属製品	計	18,805	6,209	17,925	4,477	880	1,732	663
	1,000人以上	2,870	1,248	2,863	1,248	7	0	41
	500~999人	3,580	873	3,406	361	174	512	269
	300~499人	4,485	1,023	4,187	613	298	410	64
	100~299人	7,870	3,065	7,469	2,255	401	810	289
一般機械	計	48,036	9,260	45,732	7,050	2,304	2,210	1,013
	1,000人以上	20,453	4,010	19,497	3,212	956	798	497
	500~999人	9,594	1,421	9,174	1,002	420	419	100
	300~499人	7,245	988	6,887	713	358	275	73
	100~299人	10,744	2,841	10,174	2,123	570	718	343
輸送用機械	計	45,088	7,418	42,774	5,084	2,314	2,334	1,162
	1,000人以上	28,576	2,879	27,435	2,257	1,141	622	234
	500~999人	5,605	1,674	5,136	704	469	970	594
	300~499人	4,030	938	3,731	651	299	287	47
	100~299人	6,877	1,927	6,472	1,472	405	455	287

付表3 産業別、規模別、身分別個人調査の
集計対象となつた女子労働者数

		計	本採用	その他	パートタイマー
産業計	計	(1000)6259	(701)4388	(187)1171	(112)700
	1,000人以上	(152)953	708	119	126
	500～999人	(138)863	490	266	107
	300～499人	(155)970	635	267	68
	100～299人	(555)3473	2555	519	399
鉄鋼業、 非鉄金属	計	(16.7)1,046	785	204	57
	1,000人以上	162	143	19	—
	500～999人	155	93	45	17
	300～499人	118	72	40	6
	100～299人	611	477	100	34
金属製品	計	(24.3)1,522	1,060	300	162
	1,000人以上	74	59	—	15
	500～999人	126	57	48	21
	300～499人	282	163	96	23
	100～299人	1,040	781	156	103
一般機械	計	(34.7)2,175	1,461	437	269
	1,000人以上	371	255	51	65
	500～999人	326	196	114	16
	300～499人	338	242	76	20
	100～299人	1,140	776	196	168
輸送機械	計	(24.2)1,516	1,074	230	212
	1,000人以上	346	251	49	46
	500～999人	256	144	59	53
	300～499人	232	158	55	19
	100～299人	682	521	67	94

()内は構成比

参考表1 金属機械製造業における雇用者数

	男 女 計	うち女子	女子の占める割合
計	3867500人	622100人	16.1%
鉄鋼, 非鉄金属	780200	90000	11.5
金 属 製 品	1061600	214300	20.2
一 般 機 械	1097200	183300	16.7
輸 送 用 機 械	928500	134500	14.5

45年国勢調査

参考表2 製造業産業中分類別常用女子労働者数, 労働時間, 平均賃金

46年7月, 毎月勤労統計調査

	常用女子 生産労働 者 数	出勤日数 (日)	実労働時間数		きまって 支給する 給 与 円	事務職との 賃金格差 事務=100	男子生産 労働者(=100)との 賃金格差
			所 定 内 (時間)	所 定 外 (時間)			
製 造 業 計	2,110千人	22.7	172.9	5.1	345.29	78.2	48.9
食 料 品 た ば こ	239	21.9	165.7	5.5	327.95	76.5	48.2
織 維 工 業	413	23.3	181.0	3.8	342.02	83.2	50.7
衣 服 等	183	23.4	182.7	2.4	284.88	65.8	53.5
木 材, 木 製 品	58	22.6	174.8	6.7	313.49	83.3	50.8
家 具, 装 備 品	38	22.5	175.3	5.2	308.89	77.6	55.0
パ ル プ 紙	48	22.5	170.2	4.7	340.33	78.4	46.1
出 版, 印 刷	36	23.0	173.1	7.5	390.49	74.4	50.3
化 学 工 業	80	22.5	164.0	4.0	401.38	85.2	52.5
石油製品, 石炭製品	1	23.7	172.2	3.9	339.03	72.7	40.0
ゴ ム 製 品	51	22.9	169.8	4.9	355.20	77.4	52.6
皮 製 品	14	22.1	170.1	6.0	324.01	73.6	51.1
窯業, 土石製品	88	22.6	172.1	5.8	350.71	82.3	48.9
鉄 鋼 業	16	23.2	172.1	6.8	412.48	88.8	41.6
非 鉄 金 属	16	22.3	164.5	8.2	385.42	85.5	50.9
金 属 製 品	79	22.7	170.7	7.7	349.72	80.7	52.0
一 般 機 械	78	22.6	168.9	5.7	366.59	84.5	53.2
電 気 機 器	419	22.2	169.2	5.6	362.15	83.7	57.4
輸 送 用 機 器	62	22.7	168.0	9.2	383.56	83.7	52.7
精 密 機 器	69	22.8	171.5	4.1	370.84	82.7	60.5
そ の 他	113	22.5	173.0	5.0	327.74	75.9	51.1

技能職種への女子の配置換の事例

以前の職種	配置換後の職種	配置換された 女子労働者数	以前の職種	配置換後の職種	配置換された 女子労働者数
(溶 接)			組 立	ボール盤	2人
雑 役	電気溶接	2人	組 立	金型仕上げ	1
溶接相番	溶接工	1	組 立	治工具機械	1
現 場	溶接工	1	組 立	工作機械	1
組立補助	スポット溶接	1	包 装	機械工	2
現場事務	溶 接	3	清 掃 婦	金属工作機械工	1
雑 工	ガス切断	1	仕 上 げ	旋 盤	2
雑 役	ガス切断	1	仕 上 げ	鋳 造	3
炊 事 婦	溶 接	3	組 立	小旋盤(ベンチレス)	1
溶接下準備工	電気溶接工	2	組 立	旋 盤	1
めつき工	スポット溶接工	1	仕 上 工	金属加工作業	1
塗 装	溶接工	5	中 子	機 械 工	1
溶接見習	溶接工	1	組 立	金属工作機械工	4
倉 庫	溶接工	3	パートの給食婦	機 械 工	2
撰 品 工	溶接工	3	現場事務	旋 盤	1
補 助 職	ガス溶接工	6	製造補助	フライス盤	6
補 助 職	電気溶接工	2	検 査 工	研 磨 工	1
塗 装	溶 接	2	包 装 工	金属加工	5
組 立 工	溶接工	3	荷 造 工	金属加工	6
組 立 工	溶接工	2	バフ磨き工	金属加工	5
検 査	溶 接	3	洗 浄	ボール盤	2
(機械工)			組 立 工	プレス工	2
選 別 工	プレス工	1人と2人の 2 事 例	検 査	プ レ ス	2
組 立 工	機械工	1	ベローズの洗い	ベローズの溶接	3
組 立 工	機械工	5	マークはり	プ レ ス	2
組 立 工	プレス工	4	検 査	プ レ ス	2
組 立 工	歯切盤	2	包 装	プ レ ス	1
倉 庫	機 械	2	スポット作業	プ レ ス	2
倉 庫	プレス工	3	(その他)		
仕上げ工	フライス盤	2	雑 役	フォークリフト運転	1
雑 役	単能盤工	2	ボール盤	ミッションの組立	2
			鋳物処理	トラクター組立	2

付 録 2

本 採 用 以 外 の 者 の 条 件 の 事 例

(採用時の条件に関するもの 記入103例)

女子25歳以上男子40歳以上で採用された者

女子25歳以上男子35歳以上で採用された者

女子30歳以上男子45歳以上で採用された者 (同内容3件)

女子30歳以上男子40歳以上で採用された者 (同内容2件)

女子30歳以上男子35歳以上で採用された者

女子40歳以上男子50歳以上で採用された者

女子40歳以上男子45歳以上で採用された者

女子43歳以上男子48歳以上で採用された者

女子25歳以上男子35歳以上で採用された者

女子は24歳以上で採用されたものは本採用としない

女子は35歳以上で採用されたものは本採用としない (同内容4件)

女子は40歳以上で採用されたものは本採用としない (同内容2件)

女子は23歳以上で採用されたものは本採用としない

女子は30歳以上で採用されたものは本採用としない

女子は31歳以上で採用されたものは永久臨時

男女とも30歳以上で採用されたものは本採用にできない

男女とも35歳以上で採用されたものは本採用にできない

男女とも40歳以上で採用されたものは本採用にできない (同内容5件)

男女とも50歳以上で採用されたものは本採用にできない

女子は23歳まで、未婚が本採用の条件となっている

既婚女子は本採用にできない (同内容7件)

中途採用の中高年婦人は本採用にできない (同内容9件)

中途採用は全員本採用としない (同内容9件)

高年令で採用された者 (同内容2件)

身体障害者

季節採用の者

女子の現場従業員は本採用は採用しない (同内容8件)

45歳以上になると臨時となる。

定年(50歳、55歳、60歳)後再雇用された者 (同内容18件)

定年（女子37歳、男子57歳）後再雇用された者	
定年（女子37歳、男子40歳）後再雇用された者	
定年（女子30歳、男子45歳）後再雇用された者	
定年（女子45歳、男子55歳）すぎの勤務者	（同内容3件）
農繁期に休む者	（同内容9件）
労災事故で死亡した労働者の妻	（同内容2件）

（雇用契約期間に関するもの 記入31例）

雇用契約を6カ月で更新する	（同内容3件）
雇用契約を2カ月で更新する	（同内容5件）
雇用契約を3カ月更新する	（同内容4件）
雇用契約を1カ月更新する	（同内容2件）
雇用契約を最初1カ月、2カ月目から2カ月更新	
雇用契約が1年	（同内容10件）
雇用契約が1～2年	
雇用契約が臨時的	（同内容5件）

（試用期間に関するもの 記入35例）

パートタイマーが10カ月勤続すると定時社員となる	
パートタイマーが一定期間後嘱託に格上げされる（女子の本採用はいない）	
入社後2カ月間は臨時	
入社後3カ月間は臨時	（同内容4件）
入社後4カ月間は臨時	
入社後6カ月間は臨時	（同内容6件）
入社後1～1.5年は臨時	（同内容6件）
入社後女子は1年間、男子は6カ月間は臨時	（同内容1件）
中卒者は入社後2年間は臨時	
中途採用者のみ入社後3カ月間は臨時	（同内容2件）
中途採用者のみ入社後6カ月間（新規学卒は3カ月間）臨時	
中途採用者のみ1.8カ月間準社員（新規学卒は6カ月間見習）	
中途採用者のみ1年間臨時	（同内容2件）
中途採用者のみ6カ月間臨時工	
中途採用者のみ3カ月間臨時	

中途採用の未経験者は1年間臨時

新規学卒採用後6ヵ月間の者

(同内容2件)

試用期間中のもの

(同内容2件)

(賃金、手当等に関すること 記入140例)

本採用以外は日給制(本採用は月給制)

(同内容24件)

本採用以外は日給制(本採用は日給月給制)

(同内容4件)

本採用以外は日給月給制(本採用は月給制)

(同内容12件)

賃金が本採用より低い

(同内容3件)

賃金が本採用の8割程度

(同内容7件)

賃金が本採用の $\frac{1}{3} \sim \frac{1}{2}$ 程度

(同内容3件)

賃金が基本給のみ

賃金が最低賃金におさえられている

初任給が低い

昇給額に差がある

(同内容7件)

昇給率が本採用の8割, 6~7割, 9割, 4~5割

(同内容7件)

定期昇給がない

(同内容5件)

住宅手当, 家族手当がつかない

(同内容6件)

地域手当がつかない

身分手当なし

生産奨励給がつかない(4,100円)

皆勤手当と通勤手当がつかない

(同内容2件)

皆勤手当と通勤手当以外はつかない

賞与は「寸志」程度

(同内容9件)

賞与は本採用の5割, 6~7割, 8割程度

(同内容15件)

賞与は本採用よりやや少ない

(同内容3件)

賞与がない

退職金がない

(同内容23件)

退職金が本採用の50%程度しかでない

退職金が本採用の80%程度しかでない

(その他)

労働組合に加入できない

(同内容8件)

共済組合に加入できない

(同内容 2 件)

待遇は本採用に準じており、ほとんど差がない

(同内容 9 件)

有給休暇がない

(同内容 8 件)

有給休暇が本採用より少ない

(同内容 8 件)

人員整理のときはまず臨時から

付録 3

中途採用者の本採用への昇格制度にみる男女差の事例

(年齢制限に男女差があるもの)

女子は20歳位(男子は25歳位)までなら昇格できる

女子は22歳(男子は30歳)までなら昇格できる

女子は25歳(男子は35歳)までなら昇格できる

(同内容2件)

女子は40歳(男子は45歳)までなら昇格できる

(同内容2件)

女子は25歳(男子は43歳)までなら昇格できる

女子は30歳(男子は40歳)までなら昇格できる

女子は25歳(男子は40歳)までなら昇格できる

(同内容2件)

女子は40歳(男子は50歳)までなら昇格できる

女子は35歳(男子は45歳)までなら昇格できる

女子は30歳(男子は45歳)までなら昇格できる

(同内容3件)

女子は30歳(男子は35歳)までなら昇格できる

女子は28歳(男子は43歳)までなら昇格できる

女子は38歳(男子は40歳)までなら昇格できる

女子は35才(男子は40歳)までなら昇格できる

女子は35歳以上は永久臨時

女子は40歳以上は本採用にしない

40歳以上で入社した女子は社員になれない

年齢差がある

(経過期間などに男女差があるもの)

女子は2カ月経過した場合(男子は短い)

35歳以上の女子には見習期間が1年ある

既婚の女子は1年後に準社員となる(男子は3カ月で準社員)

女子の方が昇格がおそく、40歳以上は本採用になれない

女子の方がきびしい考課がある

(同内容2件)

女子は入社後6カ月で

女子は採用後1年以上経過し、30歳未満の場合なら昇格できる

準社員で採用され、女子は3～5年後、男子は1.5～2年後に本採用

制度的に差はないが、実際上世間並みの男女差がある

男子は翌年3月21日付で本採用となるが、女子は個別に決める

、女子は半年見習い

女子は6ヵ月（男子は3ヵ月）試用期間

女子は1年（男子は6ヵ月）以内に本採用

賃金差がある

6級まである階級のうち女子は3級までしか昇格しない

（女子が本採用へ昇格できない理由）

男子は準社員として採用し6ヵ月後に本採用となるが、女子は日給制従業員として採用されて昇格はしない

昇格できるのは男子の既婚者だけ

女子は高年齢者が多く時間に拘束されたくないため本採用にしない

女子はパートとして採用するから

（同内容8件）

勤務状況が思わしくないので

出勤日数、仕事の内容からみて無理

勤務時間を自由にさせているので

既婚女子は昇格できない

（同内容2件）

臨時は女子のみ

ここ数年間女子は昇格させない（この事業所の女子は50人で、11年以上勤続者もいる）

付録 4

定期昇給制度の男女差の事例

本採用の場合

(差の理由)

仕事内容による差(記入39件)

就労職種・職務が男子と異なる (同内容21件)

女子は軽易業務に従事 (同内容6件)

女子は補助作業に従事 (同内容3件)

女子は単純作業に従事 (同内容2件)

職務考課、査定、勤務状況により差が出る (同内容20件)

能力・技能・資格による差(経験) (同内容20件)

年功・勤続年数・将来への期待度による差 (同内容10件)

女子は低賃金という社会的評価による差(世間相場) (同内容5件)

能力・勤務状況等により3年目から差がでる (同内容3件)

体力による差

女子は労働組合未加入のため労組との交渉分の差がでる

(差の内容)

昇給率に差がある(記入37件)

女子の昇給率は男子の80% (同内容20件)

女子の昇給率は男子の70% (同内容9件)

女子の昇給率は男子の70～80%位 (同内容6件)

女子の昇給率は男子の60% (同内容7件)

女子の昇給率は男子の90% (同内容6件)

女子の昇給率は男子の50% (同内容3件)

昇給率男子5%、女子4%

基本給を計算の基礎にするため差が出る(基本給に差がある) (同内容20件)

職務給表の男子と女子のランクが異なる(女子のランクづけが低い) (同内容4件)

昇給に女子の年令制限を設けている (同内容3件)

職能給と本人給(年令給)を採用しているが女子は25歳で本人給頭うち

女子は30歳迄は本俸の0.5%昇給するがそれ以上はベースアップのみ

女子の基準賃金上限年令は30歳(男子40歳)

男女別々の俸給表を適用

男子には生活給を考慮している

本採用以外の者の場合

1. 男 女 差

(差の理由)

仕事内容による差(記入16件)

就労職種・職務が男子と異なる (同内容 10件)

女子は補助作業に従事 (同内容 3件)

女子は軽易業務に従事 (同内容 2件)

女子は単純作業に従事

職務考課・査定、勤務状況により差がでる (同内容 8件)

能力・技能・資格による差(経験) (同内容 8件)

年功・勤続年数・将来への期待度による差 (同内容 2件)

女子は低賃金という社会的評価による差(世間相場) (同内容 4件)

女子は本採用としない(本採用の50%の昇給率)

(差の内容)

昇給率に差がある(記入16件)

女子の昇給率は男子の80% (同内容 6件)

女子の昇給率は男子の70% (同内容 3件)

女子の昇給率は男子の90% (同内容 3件)

女子の昇給率は男子の70～80% (同内容 2件)

女子の昇給率は男子の60%

昇給率男子14%, 女子15%

基本給を計算の基礎にするため差がでる (同内容 9件)

職務給表の男子と女子のランクが異なる (同内容 4件)

女子は諸手当を一部不支給

男子は本採用に準ずるが女子は世間相場 (同内容 2件)

女子は短期雇用のため昇給なし

2. 本採用との差

(差の理由)

会社への貢献度

嘱託＝高令者である (同内容 2件)

勤続年数・熟練度

本採用は組合との団交によるが、その他は会社が決定

(差の内容)

昇給率に差がある

(同内容 2 7 件)

その他は本採用の 8 0 %

(同内容 1 2 件)

その他は本採用の 6 0 ～ 7 0 %

(同内容 4 件)

その他は本採用の 9 0 %

(同内容 4 件)

その他は本採用の 5 0 %

(同内容 2 件)

その他は本採用の 7 0 %

(同内容 2 件)

その他は本採用の 3 分の 1

昇給率本採用 2 0 % , その他男子 1 4 % , 女子 1 5 %

昇給率本採用 1 8 % , その他は 1 4 ～ 1 5 %

昇給巾が本採用よりこきざみ

(同内容 2 件)

その他は世間相場によりその都度決定

(同内容 3 件)

基本給を計算の基礎にするため差がでる

(同内容 2 件)

本採用は定昇 (1 ～ 3 %) があるがその他はベースアップのみ

本採用は年令給 + 資格給が加味されるがその他は基本給のみ

その他は最賃制を利用している

付録B 中途採用者の採用条件の事例

職種 条件	フォークリフト運転工		鋳物工		雑務		調砂芯取	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
年 令	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない
必要な資格 免 許	有	有	なし	なし	なし	なし	なし	なし
経 験	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
未既婚別	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
雇用形態	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート
初 任 給	日給 1800 円	日給 1400 円	出来高給 円	日給 900 円	日給 1400 円	日給 900 円	30才で 45000 円	30才で 約30000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項							年令給	
事業所の業種 (注)	3 1		3 1		3 1		3 1	
事業所の規模 (注)	4		4		4		4	

注) 産業分類番号、規模番号は13頁の注)を参照のこと。

職種 条件	出 荷 (包装)		検 査 (疵見)		選 別 工		ガ ス 溶 接 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
年 令	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	①45才まで 2 問わない	①40才まで 2 問わない	①45才まで 2 問わない	①40才まで 2 問わない
必要な資格 免 許	不 要	不 要	不 要	不 要	なし	なし	ガス溶接講習	ガス溶接講習
経 験	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
未既婚別	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
雇用形態	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート
初 任 給	日給 1000 円	日給 800 円	日給 1000 円	日給 800 円	31000 38000 円	25000 26200 円	33000 41000 円	27000 28200 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項								
事業所の業種 (注)	3 1		3 1		3 1		3 1	
事業所の規模 (注)	4		4		3		3	

(中途採用者の採用条件つづき)

条件	圧延関係補助工		シャーリング補助工		洗 滌 工		鋳 物 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	① 30才まで 2 問わない	① 55才まで 2 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない
必要な資格 免 許								
経 験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート
初 任 給	日給 2900 円	日給 2000 円	日給 2800 円	日給 1400 円	43840 円	35,250 円	日給 1400 円	日給 1000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項								
事業所の業種 (注)	3 1		3 1		3 3		3 1	
事業所の規模 (注)	4		4		3		4	

注) 産業分類番号, 規模番号は 1 3 頁の注) を参照のこと。

条件	木 型 工		大型プレス工		選別包装仕上工		電 気 溶 接 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	① 55才まで 2 問わない	① 40才まで 2 問わない
必要な資格 免 許			なし	なし			溶接の講習 を受講した者	溶接の講習 を受講した者
経 験	1 問う(3年) ② 問わない	1 問う() ② 問わない	① 問う(3年) 2 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート
初 任 給	日給 1300 円	日給 950 円	55,000 円	35,000 円	月給(25才) 45,000 円	時給 200 円	40,000 円	35,000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項			経験年数による		女子は現在パートタイマ ーしか求められないため		男子ほどに作業が出来ず 又残業も出来ないから	
事業所の業種 (注)	3 1		3 3		3 3		3 3	
事業所の規模 (注)	4		4		4		3	

(中途採用者の採用条件つづき)

条件	職種 性別		全 職 種		プ レ ス 工		その他(側頭加工)		電 気 溶 接	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
年 令	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	①50才まで 2 問わない	①50才まで 2 問わない	①50才まで 2 問わない	①50才まで 2 問わない	①60才まで 2 問わない	①55才まで 2 問わない	①60才まで 2 問わない	①55才まで 2 問わない
必要な資格 免 許	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
経 験	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
未 既 婚 別	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
雇 用 形 態	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート
初 任 給	日給 1,500 円	日給 940 円	日給 950 円	日給 750 円	日給 950 円	日給 750 円	日給 2,000 円	日給 1,400 円		
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	年齢は原則として問わ ないが27才位で線を引く。 男子は30才以上でも採 用することがある。		男女差はどうしてつけら れるかという、仕事の工 程が男女にちがいがあ る。男子は裁断から仕上 げの工程まで行なうが女 子はその一部の工程を行 なうので賃金に差をつけて いる。							
事業所の業種 (注)	3 3		3 3		3 3		3 3		3 3	
事業所の規模 (注)	4		4		4		4		4	

注) 産業分類番号, 規模番号は13頁の注)を参照のこと。

条件	職種 性別		鉄 工		雑 役		製 缶 係		材 料 係	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
年 令	①60才まで 2 問わない	①55才まで 2 問わない	①60才まで 2 問わない	①55才まで 2 問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない	1 才まで ②問わない
必要な資格 免 許										
経 験	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
未 既 婚 別	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない	1 問う() ②問わない
雇 用 形 態	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	①本採用 2 臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート	1 本採用 ②臨時・パート
初 任 給	日給 2,000 円	日給 1,400 円	日給 2,000 円	日給 1,400 円	日給 600 円	日給 800 円	日給 800 円	日給 800 円	日給 800 円	日給 800 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項										
事業所の業種 (注)	3 3		3 3		3 3		3 3		3 3	
事業所の規模 (注)	4		4		4		4		4	

(中途採用者の採用条件つづき)

職種 性別 条件	めっき補助		電気溶接工		整理(雑役)		マーキング工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年 令	①40才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	①55才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	① 才まで ②問わない
必要な資格 免 許								
経 験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未 既 婚 別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇 用 形 態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初 任 給	58,000 円	35,500 円	日給1,500 2,500 円	日給 1,500 円	日給1,300 1,500 円	日給1,000 1,070 円	円	日給1,000 1,300 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	男子の場合年齢に応じた 生活給のため。		社会通念上女の方が仕事 が出来ないとの理由		労働量が違う。			
事業所の業種 (注)	3 3		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	4		3		3		6	

注) 産業分類番号, 規模番号は1 3 頁の注)を参照のこと。

職種 性別 条件	電 気 溶 接		ガ ス 溶 接		そ の 他		電 気 溶 接	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年 令	①50才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	①50才まで ②問わない
必要な資格 免 許							問わない	問わない
経 験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未 既 婚 別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇 用 形 態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初 任 給	(日給月給とし 50,000 円	丸場合) 32,000 円	50,000 円	32,000 円	50,000 円	32,000 円	年令、経 験による 円	日給 12,000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	作業内容、体力の差		作業内容、体力の差		作業内容、体力の差		男子については本工との 対比を勘案するが、女子 は一率である。	
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	2		2		2		1	

(中途採用者の採用条件つづき)

職種 条件性別	電気、ガス工		雑 用		電気溶接		ガス溶接	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年 令	①50才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①45才まで ②問わない
必要な資格 免 許								
経 験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未 既 婚 別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇用形態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初 任 給	日給 2,200 円	日給 1,330 円	日給 1,500 円	日給 1,100 円	20才の場合 43,860 円	20才の場合 38,250 円	20才の場合 43,860 円	20才の場合 38,250 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項					年令・経験によって異なる。		年令・経験によって異なる。	
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	2		2		1		1	

注) 産業分類番号, 規模番号は 1 3 頁の注) を参照のこと。

職種 条件性別	機 械 工		組 立 工		金属加工作業者		組 立 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年 令	①30才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	①30才まで ②問わない	①50才まで ②問わない	①25才まで ②問わない	① 才まで ②問わない	①58才まで ②問わない	①58才まで ②問わない
必要な資格 免 許	なし	なし	なし	なし	不 要	不 要	不 要	不 要
経 験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未 既 婚 別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇用形態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初 任 給	18才 37,488 円 25才 50,208 円 30才 61,188 円	18才 36,288 円 25才 44,088 円 30才 61,188 円	18才 37,488 円 25才 50,208 円 30才 61,188 円	18才 36,288 円 25才 44,088 円 30才 61,188 円	20才経験者 39,750 円	29,910 円	42,000 円	35,000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	女子既婚者はパートタイ マーとして採用 1 時間 1 7 0 円		女子既婚者はパートタイ マーとして採用 1 時間 1 7 0 円		男子は年令、経験、配属 職場により初任給が異なる。 女子は経験 0 からスター トするものとして初任給 は一定。その後能力、遂 行する職務に応じて昇給 額が異なる。		男子はより力を必要とする 作業をする。	
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 3		3 3	
事業所の規模 (注)	2		2		3		4	

(中途採用者の採用条件つづき)

条件	電 気 溶 接 工		金 属 プ レ ス 工		プ レ ス 工		梱 包 ラ イ ン	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない
年 令	① 58才まで ② 問わない	① 58才まで ② 問わない	① 58才まで ② 問わない	① 58才まで ② 問わない	① 45才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 45才まで ② 問わない
必要な資格 免 許	不 要	不 要	不 要	不 要	な し	な し		な し
経 験	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う (※) ② 問わない	① 問う (※) ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない
未 既 婚 別	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	47,000 円	40,000 円	47,000 円	40,000 円	49,900 円	日給 1,300 円	円	日給 1,300 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	身体に過重負担がかかる 作業に男子をつける。		男子は金型をとりつける 作業を含む。また女子は 大きな機械はとりあつか えない。 ※経験者だけがをしたこ とのない人		女子の中途採用について は 23 才以上は特別社員 (臨時)にしかならない。			
事業所の業種 (注)	3 3		3 3		3 3		3 3	
事業所の規模 (注)	4		4		3		3	

(注) 産業分類番号、規模番号は 1 3 頁の (注) を参照のこと。

条件	組 立 工		ヤ ス リ 工		電 気 溶 接		組 立	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う (高卒) ② 問わない
年 令	① 50才まで ② 問わない	① 45才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 45才まで ② 問わない	① 55才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない
必要な資格 免 許			不 要	不 要	な し	な し	不 要	不 要
経 験	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない
未 既 婚 別	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない	① 問う () ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	63,000 円	37,500 円	日給 1,800 円	日給 1,100 円	57,000 円	42,000 円	42,250 円	27,200 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	男子は 45 才以上 の者 女子は 30 才以上 の者 は 3 か月間で本採用		規定や賃金表はない。上 の例は男女 30 才として 部長の考えひとつできま るといふ。		初任給の差は同じ電気溶 接でも厳密には難易があ るため。			
事業所の業種 (注)	3 3		3 3		3 3		3 4	
事業所の規模 (注)	3		4		4		4	

(中途採用者の採用条件につき)

条件 性別	金属工作機械工、プレス工		ガス溶接		その他(組立)		板金	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない
必要な資格 免 許	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
経 験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未既婚別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇用形態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	60,000 円	40,000 円	60,000 円	40,000 円	60,000 円	40,000 円	日給 1,200 円	日給1,200 円 900
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	採用条件は何ら問わないが、男子はやや経験のあるもの、又その補助作業をした者等が応募する。女子は全くの未経験者のため初任給には差がある。		同 左		同 左		男女で能率の差 70 %	
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 4	
事業所の規模 (注)	4		4		4		4	

注) 産業分類番号、規模番号は13頁の注)を参照のこと。

条件 性別	木 工		組 立		中途採用者すべてに適用		機 械 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	① 55才まで ② 問わない	① 55才まで ② 問わない	① 45才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない
必要な資格 免 許					なし	なし	なし	なし
経 験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未既婚別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇用形態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	日給 1,600 円 1,200	日給1,200 円 900	日給 1,200 円	日給 900 円	日給 1,440 円	日給 790 円	29,000 円	29,000 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	男女で能率の差 70 %		男女で能率の差 70 %		初任給の差については作業能率によるもの。		未既婚の別は問わないが、女子の場合結婚したばかりの人は採用せず、年令的に22.3才以下か33.4才以上になる。	
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 4	
事業所の規模 (注)	4		4		4		2	

(中途採用者の採用条件につき)

条件	金属プレス工		ボール盤		部品組立		事務	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年齢	①30才まで ②問わない	①30才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①45才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①35才まで ②問わない	① 才まで ②問わない
必要な資格 免許	なし	なし						
経験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未婚婚別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇用形態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初任給	40,000 円	33,000 円	47,000 円	35,000 円	47,000 円	35,000 円	年令、経験 による 円	年令等 による 円
採用条件の 男女差について 特記事項	金属プレス工でも男女で 機械、仕事の内容に多少 差があるので賃金異なる。		男子がだんだりの作業を するので高給になる(初 任給)		男子がだんだりの作業を するので高給になる(初 任給)		42,103円 42,094円 高卒 高卒 中卒は男女共36,219円	
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 4	
事業所の規模 (注)	4		4		4		2	

(注) 産業分類番号、規模番号は13頁の(注)を参照のこと。

条件	現 場		マーキング工		電気溶接		機 鉄	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学歴	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
年齢	①35才まで ②問わない	①25才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①40才まで ②問わない	①40才まで ②問わない
必要な資格 免許	必要とする 職種による		なし	なし				
経験	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
未婚婚別	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない	①問う() ②問わない
雇用形態	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート	①本採用 ②臨時・パート
初任給	36,219 円	36,212 円	30才 50,000 円	30才 44,000 円	日給 2,300 円	日給 1,700 円	日給 1,850 円	日給 1,650 円
採用条件の 男女差について 特記事項			女子は男子の補助的で仕 事のだんだりなどは男が する。					
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 4	
事業所の規模 (注)	2		2		4		4	

(中途採用者の採用条件つづき)

条件 性別	倉庫夫		グラインダー工		鋼材整理工		全職種	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年令	1 才まで ③ 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない
必要な資格 免許								
経験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未婚婚別	1 問う() ③ 問わない	1 問う() ③ 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇用形態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初任給	日給 2,000 円 1,300 円	日給 1,100 円	円	日給 2,500 円	円	日給 1,300 円	日給 1,300 円	日給 820 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	初任給の性差は現在いる 人の賃金とのバランスを はかるため性差 15~20% となる。 男子の 2,000 円は本採用 男子の 1,300 円、女子 1,100 円は共に特別職		人夫(1ヵ月契約)女子 10名を採用したが機械 もよく使えるし、男子以 上の働きなので常用男子 のグラインダー工の平均 賃金額で日当を決めた。		女子人夫は一率 1,300 円 となっている。 男子人夫は採用しない。			
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 4	
事業所の規模 (注)	4		4		4		4	

注) 産業分類番号、規模番号は 13 頁の注) を参照のこと。

職種 条件 性別	金属加工作業		検査		組立・加工		ガス溶接	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年令	① 40才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 35才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない	① 35才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない	① 35才まで ② 問わない
必要な資格 免許	なし	なし	なし	なし			なし	なし
経験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未婚婚別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇用形態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初任給	上 65,000 円 下 28,000 円	38,000 円	20才 40,400 円 30才 46,400 円 35才 52,400 円	20才 37,000 円 30才 42,000 円 35才 47,000 円	20才 40,400 円 30才 46,400 円 35才 52,400 円	20才 37,000 円 30才 42,000 円 35才 47,000 円	円	円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項			なし		なし		初任給は本人の学歴・年 令・経験等により決定す る。	
事業所の業種 (注)	3 4		3 4		3 4		3 6	
事業所の規模 (注)	4		4		4		2	

(中途採用者の採用条件につき)

条件	電気溶接工		ボール盤		ガス溶接		電気溶接工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
年 令	① 45才まで ② 問わない	① 40才まで ② 問わない	① 55才まで ② 問わない	① 55才まで ② 問わない	① 才まで ② 問わない	① 才まで ② 問わない	① 才まで ② 問わない	① 才まで ② 問わない
必要な資格 免 許					20才までは無 20才以上要			
経 験	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	日給 1,400 円 1,500 円	日給 1,050 円	日給 1,600 円	日給 1,100 円	25才以上 日給 2,300 円	日給 1,300 円	25才以上 日給 2,300 円	日給 1,300 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	上記女子の場合60才な ので、日給が低い。		経験や作業能力の差					
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	3		4		3		3	

注) 産業分類番号、規模番号は13頁の注)を参照のこと。

条件	マ ー キ ン		雑 役		組 立 工		金 属 プ レ ス 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
年 令	① 才まで ② 問わない	① 才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 50才まで ② 問わない	① 30才まで ② 問わない	① 30才まで ② 問わない	① 30才まで ② 問わない	① 30才まで ② 問わない
必要な資格 免 許			な し	な し	問わない	問わない	問わない	問わない
経 験	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない	① 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート	① 本採用 ② 臨時・パート
初 任 給	日給 2,300 円	日給 1,300 円	日給 1,600 円	日給 1,200 円	30,500 円 49,300 円	30,500 円 41,900 円	30,500 円 49,300 円	30,500 円 41,900 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項			日給の差は職種の差であ る。 女子は軽作業					
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	3		4		2		2	

(中途採用者の採用条件つづき)

条件	電 気 溶 接 工		成 型 工		仕 上 工		自 動 車 組 立 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	① 問う(中卒) 2 問わない	① 問う(中卒) 2 問わない	① 問う(中卒) 2 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	① 30才まで 2 問わない	① 30才まで 2 問わない	① 30才まで 2 問わない	① 25才まで 2 問わない	① 30才まで 2 問わない	① 25才まで 2 問わない	① 30才まで 2 問わない	① 40才まで 2 問わない
必要な資格 免 許	問わない	問わない	なし	なし	なし	なし		
経 験	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート
初 任 給	30,500 49,500 円	30,500 41,500 円	51,000 円	45,000 円	51,000 円	45,000 円	28,800 円	27,500 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項			女子は年令が高くなっても仕事の内容には大差なく給料が高くなるのみであるため、年令は25才で一応制限する。但し、一応の制限であり、こだわる事はあまりなし。		同 左		月給制	女子 日給×25日 計算
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	2		4		4		3	

注) 産業分類番号, 規模番号は13頁の注)を参照のこと。

条件	電 気 溶 接 工		金 属 工 作 機 械 工		雑 役		金 属 プ レ ス 工	
	男	女	男	女	男	女	男	女
学 歴	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() 2 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
年 令	① 32才まで 2 問わない	1 才まで ② 問わない	① 32才まで 2 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで 2 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない	1 才まで ② 問わない
必要な資格 免 許	原則として 有資格者	有資格者	なし	なし				
経 験	1 問う() ② 問わない	1 問う() 2 問わない	① 問う(3年) 2 問わない	① 問う(3年) 2 問わない	1 問う() 2 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
未 既 婚 別	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() 2 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない	1 問う() ② 問わない
雇 用 形 態	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート	① 本採用 2 臨時・パート
初 任 給	日給 1,200 円	日給 1,200 円	日給 1,200 円	日給 1,200 円	円	日給 1,020 円	日給 1,400 1,700 円	日給 1,050 1,150 円
採用条件の 男女差につ いて特記事 項	男25才未満の者は無資格者でも採用。6カ月の職場内訓練を実施、1年後には有資格者に育てる。				健康で意欲のある人 40才前後がのぞましい		初任給男女差は、年令・経験によって違ってきている。	
事業所の業種 (注)	3 6		3 6		3 6		3 6	
事業所の規模 (注)	3		3		3		3	

付録 6

最近女子の賃金管理面で改善した事項

新設手当，改善事項の内容	改善の理由
生産手当（男子の半額であったのを同額の千円にした）	労組の要求（同内容2件）
現業手当 組立関係1,000円，機械関係2,000円	（同内容2件）女子進出の足がかりとするため
現場手当 男子と同一職種の女子に仕事内容により日額15～40円支給	男子との賃金差調整
特勤手当 500円増額	（同内容3件）
住宅手当 世帯主である女子に	家賃高騰
住宅手当 女子単身者に支給（男子単身者にはなし）	
住宅手当 女子1,000円，男子1,500円，新設	（同内容4件）
住宅手当 3,000円から5,000円に	
炊事手当 寮で自炊している本採用女子に	（同内容4件）
パートタイム精勤手当 1ヵ月皆勤1,000円支給	（同内容3件）
プレス手当 月1,000円	
パートタイマー精勤手当 1週間精勤で300円支給	本工の給与に近ずける
特殊手当 仕事の困難度，汚れ具合によって200～2,000円まで支給	人手不足
皆勤手当 特別社員（女子23歳以上採用者）の皆勤手当を3,000円から5,000円に改善	（同内容4件）出勤率向上
チーフ手当 月額500円	チーフ制度の採用 管理能力のある女子の登場
役付（班長）手当2,000円を3,000円に	配下の女子の急増
昇給率の改善 入社後3年で男女差がつくのでそれをいく分改善	女子の仕事の充実
昇給格差の是正 10対7を10対8に	最賃制がとられたため
業務職も病欠に限り，完全月給者となった	女子の定着性を高めるため
ガス溶接の女子の日給を1,250円（男子1,500円）にアップした（他の女子は一率910円）	男子と同じ仕事をしている，資格をもっている。
機械手当3,000円を本俸にくり込んだ	女子の待遇改善のため
初任給の男女差をなくす	
準社員女子の昇格制度 能力によりA・Bあり，Aは本採用なみの待遇とする	女子の能力をいかす
準社員の正社員化	
日給月給制度 パートタイマーで1日4時間以上，1年以上勤続，年間出勤率75%以上の者を準社員として日給月給とした	パートの優遇のため

新設手当、改善事項の内容	改善の理由
日給月給制度 本採用以外の者(女子がほとんど)を日給月給に	女子の賃金改善のため
日給月給制度 勤続1年以上の者を日給月給に	時代の流れ
月給制の採用 女子は全員日給制であったのを全員月給制に	女子がよく働くので格差を是正
女子の定年延長 30歳を45歳に(男子は従来から55歳)	45歳まで十分働いてもらえることがわかった
臨時工退職金制度 女子は全員臨時(同内容2件)	
最低賃金制の適用(以前これ以下であった)	
等級号俸制度の導入 1~6等級まで 4等級以上になるのは昇格試験	
考課の判定を男子有利から徐々に均等に改善	女子の能力の再認識
賃金体系一本化、性差を考慮に入れない	能力の有効活用
男子と同じ賃金体系にくみ入れた	
職能給の率を男子と同じに女子も4割(従来2.5割)に改善	
生理休暇有給化(同内容2件)	労働組合との協定
生理休暇半日を1日有給にした	労働組合との協定
生理休暇有給化	男子にかわって女子が入ったため
生理休暇手当を基準内賃金の65%から98%に	
30%以上欠勤のある人は定期昇給できないことになっていたが、産前産後の休暇は50%は欠勤にふくめないことにした	労働組合による女子の要求
結婚退社現物支給 3年以上勤続者で結婚退職するものにミシン、襦袢を支給	意欲をたかめる

調 査 員 観 察 事 項

○作業環境について

- 女子生産労働者は男子メッキ工の補助としてメッキする部品を治具にかける、メッキの乾燥した部品を治具からはずす作業をしているが、メッキ作業と同一作業場で行なわれているため、メッキ作業からの水が床にあふれ、通路の板床もたえずぬれている所がありすべりやすい。事業所では女子にメックをばくよう指導しているが夏はサンダルばきの者もみられるというが、危険有害業務を扱う関係上問題があると思う（但し、特殊健康診断実施）（F 3 1-④）。
- 電気分解による鉄を生産しているが、女子生産労働者は製品の鉄片を一定の大きさのフレークに、アルミ板をはりつけた机の上で砕き、錆のあるものとなないものに選別する作業をしているが、砕く際金属的なかなり大きい音がする。また、作業場は製品の鉄をおく倉庫の一部を使っており、窓が少なく、採光および換気に気をくばる必要が認められた。（F 3 1-④）。
- 溶接をする作業場は高温であり、また、溶接の周囲で他の仕事をしている所まで光がいくので危険に思われた。ガス溶接の場合は煙が充満してしまい換気が十分でない。事業所の話では、今後溶接の周囲に今より高いかたいをして他にもれない計画とのことだった。その他騒音が大きく耳を近づけないと聞こえない状態である（F 3 6-③）
- 床面の整理・整頓が悪く、製品運搬中、転倒して足関節を捻挫したものが個人調査対象者 11 名中 3 名あり安全管理対策上一考を要すると思われる（F 3 6-④）。
- 当該事業所では重い製品の運搬等重労働の部に入る。床はコンクリートで立作業であり、休憩時間は昼食時間の 45 分のみであり半数以上が時間内は作業場所をはなれることができず職場転換を望む声が強かった。
- 作業場の床に油がしみ込んですべり易く年配者には足許が危ない感じがする。また、腰かけ作業でも可能なものもすべて立作業になっており中高年婦人も多いところから腰掛がほしいと思った（F 3 6-①）。
- 工場全体にぎっしり機械が並んでいるので音が大変うるさく、また、油のにおいがきつい。照明の点は良いが夏はかなり温度が高く暑い（F 3 6-①）。
- はつり機による騒音が非常に高く、工場内の全作業員は耳栓を必要とするが着用しない者が多い（F 3 6-①）。
- 製品（ベアリング）の関係で、千分の一の精密度が要求されるので、温度湿度を平均させることから（20 度）夏期には作業場内と外の温度差から女子は気分が悪くなる者も多いという（F 3 6-①）。
- 女子生産労働者は中子とりと仕上げに従事しているが、粉じんがひどい、作業衣ばかりでなく、防

じんマスク以外の出ている皮膚は黒くほこりだらけで騒音もひどい（F36-③）。

- 鋳物工場での女子の就労現場は、40℃近い高温で、鋳物工場特有の粉じんが床一面をおおい、さらに作業場内をまっとう空気汚染がひどい（31-④）
- 女子生産労働者は直径7cm鋼管の切断と男子が溶接した製品の余分の溶材をかきおとす作業をしている。いずれもコンクリート床の立作業である。切断の作業場は80ホーンでかなりの騒音で、頭上をクレーンが鋼管を運搬しており危険である。夏は扇風機、冬は放熱器を使用するというが、作業衣が長そでであり、ふきさらしのため、夏はあつく、冬は寒いのではないと思われる（F31④）。
- 女子生産労働者は電気溶接に従事し装備の点では問題ないが、騒音がひどく、また、作業姿勢が皆中腰なので疲労が大きいと思われる。作業場は天井が高くふきさらしなので冬は保温が充分ではないと思う。また作業場がせまく原料（鉄板）が床いっぱい積まれ危険である。個人調査の結果、業務上被災者3人中2人までが原材料が倒れかかった事故で、1人は隣の溶接の火花でやけどをしたということである（F33-③）。
- 女子生産労働者は塗装の準備の一部にシンナーを使い不純物をとりのぞく業務を行なっているが、換気孔、換気扇をとっつけ一応配慮しているが充分でないと思われる（F33-④）

○職種について

- 造船を行なう事業所であるが、溶接部門においては女子でも充分やれるし向いているので資格などを積極的にとらせ自信をもたせるよう力を入れたいとしている。しかし、女子のこの部門への進出は望ましいが、高熱を出すため調査対象者の大部分は夏は特に疲れると述べている。またそれ以上に眼がつかれると訴えており、休憩時間や作業環境の状態が現在のままで良いかどうか考えさせられる（F36-①）。
- 女子生産労働者は旋盤、プレス、自動車エンジン組立と技能職に進出しているが、個人調査でみると10人中6人までがけがをしている状態がみられる。安全衛生面の対策がのぞまれる（F36-①）。
- 塗装作業の部門で、男子は直接塗装作業をしているが女子は塗りもれなどの部分補正作業であるためか防除マスクもかけず作業している。作業場全体に有機溶剤（シンナーの強い臭気）がたちこめており、換気が十分でない様に感じられた（F36-③）。
- 女子生産労働者はボール盤工、旋盤工をしているが大半が切粉が目に入り眼をいためた経験があった（F36-④）
- 電気溶接の職場で火花と特別な光に対し、保護メガネも着用せず作業をしている。事業所では慣れれば何でもないと述べているが疑問である（F36-④）。
- 溶接棒の溶射にともなう生ずる酸化鉄の粉塵はけい肺になる可能性も高いが、安全具の着用や特

殊健康診断は女子に対しては行っていない。また、溶接棒の放霧剤からはガス発生がみられる（F36-①）。

- 5年前まで電気溶接工、プレス工は男子の職場であった。最初電気溶接工として中年女子を試みに使用してみたところ、すぐになれたので、プレス工にも及ぼし60t以下の小型プレス機であれば充分こなせることがわかった。この仕事に従事する既婚女子は近在の農村から通勤しており、賃金も良く、男子と同じ仕事をしているということで仕事も意欲的に行ない能率をあげている。かつ男子のみの場合より掃除はゆきとどき、災害は減少、職場内が明るくなって男子の離職率も減少するという効果がでた。また女子の意見をとりいれ職場環境の改善も行なっている等メリットが大きい。今後電気溶接、組立はほとんど女子にきりかえてもよいと事業所では述べている（F36-⑧⑨）。
- プラスチック部品の接着に超音波を使っている。以前のボンド剤より能率的という理由であるが、高い音程のビーという耳に不愉快な音がかなりの大きさで聞こえる。事業所では同接着機使用に際して新たに防音のための箱をとりつけたが十分とは思えない。同作業についている従業員には定期的に耳の検査を行なっている（F36-②）。
- 塗装作業に従事する女子がいるが、この作業は人手不足の上に、一定の経験を必要とするため、残業の強制や急性肝炎で療養した婦人が16年間塗装作業に従事し労働強化のため職種転換を申し出たが放置されている等作業員の安全健康管理がおろそかにされている事例があった（F33-⑧）。
- ステンレスの酸洗いに従事する女子生産労働者から酸が散って目やのどをおかされ通院した人が少なくないという現状を訴えられた。事業所ではメガネとマスクを支給したが着けたがらず対策を考慮中とのことである（F33）。

○身分について

- 本工と臨時、パートタイマーがいるが、パートタイマーは通常はフルタイマーと同じ就業時間で勤務しているが、家事の都合で、午前中あるいは午後のみ勤務する自由が認められているという意味でパートタイマーと呼んでいる。年次有給休暇については、臨時の場合は就業規則が準用されるので本工と同日数であるが、パートタイマーについては休みが多くコンスタントに出ていないという理由であたえられていない（F31-④）。
- 「その他」の雇用形態の呼称は「臨時」となっている。臨時の場合、本採用への昇格制度がないため、ほとんどの女子生産労働者は長期間臨時として働いている。賃金については、本採用が月給制であるが、臨時は日給月給制を取っており女子の有給生理休暇も本採用の女子に限られている。臨時の場合、賞与が本採用の80%であり退職金制度もない（F36-④）。
- 本採用は正社員、準社員「その他」は季節工、臨時工、パートである。本採用になるためには男女とも3カ月の試用期間を要するが女子の場合未婚であることを前提にしている。既婚者は家事労働、子女の教育にわずらわされるので出勤率が悪いという理由である。そのためマイクロバスの送迎、

保育所の設置により優遇しているが、むしろ働く婦人側から身分差を要望している実情にあると事業所では述べている（F36-②）。

- 「その他」は臨時工とパートタイマーである。臨時工はほとんど本採用を前提としており、30歳以上は1年間、25歳以上30歳未満半年間、25歳未満は3カ月で本採用になる。しかし女子既婚者は全員パートタイマー（労働時間はフルタイマーと同じ）としてのみ採用し、契約は6カ月毎に更新している。賃金面は本採用は月給日給制、臨時工は日給月給制、パートタイマーは時間給である。通勤手当は本採用及び臨時工は最高4,200円、パートは1,800円、賞与は本採用を100とすれば臨時は60、パートは6カ月間の勤務時間の実績に応じて支給する。生理休暇はパートはないという実情である（F36-②）。
- 本採用は月給制で組合員になれる。その他は臨時及び試用の者で組合員になれる。退職金は本採用の50%、臨時から正社員になる機会は年間4回あるが、年齢25歳未満の者に限られる（F36-②）。
- 「その他」は臨時として、期限を定めて採用したもののだが、更新を重ね14年になる者もあるが有給休暇が与えられない（F31-⑧）。
- 現場女子の新規学卒採用はなく、中途採用のみで23歳以上は特別社員という名称で呼ばれ、本採用にはなれない。男子の場合は中途採用でも45歳以下なら本採用となる（F33-②）。
- 「その他」は永久臨時—30歳以上の女子を採用する時（日給制）嘱託—本採用の女子で停年に達した者（月給制）パートタイマー—就業規則なく条件悪い（時給）（F33-②）。
- 「その他」は「定期工」と呼ばれる臨時工で現在は女子のみ。本採用との差は、3カ月毎に契約を更新し、定期昇給はなるべくペアのみ、また賞与もない。これらの定期工はほとんど10年以上勤続の高年令者である（F33-②）。

注） F31 ④（規模番号）

（産業番号）

各分類番号については13頁の註を参照のこと。

女子労働者の意見

賃 金 に つ い て	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
上げてほしい（パートについて：パートも賃金を上げてほしい、時間給をもう少し上げてほしい）	117件	42件	34件
安すぎる	131	30	31
男と同じ仕事をしているのに安すぎる	57	17	1
男と女の差をなくしてほしい（差がありすぎる）	23	6	2
重労働の割に安すぎる	61	24	10
労働時間が長い割に安すぎる	5		
勤続年数の割に安い（24年も勤めているのに）	3	2	1
新しい人に比較して安い	6		
新しい人と変らないのは不満（長くいる人と差が少なすぎる）	7	2	2
月給制にしてほしい（パート：正社員と全く変らない仕事をしながら家庭の主婦だからいつまでも働きたいと思うので時間給を月給にしてほしい）	11	10	1
能率給にしてほしい	3		
仕事が同じなのに差があるのは不満		6	1
仕事に差があるのに賃金が同じなのは不満	1		1
本採用との差がありすぎる（ボーナスにも差があり、本工と臨時工の差別がありすぎる。本工なみの給料がほしい）		18	
事務職との差別が賃金にもある	3		
同じ時期に勤めた人より低いので同じにしてほしい	1	1	
年令で賃金を決めるのは不満	3		
勤続年数によって決めてほしい	2		
若い人より長くいる人の方が低いのは不満	2		
組合員と同等の賃金を	2		
中途採用の場合、賃金が少ないのは不満	1		
個人的に賃金がちがう、差別する、好きな人には多い	2		
検査だからといって賃金がとてもやすい		1	
給与計算がわからな、明確に	2	1	
危険な仕事の割に賃金が安い		2	
仕事によって賃金がちがう		1	
昇給が少ない	6		1
昇給は一律に	2		
年令が高くなると賃金が低くなるのは不満	2		1
何年たっても本社員でないため、給料、ボーナスが本社員の半分（12年14年等）		5	
初任給に年令の考慮をしてほしい	1		1
残業しなくてももう少し賃金がほしい	1		

賃 金 に つ い て	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
生活できるだけ収入がほしい、生活が苦しい、自活できない	7		
一定した収入がほしい	1		
ボーナスが少なすぎる、上げてほしい	5	4	2
ボーナスは勤続年数によって差をつけてほしい	1	1	
ボーナスに男女差がありすぎる、なくしてほしい	4	3	2
産休中の給与を全額支給してほしい	1		
ボーナスを支給してほしい、ほとんどない		5	5
ボーナス等、組合員の何割とはっきり決めてほしい		1	
結婚するとボーナスがなくなる		1	
季節工で来ているのでボーナスがない、日給を上げてほしい		1	
女子の基本給を上げてほしい（賃金が安すぎて何日か休むと1カ月なををしたのかわからなくなる）		1	
パートの賃金を公平に			1
パートは勤続年数に関係なく賃金が一率とは不満			2
本工と変らぬボーナスを出してほしい			1
会社の方から月に何日か休みがあるが、日給の何割か支給してほしい		1	
女性でも生活できるだけ収入がほしい		1	
夫の賃金で生活できるように	1		
失業保険を多くして失業した時にそなえたい	1		
昇給がない（一般の方々と同様に働いているのにパートだけ昇給しないというのは不満等）		7	
会社の要望で勤務時間も本社員並に働いているが、待遇はパートのため手当、ボーナス等の面で大きな差がある。考えてほしい。			1
パートでも休けい時間も給料を付けてほしい			1
技術を持っている割に賃金が安い			3
早く嘱託になりたい、日給月給になるから			1

諸手当、税金、保険、皆勤手当等について	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
特殊勤務手当の支給を（仕事に合った手当、危険手当等）してほしい。 T.K. クリーナーに手をつけて仕事をしていますが特殊手当がついていない	1	4	2
男と同じ手当がほしい			1
住宅手当を支給してほしい、夫が病気のため、住宅手当、家族手当等、支給してほしい	1	1	
時間給なので手当がつかない、労働はみんなと同じなのに			1
臨時でも皆勤手当がほしい。25日以上働いた者も皆勤手当を支給してほしい		2	1
皆勤手当が少ない		2	
皆勤手当を月々出してほしい	1		
けがをしても業務災害がとれない。会社が負担しなければならないから	1		
けがなど完全になおるまで医者診察を希望する	1		
災害の補償費が少ない、全額補償を	4		
農家の臨時社員なので厚生、失業保険等さけてほしい。国民保険に入っている		2	
保険に加入したい。パートは健康保険がない			3

諸手当，税金，保険，皆勤手当等について	「本採用」	「その他」	「パート タイマ」
安い給与で，厚生保険，失業保険等税金が高すぎる	2	1	1
扶養家族（妻）の年間所得が国で定められた年間所得より超過した場合課税対象となり，そのため，必要以上に休まねばならない。この点考慮ねがいたい。			
所得税が多すぎる		2	
健康保険もかるくしてほしい	1		
通勤手当を全額支給してほしい	4		
寮費が高いので安くしてほしい	1		
給食費を半額負担してほしい	2		
給食制度があるとよい	1		
昼食を支給してほしい	1		

身 分 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パートタイ マ」
正社員と同等の身分保証を		3	
何年たっても本採用になれない（13年も勤めていまだに臨時になっているのは不満）		3	
女は何年たっても本工になれない（勤続11年等）		2	3
本採用にしてほしい	5	8	
技能職と事務職との差に不満	2		
給科日を正社員と同じ日に		2	
男の職場という理由で本採用になれない		1	
年令による採用時の差をなくしてほしい（31歳以上であると将来ずっと臨時）40歳までの者は本採用にしてほしい		2	
結婚した事により特別扱いされる	1		
結婚により事務から現場に配置換えされた上，出産退職を強制されている	1		
結婚すると臨時にされて，賞与もでないのていろいろな面でこまる		1	
以前は結婚により事務から現場に配置換えされたが最近はなくなり不公平である	2		
臨時従業員の待遇を改善してほしい		1	
組合に加入しないようにいわれるので待遇のことで組合員と差が出る		1	
臨時から定期工になったが待遇は変わらない		1	
社員として取扱ってほしい		1	
フルタイムなのだからパート扱いしないでほしい		1	
日雇，臨時，定期等で今日まで16年間勤めているが3カ月契約にて本採用にされず勤続表彰もなく，退職金制度もなく家族手当等諸手当もなく全く不安定な事と思います。我々の意見はいくら要求しても取入れてもらえない（この人は夫と死別して，ひとりで生活している56歳の人。）		1	
一般と同じにしてほしい			1
パートは1日中本工と同じに仕事をしていても何にしても部が悪いのではんとうに残念です			2

労働時間について	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイム〕
労働時間の短縮	58	7	1
始業時間が早すぎる	16	2	
終業時間をもう少し早く	18	2	1
交替制勤務をなくしてほしい（私生活が不規則になりがち）	7		
週休2日制のため終業時間が延びるため都合がわるい	1		
労働時間が会社の方針によって変るのはこまる	1		
冬だけでも時間短縮を	1		
交替制勤務は労働時間を短かく	1		
仕事の時間がまちまち	1		
正社員とパートの労働時間（働いた時間は同じなのに）がちがう （正社員8時間、パート7時間7分）	1		
パートの労働時間を長くしてほしい			1
半日勤務でなく、1日勤務に（パートでなく1日働きたい）			2
パートとしては労働時間が長すぎる（8:40～4:20） 短かくしてほしい			1
1日働めたいが、子供がまだ小さいため時間制にしてもらっているが職制 が理解がなくて困っている			1
パートでも定時間働いている			1

残業について	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイム〕
残業をしたい	9		1
残業を強制される、したくない	10	1	
〃 多すぎる、少なくしてほしい	5	2	
残業を平均にしてほしい、一定してほしい	3		
男子と同じように残業したい	2		
残業手当をきちんと支給してほしい（少ない）	2		
残業しないと給与が安すぎてこまる		1	
残業しても賃金が安い		1	
残業を自分のしたい時に出来るとよい			1
残業時間について女子は40時間を限定してほしい（6月中の残業時間36時間）			1

休けい時間について	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイム〕
昼以外の休けい時間がほしい	62	7	6
〃 休けい時間をもう少し長く	38	3	11
昼の休けい時間をもう少し長く	52	4	1
休けい時間をきめてほしい	1		2
男子にはきつ程度による息抜きがあるが、女子は実際の所仕事から離れにくい面があるので気軽に小休止出来るように方法が講じられて欲しいと思う。	1		

休養室，更衣室，保健に関する事について	「本採用」	「その他」	「パートタイマー」
休養室がほしい（現在通路にむしろをひいて休んでいる等）	69	12	4
女子の休養室がほしい	10	2	
休養室をもう少し広く，改善してほしい	3		3
更衣室がほしい	15	3	1
更衣室が男，女別にほしい	3		1
更衣室，ロッカーを拡張，改善してほしい	15	8	1
更衣室が遠いので近くにしてほしい		1	3
更衣室が暑い，改善してほしい	2		
保健室，医務室がほしい	14	3	
保健婦，保健医を置いてほしい	1	1	
診療所に行くのに責任者の許可がいるのは仕方ないとしても救急箱を使うにも届け出るのでは急な場合や，小さな傷の場合自分で処置することになる。			1
作業場，各職場に薬品類（救急箱）を置いてほしい （けがに合った薬，薬品の種類を多く等）	10	2	2

休けい所，トイレ，食堂等について	「本採用」	「その他」	「パートタイマー」
作業中，トイレに自由に行けない（流れ作業等）	1	1	1
トイレの数が少ない増してほしい	8	1	2
トイレ，洗面所など設備をよくしてほしい（水洗にしてほしい）	15	2	1
トイレを男，女，別にしてほしい（女子専用）（男と同じで感じがわるい）	6	2	2
トイレが遠い，近くにほしい	6	1	2
トイレトペーパーがない時が多い，	1	1	1
食堂が遠すぎて雨の日などこまる	1		
食堂が暑い	10		
食堂を拡張してほしい	2		1
食堂がないのではほしい	8	1	
食事がまずい	4	1	
機械工場にも洗面所をつくってほしい（眼に切粉が入っても洗う所がなく，洗うことができない）	3		
水道の生水でなしに冷水がほしい			1
作業場の近くに休憩できる所がほしい	2	1	1
各職場に休けい所を作してほしい	1		
休けい時間，休む所がほしい。過す所がない。（すわる所，ソファ等）	5		1
食堂，休けい場所が悪い，改善してほしい	1		

退職金制度	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
退職金制度がないので困る、ほしい	3	9	
退職金がほしい		2	2
退職金が少ない	1		
臨時工なので退職金がなく将来不安		1	
本採用でないで退職金がないため本採用に		3	
定年をのばしてほしい（50歳まで等）	3		
定年制をなくしてほしい	2		
定年なので昇給しないのが残念		1	

そ の 他	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
基本的な知識を勉強したい	1		
他社見学をさせてほしい	3		
同年代の人ばかりなので成長がみられない	1		
人事移動が多すぎておちついて仕事ができない	2		
講習会や試験に行くように強制されるが今さら行きたくない	1		
上司と労働者との人間教育をしてほしい	2		
女性の地位をみとめてほしい	1		
男ばかりの職場だから女をふやしてほしい	2		
労務管理がなっていない	1		
朝礼が長すぎる	1		
班長とうまくいっていない	1		
外来客がくると扱い方がちがう	1		
身体検査を女子にも受けれるようにしてほしい	1		
女子社員が少ないため福利厚生が男子中心である	1		
男の人より女の人にうるさく云って働かせる		1	
仕事の指導者がほしい	2		1
資格を取って長つづきする仕事をしたい	1		
女性でももっと技術を身につけさせてほしい	1		
管理職の人はワンマンでむやみに下の者をこきつかう	2		
入社して6ヵ月したら嘱託にする約束でしたが、今になって言わなかったとのことでくやしくなりません。早くなりたい			1

休 暇 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パートタイム」
年次有給休暇がほしい、もらえない、パートもほしい	1	6	9
自由に取りたい、とりにくいから	1	3	
年次有給休暇をふやしてほしい	2	5	
日給制のため有給休暇が少ない		1	1 (パートだから)
臨時工でも1年過ぎたら有給休暇がほしい(1.4年)		1	
長欠の場合、次年度の有給休暇がとれないのは不満	2		
有給休暇について本採用との差をなくしてほしい		1	
その日の申し出で有給休暇が取れるように	1		
有給休暇を取っても皆勤手当がつくようにしてほしい	2		
病気などで有給で長く休みたいが、皆勤手当がなくなるので休めない	1		
人員不足のため休暇がとりにくい	1		
半日休んでも1日単位なので通院など不利	1		
本工はいいと思う。親が死亡しても休暇がもらえるが、臨時工はない、不満である、		1	1
夏期休暇をもう少し長く(最低4日はほしい等)	3		
祭日は休みにしてほしい	2		

生 理 休 暇 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パートタイム」
生理休暇がない、ほしい	15	16	20
生理休暇を有給に	11		
休暇がとりにくい、あまり良い顔をしない	4	4	
社員、臨時等の差別をなくし、母体保護の意味で同等に		4	1
生理休暇の有給の日は1日だけなので2日にしてほしい	1	1	
生理休暇をとらせない	1		
休暇をとっても皆勤手当を引かないでほしい	2		
夏だけでも生理休暇がほしい	1		
生理休暇の取扱いについて不明でこまる	1		
医師の証明書が必要なので、休みにくい		1	
重労働のため生理日がくるってしまう。休暇をとると注意され、有給がなくなる	2		
力仕事のため生理の時は作業を続けられない	1		

週 休 2 日 制 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パートタイム」
土曜日を休日に、週休2日	32	3	
月1回でも土曜日を休日に	2	2	
月2回	3		
土曜日を半日休日に	8	5	1
毎週でなくても土曜日を休日に	1		
1週に1度半日休日してほしい	1		

仕 事 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パート タイマー」
作業設備がない	9		
頭の上をクレーンがしらないうちに通っている、危険を感じ、こわくておちついて仕事が出来ない	2		
同じ仕事の作業のくり返して手の関節が痛む	1		
仕事がきつい、つらい、つかれる等重労働	42	8	8
1 日立仕事なのでつかれる座ってする仕事をしたい	19	7	
〃 腰掛がほしい	1		1
目標、目標と目標がきびしすぎるので体がこたえる	2	1	
流れ作業のため追かけられているみたいで落着いて仕事ができない	4		1
流れ作業は楽なよりでも大変	1		
機械に使われているみたい	1		1
重量物をもつ仕事、力仕事、荷造等重労働はさせないでほしい、つかれる中腰の仕事等	15	6	8
単純な仕事なのであきる、労働意欲がわからない	5		
仕事に波がある、いそがしい時、ひまなとき、一定してほしい	9		1
男女差をなくしてほしい、男と女と仕事にあまり差がない、もう少し楽な仕事に変えてほしい	26	4	
現場を見て理解してほしい、上司の思いやりのない	10	1	
仕事がきかない	9	3	
他の人と仕事の量、内容に差があり不満	6	1	
やりがいのある仕事をしたい	1		
ひまな時など他の仕事に変えないでほしい	5		
責任ある仕事をしたい	2		
年々、仕事の量がふえていく	2		
移動したくない、きまった仕事をさせてほしい、日の内によく変る	2	3	3
毎日同じ仕事だからあきる、変えてほしい	10	2	1
仕事を変えないでほしい、6 カ月交替とか、1 年通して一定してほしいなれているので	3	2	1
人をふやしてほしい、人員不足	13	1	
同じ姿勢のためつかれる	3		
仕事が自分に不向き、自分に合った仕事をしたい（適材適所に）	4	2	1
いまの仕事が女性にむり、変えてほしい	2		
体の具合の悪い時だけでも仕事を変えてほしい	1		
日曜出勤させられる	3		
おがくずが舞い上がり、衣服にかかり、吸うおそれがあるから吸塵装置をしてほしい	2		
若い人ほど仕事に誠意がないと思う	1		
パートと社員との仕事の差別がありすぎる			1
油仕事なので手がよごれておちない、油仕事を考えてほしい	9	4	
機械の修理などおしえてほしい（故障が多い）	1		1
仕事が危険だから変えてほしい、けがが多い	8		
機械仕事は精神的につかれる		1	
新しい人は親切に仕事をおしえてやるようにしたい		1	
仕事で、口数が多すぎる		1	

仕 事 に つ い て	「本採用」	「その他」	「パート タイマ
眼がとくにつかれる		1	
流れ作業なので仕事場をはなれることが出来ない	1	1	
炎天下での仕事をなくしてほしい		1	
衣服がよごれる	1		
仕事が能率的でない、改善してほしい（品物を現場から運ぶ際、運搬距離が長すぎる等）	2	1	
年をとっても働きやすい職場にしたい。身体が丈夫な以上は働きたい			1
初めに仕事をよくおしえてほしい			1
パートのため仕事を良くやってもみとめられない、残念だ			1
パートでも仕事の率は変らないと思う			1
自分が製造している品物がどこなところでつかわれてるのか知りたい		1	
スポットの火花がとてもこわいです			1
塗装の中で洗う仕事で手があれてこまっている			1
カミソリで手を切りやすい			1
切断の時の煙がとてもいやです			1
シンナーの使用量が多い			1
プレスの仕事は50歳をすぎると精神的負担が重く危険を感じる			1
仕事が熱くて困る（鋳造の近くなので熱くて困る）	3	2	3
手袋がほしい	2		
溶接用のメガネを無料で支給してほしい	1		
作業用具をふやしてほしい	2		
手袋をもう少し多くほしい	4	2	
機械の修理を依頼してもなかなかおしてくれない	1		
防塵メガネのようなものがほしい、眼にゴミが入るから	6	1	
機械が故障しているのではないかと心配。機械を新しくしてほしい	2	2	
一年中油を使用するため、手の荒れがひどく皮がむけたり、それによるひりひりする痛みがたえないのでなんとかならないものかと思う。	1		
亜鉛中毒のため、体の具合がわるい。			
薬品を使うので心配。シンナー、ニス、パークロ液、アンモニア液、その他の薬品又油のにおいで気分が悪くなる。中毒の心配。危険ではないかと思う。	19	5	3
油仕事なので毛穴に油が入り、不衛生でニキビなどで困っている。	1		
ビクリン酸、硝酸を使用するため手の爪が黄色く染って洗っても取れなくなった。	1		
ミラーの磨機るとき砥石の粉が舞いこり、鼻からのどに入って、ときたまくれるマスクでは、あとで患部が痛んで困る。	1		

作 業 場 に つ い て	〔本採用〕	〔その他〕	〔パートタイマー〕
作業場が暗いので明るしてほしい	22	2	
騒音が激しく困る	35	5	2
仕事場が汚れすぎる、きたない（油などで）衛生的でない	21	1	
作業場の周囲が危険で安心して仕事が出来ない	4		
作業場の空気が悪い（ほこり）（ウエスを切っていますので毎日ホコリで困っている、鼻からのどがからからにかわく等）	44	2	7
作業場の窓を多くしてほしい	4		
作業場がせますぎる（危険だし、仕事もしにくい）	24	11	
作業場のふんい気を明るく楽しく	5	2	
雨もりをなおしてほしい	7		
作業場は夏は暑く、冬は寒すぎて仕事やりにくい	26	5	3
冷・暖房の設備をしてほしい	69	8	8
職場が暑すぎてつかれて仕事ができない、すずしくしてほしい	74	7	17
風通しが悪いので換気扇などをつけてほしい	20	8	2
扇風機を増してほしい	23	1	
コンクリートの上で仕事をしているので冷える（床をはってほしい）	5		1
通路がせまい、仕事しにくい	2		3
作業環境が悪い	1		2
作業場が地下なので冷える		1	
通路がいたんでいるので困る	1		
作業場に製品整理棚を置いてほしい	1		
事務所と現場との設備に差がありすぎる（冷・暖房等）	3	2	
作業場が危険である（安全面）	4	1	1
作業場の設備がよくない		2	1
冷房がききすぎ、体によくない、外との温度差が激しい	1		
他の職場から出るけむりで頭痛に成る事がある			1
塗装場に近いため、塗装のにおいが風向き加減で作業場まで流れてくる。体によくない。	1		
塗装と同一職場で仕事をしているのでシンナーの臭気で頭が痛くなる。	1		

作 業 服	「本採用」	「その他」	「パートタイマー」
作業服の支給回数をふやしてほしい（2年に1回、1年に1回でなく）	1	1	1
作業服貸与は無料にしてほしい（くつ等）	1	1	
作業服がほしい	2		
作業服を改善してほしい（中には夏物がない、男女物もわからない等もある）	7		1

そ の 他	「本採用」	「その他」	「パートタイマー」
湯のみ場と洗面所がいっしょなのはこまる	1		
冷蔵庫がほしい	3		
寮があるとよい（冬だけでも）	1		
女子にも風呂の設備がほしい、体がよごれるので、パートの風呂	10	5	
休けい所に時計をつけてほしい	1		
寮の施設がわるい（風呂、電話等）	1		
給湯施設がほしい（お茶がほしいから）	4		
昼、お茶をわかしてくれる人がいてほしい	3		
掃除専門の人を雇ってほしい（トイレ等）	5		
図書、体育館、バレーボール、その他の呉楽施設がほしい（海の家等）	28	1	
福利厚生に力を入れてほしい	5		
プライベートの面で上司からとやかく言われる	1		
組合がないので労働者が弱い	1		
みんなで話し合いをする機会をつくりたい	1		
人間関係がむずかしい（仲間の批評等）	2	2	3
上司は若い女性には良いが、年取った者には冷たい	2		
男性がいやらしい（19歳）	1		
上司がよく仕事をおしえてくれない	2		
売店がほしい	3		
外部連絡がとれるようにしてほしい、電話とか（急な場合のため）	1		
外の騒音がひどい	1		
産前、産後の休暇をもう少し長く	1		
コンクリートの上の立仕事なので流産、早産する人が多い	1		
妊娠10ヵ月、産休を取りたいが6割になるので出勤している。妊娠初期に座作業に転換されたが、慣れない仕事だったので肩がとると云ったら我ままだと言ってもとの作業にもどされた。立作業の上終日重量のあるものを支えての仕事は辛い。		1	

金属、機械製造業における婦人労働実態調査
事業所票

昭和46年7月
労働省婦人少年局

事業所番号	産業分類	企業規模	事業所所在地	調査者氏名
	1 1500人以上 2 1000~499人 3 500~499人 4 100~299人	事業所規模 1 1000人以上 2 500~999人 3 300~499人 4 100~299人		

I 生産労働者の職種、雇用形態に関すること

1 生産労働者数（6月末現在）

職 種	男			女		
	本採用	その他	計	本採用	その他	計
銅 工						
鋳 工						
その他の金属材料製造作業者						
上記以外の金属材料製造作業者						
金属工作機械工						
金属プレス工						
鍛造機械工						
ガス溶接工、ガス切断工						
めっき工						
仕上げ工						
プレス組み立						
その他の金属加工作業者						
上記以外の金属加工作業者						
自動車組立工						
その他の乗用車用機械組立、修理作業者						
上記以外の乗用車用機械組立・修理作業者						
その他の機械組立、修理工						
上記に分類されない機械組立・修理作業者						
運 搬 工						
倉 庫 夫						
初 道 工						
クレーン、フォークリフト等運転工						
上記以外の設備運転・機械運転作業者						
その他（上記分類に該当しないものすべて）						
計						

⑤ 「その他」の雇用形態の女子がいる場合は、その呼称および身分、待遇などがどのようであるかを「本採用」と区別されているかを明らかにする限り、可能な限りの資料を入手添付する。資料が添付できない場合は実態を具体的に調査員所見欄に記入する。

2 女子専任労働者は

- 1 直接生産部門の作業についている
- 2 間接生産部門の作業に限られる

3 男子と同じ仕事^(注)をしている女子の有無

い る と い ない

標準名または仕事の内容	女子専任労働者（同職種の男子数）

⑥ 機械工などを操作運転している機械がまったく同じもの、組立工などでは事業所の判断で同等の仕事と考えられるもの、前者の場合は機械名、後者の場合は社内名称を記入。

II 生産労働者の労働時間に関すること（1〜3はバー）をのぞき、女子の主なものをについて

- 1 所定労働時間 1日（ ）時間（ ）分
- 2 休憩時間 1日（ ）分、半休日の場合（ ）分
- 3 週休日 （ ）日
- 4 交番制 男（あり）女（あり）
一学期のみ（ ）（ ）組（ ）交替
ほとんど全員（ ）その他（ ）

5 年次有給休暇日数

	勤続1年未満	勤続1年
本 採 用	日	日
そ の 他	日	日
パートタイム	日	日

6 その他の有給休暇日数

	男 女 休 暇		生 産 休 暇	
本 採 用	年()日()	割支給	1回につき()日()	割支給
そ の 他	年()日()	割支給	1回につき()日()	割支給
パートタイム	年()日()	割支給	1回につき()日()	割支給

III 生産労働者の賃金に関すること

1 定額賃金制度

本 採 用	あり	男女差の内容
	あり	男女差あり
	なし	男女差なし
そ の 他	あり	男女差および本採用との差の内容
	なし	男女差なし

2 本採用への資格制度

新規卒採用	男女ともあり 女子はなし なし	男女差があればその内容
中途採用	男女ともあり 女子はなし なし	男女差があればその内容

3 役職（役付手当などの支給されているもの）への昇進制度

新 規 卒 業 生 採 用	男女ともあり	男女差の内容
	男女差あり	
	男女差なし	
中 途 採 用	男女ともあり	男女差の内容
	男女差あり	
	男女差なし	
	男女ともなし	

男女共に昇進制度のある場合

役 職 名 (注)	女子専任労働者（同男子）
役員者数	人（ ）人

⑦ 役員名は下位から順に女子のついでにのみ記入。該数欄は男子のみのついでに役職の人数も記入。

4 技能手当の支給基準

本 採 用	1 所定労働時間をとると () 割増	2 8時間をとると () 割増	3 その他
そ の 他	1 所定労働時間をとると () 割増	2 8時間をとると () 割増	3 その他
パートタイマー	1 所定労働時間をとると () 割増	2 8時間をとると () 割増	3 その他

5 最近女子の賃金管理の面で改善された事項

	1 あり	2 なし
名 称	1 新設あるいは支給基準を変更した手当等	2 その他の事項
内 容		
理 由	1 女子がふえたため 2 男子にかわって女子が入ったため 3 中高年女子がふえたため 4 その他（ ）	1 女子がふえたため 2 男子にかわって女子が入ったため 3 中高年女子がふえたため 4 その他（ ）

6 6月支給の賃金は

- 1 ベースアップ後のもの
- 2 ベースアップ前のもの

IV 生産労働者の採用配置・教育訓練に関すること

1 女子生産労働者採用率（最近1年間）

業 種	新規採用採用率	中途採用
金属工作機械工	()	()
金属プレス工	()	()
ゴム製造工	()	()
電気機械工	()	()
上記以外の金属加工業者	()	()
金属材料製造業者	()	()
自動車組立工	()	()
クレーン、フォークリフト運転工	()	()
その他	()	()
計	()	()

注）粗大率以上のぞく。（ ）内は同じ職業の男子採用率

3 新規採用採用者を配置する職種に男女差が

- ほとんどない
- かなりある

4 女子について、新規採用採用者の配置職種と中途採用者の配置職種に

- ほとんど差がない
- かなり差がある

6 最近1年間に、比較的単純な職種から金属工作機械工、プレス工、溶接工などの技能職場に配置された女子

1 いち	前年度→現年度	人 数
2 いち	→	
	→	
	→	

8 教育訓練制度の有無（あるものを○印）

	新採用採用		中途採用	
	男	女	男	女
採用時教育訓練制度				
再教育訓練制度				
進修奨励制度				

7 最近1年間に女子が受けた教育訓練について

名 称	受講者の総数と人数	総時間数	受けさせた理由、目的

注）社外の教育訓練を受けた場合も含む。

V 生産労働者の安全衛生に関すること

1 安全衛生教育実施状況

	実施時間（時間）	特記事項（注）
本 採 用	1 採用時 2 その他（ ）	
そ の 他	1 2	
パートタイム	1 2	

注）「本採用」と「その他」による教育方法の差について

3 労務相談給付以外に事業所がおこなった活動

	本 採 用	そ の 他	パートタイム
外資への給与	1 全額補償 2 部分給付のみ 3 その他 ()	1 全額補償 2 部分給付のみ 3 その他 ()	1 全額補償 2 部分給付のみ 3 その他 ()
災害見舞金の支給	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし
障害補償金の支給	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし
退職金の増額	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし
その他 ()	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし	1 制度あり 2 なし

2 労働衛生施設状況

本 採 用	1 定時的に年（ ）回	2 採用時	特記事項（注）
そ の 他	1 2		
パートタイム	1 2		

労働衛生施設を受けた女子 1 あり（職種名） 2 なし
注）「本採用」と「その他」による施設方法の差について

4 厚生施設（あるものを○印）

- 1 休養室（うち女子専用）
- 2 女子専用更衣室
- 3 女子専用トイレ
- 4 医務室

5 最近、女子生産労働者の安全衛生のため、特別に事業所がおこなった活動

- 1 男子にかかわって女子を配置したためになったもの
- 2 中高年女子の採用がふえたためになったもの
- 3 そ の 他

VI 調査員所見（記入欄参照）

金属、機械製造業における婦人労働実態調査
個人票

昭和 4 年 7 月
労働省婦人少年局

④

お ー い

- この調査は統計以外の目的に使われることはありませんので、あつたままをお返しください。
- あつたままを返すついでに〇印をつけ、() 内に必要なことを記入してください。
- 直のときは記入しないでください。
- 記入が済したら、背を落しがないかを確かめて、逓信局宛に投函してください。

票番号	産業分類	事業所規模番号	事業所番号
業	業	業 1000人以上 2 500~999人 3 300~499人 4 100~299人	業
サンプル番号	雇用形態	就業形態	業
業	1 本従業 2 その他	フルタイム パートタイム	業

I. はじめに次の欄を記入してください。

1 年 令 は ?	2 最後に卒業した学校は ?	3 公共職業訓練は ?	4 配偶関係は ?	5 主な家族の支持者は ? (注)
業 () 才	1 旧小学 高小 新中学 2 旧高女 新高女 3 高専 短大卒以上	1 受けたことがある 業 業 業 2 受けたことがない	1 未婚 2 既婚 3 離婚あるいは死別した	1 夫 2 自分 3 父、母 4 その他 ()

(注) あなたの世帯の家計費を一番多く出している人

II. あなたの職業についておたずねします。

1 ここに勤めるときいつまで勤め続けたか
1 常用で期間を限らなかつた 2 () か月とときめた
3 () 日とときめた 4 わからない。なにも限らなかつた

2 ここに勤めてから何年に経ちますか 約 () 年

3 まにどんな仕事をしていますか
1 金属と加工する機械を直接自分で操作する仕事
2 クレーン、フォークリフトなどを運転する仕事
→ 機械の種類は? 1 旋盤、ボール盤、フライス盤等
2 プレス機
3 溶接機、溶融機等
4 クレーン、フォークリフト等
5 その他 ()

→ この仕事の経験年数は? 約 () 年
(別の会社で同じ仕事をしていた人は、その期間も含めてください)

→ この仕事に関係のある資格又は免許を持っていますか
1 持っていない 2 持っている 内容 ()

3 自動車運転免許や製図の出入れをするだけの仕事
4 製造、組立、仕上、検査、包装などの仕事 → この仕事は理髪作業ですか
1 はい 2 いいえ

5 上の 1~4 以外の仕事の人には仕事の内容を下にわかりやすく書いてください
()

6 あなたと同じ内容の仕事をしている男子がいますか
1 い 2 ない 理由 ()
1 男子とあまり変わらない仕事と思う
2 男子よりずっと楽な仕事と思う

7 主な作業内容は何ですか
1 立作業 2 座作業 3 その他 ()
4 職場で何が最も大変な仕事がありますか
1 心配な仕事 2 心配な仕事 3 心配な仕事
4 心配な仕事 5 心配な仕事 6 心配な仕事

8 あなたの職場についておたずねします。
1 一日の仕事が終わった後、疲れを感じますか
1 目がよくに疲れる 2 全身が疲れる
3 手、腕がよくに疲れる 4 ほとんど疲れを感じない
5 肩、背がよくに疲れる 6 その他 ()
7 足がよくに疲れる

2 あなたの今年一週間の年次有給休暇は何日ですか
() 日

3 6 月中にきまつた休日以外に休みましたか
1 休んだ 2 休まない
→ 休んだ理由と日数は?
1 生理で () 日
2 自分の病気で () 日
3 休養のため () 日
4 家事のため () 日
5 子どものことで () 日
6 その他 () () 日
合計 () 日
→ 合計日数のうち有給で休んだのは? () 日

4 生活の支えどうしていますか。主な方法についてお尋ねください。
1 生活費を稼ぐ () 日 () 時
2 年次有給休暇や病気休暇 (有給の) 支え () 日 () 時
3 欠勤する () 日 () 時
4 休みが休めない () 日 () 時
5 休まないで出勤している () 日 () 時
6 ここに勤めてから仕事によるけがや病気をしたことがありますか
1 ある () 回 2 2 回以上 3 ない
→ けがや病気の場所 () 日 () 時
→ けがの程度、病名は? () 日 () 時
注: 2 回以上経験している人は最近のものについて記入してください。
7 作業環境、衛生面などについて聞いていることがあればなんでも書いてください。